

# 高崎市タワー美術館

年報

2011-2015

## 高崎市タワー美術館年報

### ● 目次

### CONTENTS

#### 年報

1. 展覧会事業	
展覧会および刊行物・関連事業一覧.....	3
2011（平成 23）年度.....	6
2012（平成 24）年度.....	24
2013（平成 25）年度.....	43
2014（平成 26）年度.....	59
2015（平成 27）年度.....	76
2. 教育普及事業	
年度・展覧会別関連事業一覧.....	92
講演会／作家によるギャラリートーク等.....	93
ワークショップ／講座等.....	95
その他イベント／美術館コンサート等.....	97
他施設等との連携事業.....	98
学校教育活動による利用状況・	
生涯学習活動による利用状況.....	100
博物館実習.....	101
その他の研修等の受入.....	102
講師派遣.....	103
3. 収集保存管理事業	
作品総数／年度別収蔵数／作品種別.....	104
収蔵作品貸出状況.....	104
4. 入館者統計	
展覧会別入館者一覧表.....	105

#### ・事業報告中の作品リスト

原則、事業開催時のデータおよびリスト（印刷物、展示目録）に基づいて表記し、制作年表記、データ順列は統一していない。

# 年 報

- ・事業報告中の作品リスト

原則、事業開催時のデータおよびリスト（印刷物、展示目録）に基づいて表記し、制作年表記、データ順列は統一していない。

## 1. 展覧会事業

### 展覧会および刊行物・関連事業一覧

2011（平成23）年度

		展覧会名・期間	関連事業	印刷物
1	企画展	大正ロマン昭和モダン展 竹久夢二・高島華宵とその時代 2011年4月16日～6月19日	作品解説会 4/16、5/7・21、6/4・18	
2	企画展	花にみる日本の美—花をめぐる物語 2011年7月2日～8月28日	ワークショップ 7/24、8/7 作品解説会 7/2・16・30、8/13・27 応募作品展示 7/23～8/28	
3	企画展	トップランナー —日本画の若き力— 2011年9月10日～11月6日	出品作家によるギャラリートーク 9/18、10/23 福井江太郎イベント 9/18 ワークショップ 9/25、10/30 作品解説会 9/10、10/1、11/5	図録
4	収蔵作品展	めでたきもの 2011年11月19日～2012年1月29日	作品解説会 11/19、12/3・17、1/7・21 ミュージアムコンサート 12/16	リーフレット
5	特別展	開館10周年特別展 佐川美術館所蔵 平山郁夫展 —大唐西域画への道— 2012年2月5日～3月31日	記念講演会 3/10 作品解説会 2/5・18、3/3・17・25	

2012（平成24）年度

		展覧会名	関連事業	印刷物
1	企画展	京都を彩るかたちという —調和する意匠と色彩— 2012年4月14日～6月17日	講演会 5/27 風呂敷講座 5/13 作品解説会 4/14・28、5/19、6/9	
2	企画展	人間国宝 濱田庄司展 —大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション— 2012年6月30日～9月30日	講演会 8/5 作品解説会 6/30、7/14・29、8/18、 9/2・15・29	
3	企画展	金銀の光彩—日本画のきらめき 2012年10月13日～12月16日	講演会 11/17 作品解説会 10/13・28、11/10、12/2・15	リーフレット

4	企画展	京都清水寺成就院奉納襖絵 風の画家 中島潔が描く 生命の無常と輝き展 2012年1月2日～2月17日	サイン会 1/12、2/2 作品解説会 1/2・19・27、2/9 1/18・25、2/1・8・15	
5	企画展	高崎市文化賞受賞作家展 2013年2月24日～3月24日	出品作家による作品解説 3/2、3/9 作品解説会 2/24、3/10	パンフレット

2013（平成25）年度

		展覧会名	関連事業	印刷物
1	企画展	スパーク 文化庁買上優秀美術作品展 2013年4月13日～6月23日	作品解説会 4/13・27、5/12・25、6/9・22	パンフレット
2	企画展	アート昆虫ワールド 2013年7月6日～9月23日	ワークショップ 9/1 撮影会 8/25 作品解説会 7/6・21、8/3・18、9/8・21	リーフレット
3	企画展	黄金期の浮世絵 歌麿とその時代展 美人画と役者絵 2013年10月5日～11月24日	講演会 11/9 作品解説会 10/5・20、11/2・17	ワークシート
4	企画展	文化勲章 最高峰の日本画家たち 2013年12月7日～2014年1月26日	講演会 1/18 作品解説会 12/7・22、1/13・25	図録
5	収蔵作品展	風景を訪ねて 2013年2月8日～3月23日	作品解説会 2/8・23、3/9・22	リーフレット

2014（平成26）年度

		展覧会名	関連事業	印刷物
1	企画展	合羽版 森義利の世界 2015年4月12日～6月29日	作品解説会 4/12・27、5/10・25、6/15・28	
2	企画展	画家 安野光雅 展 ふしぎなえ から 繪本三國志 まで 2014年7月12日～8月31日	作品解説会 7/12・27、8/9・17・30	ワークシート
3	企画展	広島県立美術館所蔵 飽くなき探求の画家 児玉希望 2014年9月13日～11月3日	講演会 10/4 作品解説会 9/13・28、10/18、11/2	図録

4	企画展	東京富士美術館所蔵名品展 日本絵画の精華 2014年11月15日～2015年1月18日	オープニングセレモニー11/15 作品解説会 11/15・30、12/14・27、1/10	図録
5	企画展	美術でたどる物語 2014年1月31日～3月22日	講演会 2/22 作品解説会 1/31、2/15、3/8・21	リーフレット

2015（平成27）年度

		展覧会名	関連事業	印刷物
1	収蔵作品展	花笑み 日本画花だより 2015年4月11日～6月21日	作品解説会 4/11・25、5/9・24、6/7・20 ミュージアムコンサート 6/5	リーフレット
2	企画展	判じ絵 江戸のなぞなぞに挑戦！ 同時開催 涼を愉しむ 2015年7月4日～9月6日	講座7/26 スライドトーク 7/4・19、8/8・23、9/5	ワークシート
3	企画展	ふろしき原画 一包むための絵 2015年9月19日～11月23日	ふろしき染め講習 10/24 ふろしき包み講座 10/25 作品解説会 9/19、10/4・17、11/8・21	図録 リーフレット
4	企画展	トップランナーⅡ 日本画の若き力 2015年12月5日～2016年1月31日	作家ギャラリートーク 12/19、1/9 作品解説会 12/5、1/17・30	図録
5	企画展	伊東深水展 2016年2月13日～3月27日	講演会 3/5 作品解説会 2/13・28、3/13・26	

## 企画展 大正ロマン昭和モダン展—竹久夢二・高島華宵とその時代

「大正ロマン」という言葉にはノスタルジックで甘美な響きがある。絵画、デザイン、そして詩文と広い分野に作品を残した竹久夢二は、細身に瞳の大きい女性を描き、そのはかなくセンチメンタルな雰囲気にも包まれた美人画は、大正ロマンを象徴するイメージともなっている。

大正から昭和初期にかけては、戦争や不況といった暗い世相が続く一方で、近代化と都市化が進み、街には流行の先端をゆくモダンガールが登場するなど、大衆文化は大きく花開いた。少年少女雑誌を中心に活躍する挿絵画家も多く誕生し、中でも印象的な眼差しの女性を描いた高島華宵は、流行歌にその名が織り込まれるほどの人気で一世を風靡した。挿絵画家たちは当時の風俗や流行を敏感にとらえるとともに、幅広い活動を見せ、人々に夢を与える大衆アートのスターとなっていた。

本展覧会では、大正ロマン・昭和モダンを彩る画家たちの日本画・版画・挿絵・楽譜・装丁本など234点を展示した。



会 期	2011年4月16日（土）～6月19日（日） 57日間
主 催	高崎市タワー美術館
監 修	中右 瑛（国際浮世絵学会常任理事）
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
企画協力	E.M.I.ネットワーク
関連事業	① 作品解説会 4/16、5/7、5/21、6/4、6/18 午後2時～（参加者 合計81名）
出品点数	日本画・版画・挿絵等234点
紹介記事	夢二描いた大正、昭和 雑誌の挿絵234点紹介（上毛新聞 3月22日） 大正ロマン昭和モダン展（両毛新聞 3月29日）ほか
入 館 者	6,092名

No	作家名	作品名	技法	材質仕様
1	竹久 夢二	舞妓	肉筆画	紙本 彩色
2	竹久 夢二	雛まつり	肉筆画	絹本 彩色
3	竹久 夢二	ワイングラス	肉筆画	絹本 彩色
4	竹久 夢二	春の灯や	肉筆画	紙本 彩色
5	竹久 夢二	春けき国へ	肉筆画	絹本 彩色
6	竹久 夢二	星まつり	肉筆画	絹本 彩色
7	竹久 夢二	舞姫	肉筆画	紙本 彩色
8	竹久 夢二	松原の女	肉筆画	紙本 彩色
9	竹久 夢二	さみだれや (二曲一双屏風)	肉筆画	紙本 彩色
10	竹久 夢二	夏の宵	肉筆画	紙本 彩色
11	竹久 夢二	夏の女	肉筆画	紙本 彩色
12	竹久 夢二	自画像	肉筆画	紙本 彩色
13	竹久 夢二	化粧の女	肉筆画	絹本 彩色
14	竹久 夢二	港屋絵草紙店	木版画	紙本 彩色
15	竹久 夢二	小春	木版画	紙本 彩色
16	竹久 夢二	治兵衛	木版画	紙本 彩色
17	竹久 夢二	化粧	木版画	紙本 彩色
18	竹久 夢二	黒猫を抱く女	木版画	紙本 彩色
19	竹久 夢二	ボガボガ・ベルラ『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
20	竹久 夢二	陽気な鍛冶屋『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
21	竹久 夢二	サラオー頌歌『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
22	竹久 夢二	暮れて行く『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
23	竹久 夢二	桜町『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
24	竹久 夢二	可愛や胡蝶『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
25	竹久 夢二	我家の唄『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
26	竹久 夢二	鐘『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
27	竹久 夢二	我を偲び給へ『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
28	竹久 夢二	さらば我世の幸福よ『セノオ楽譜』	オフセット版画	紙本 彩色
29	竹久 夢二	星合『婦人グラフ』の挿絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
30	竹久 夢二	花火『婦人グラフ』の表紙絵	木版画(機械刷)	雑誌
31	竹久 夢二	勇敢な恋人『婦人グラフ』の挿絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
32	竹久 夢二	秋『婦人グラフ』の表紙絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
33	竹久 夢二	童話『婦人グラフ』の挿絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
34	竹久 夢二	化粧の秋『婦人グラフ』の表紙絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
35	竹久 夢二	麻利耶観音『婦人グラフ』の挿絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
36	竹久 夢二	秋のしらべ『婦人グラフ』の表紙絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
37	竹久 夢二	寝椅子『婦人グラフ』の挿絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
38	竹久 夢二	1926年春『婦人グラフ』の表紙絵	木版画(機械刷)	雑誌
39	竹久 夢二	如月の傳説『婦人グラフ』の表紙絵	木版画(機械刷)	雑誌
40	竹久 夢二	APL FOOL『婦人グラフ』の表紙絵	木版画(機械刷)	雑誌
41	竹久 夢二	雪の夜の伝説『婦人グラフ』の口絵	木版画(機械刷)	紙本 彩色
42	竹久 夢二	素描(手帳より)1	鉛筆	紙本 単色
43	竹久 夢二	素描(手帳より)2	鉛筆	紙本 単色
44	竹久 夢二	素描(手帳より)3	鉛筆	紙本 単色
45	竹久 夢二	素描(手帳より)4	鉛筆	紙本 単色
46	竹久 夢二	素描(手帳より)5	鉛筆	紙本 単色
47	竹久 夢二	素描(手帳より)6	鉛筆	紙本 単色
48	竹久 夢二	素描(手帳より)7	鉛筆	紙本 単色
49	竹久 夢二	素描(手帳より)8	鉛筆	紙本 単色



No	作家名	作品名	技法	材質仕様
50	竹久 夢二	素描(手帳より)9	鉛筆	紙本 単色
51	竹久 夢二	素描(手帳より)10	鉛筆	紙本 単色
52	竹久 夢二	「関東大震災」都新聞掲載の挿絵(1)	原画	紙本 単色
53	竹久 夢二	「関東大震災」都新聞掲載の挿絵(2)	原画	紙本 単色
54	竹久 夢二	朝顔	原画	紙本 単色
55	竹久 夢二	著作本『三味線草』	印刷	書籍
56	竹久 夢二	吉井勇著『祇園双紙』の装丁	印刷	書籍
57	竹久 夢二	著作本『恋愛秘語』	印刷	書籍
58	竹久 夢二	著作本『童謡の本・風』	印刷	書籍
59	竹久 夢二	著作本『露台薄暮』	印刷	書籍
60	竹久 夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	印刷	雑誌
61	竹久 夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	印刷	雑誌
62	竹久 夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	印刷	雑誌
63	竹久 夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	印刷	雑誌
64	竹久 夢二	文芸雑誌『若草』の装丁	印刷	雑誌
65	竹久 夢二	東京九段つるや画房出版の絵葉書	印刷	葉書
66	竹久 夢二	「少女十二ヵ月双六」『少女俱樂部』の付録	印刷	双六
67	高島 華宵	花吹雪舞妓	肉筆画	紙本 彩色
68	高島 華宵	ほたる籠	肉筆画	紙本 彩色
69	高島 華宵	あじさい娘	肉筆画	絹本 彩色
70	高島 華宵	梅下女性図	肉筆画	絹本 彩色
71	高島 華宵	八幡太郎義家	肉筆画	絹本 彩色
72	高島 華宵	逝く春	肉筆画	紙本 彩色
73	高島 華宵	白拍子	肉筆画	紙本 彩色
74	高島 華宵	正月の羽根	肉筆画	紙本 彩色
75	高島 華宵	正月(羽根つき)	肉筆画	紙本 彩色
76	高島 華宵	シューベルト	肉筆画	絹本 彩色
77	高島 華宵	祇園夜桜	肉筆画	絹本 彩色
78	高島 華宵	南国の唄『少女画報5月号』の口絵	原画	紙本 彩色
79	高島 華宵	花をいだいて(鈴蘭)	原画	紙本 彩色
80	高島 華宵	京舞妓(柳)	原画	紙本 彩色
81	高島 華宵	娘(芙蓉)	原画	紙本 彩色
82	高島 華宵	娘二十まで『婦女界』の挿絵(1)	原画	紙本 単色
83	高島 華宵	娘二十まで『婦女界』の挿絵(2)	原画	紙本 単色
84	高島 華宵	娘二十まで『婦女界』の挿絵(3)	原画	紙本 単色
85	高島 華宵	娘二十まで『婦女界』の挿絵(4)	原画	紙本 単色
86	高島 華宵	妻は何処に『婦女界』の挿絵	原画	紙本 単色
87	高島 華宵	「七転八起開運出世双六」『講談俱樂部』の付録	印刷	双六
88	高島 華宵	「武運を祈りて」『血兵』の付録	印刷	葉書
89	高島 華宵	華宵浴衣絵葉書・夕空	印刷	葉書
90	橘 小夢	刺青	版画	紙本 単色
91	橘 小夢	水魔	版画	紙本 彩色
92	橘 小夢	唐人お吉	木版画	紙本 彩色
93	橘 小夢	お蝶夫人	木版画	紙本 彩色
94	橘 小夢	タカラジェンヌ	木版画	紙本 彩色
95	橘 小夢	タカラジェンヌ(着帽の図)	木版画	紙本 彩色
96	橘 小夢	楽屋化粧	肉筆画	絹本 彩色
97	橘 小夢	お姫様	肉筆画	絹本 彩色
98	橘 小夢	お小姓	肉筆画	絹本 彩色

No	作家名	作品名	技法	材質仕様
99	落谷 虹児	少女	肉筆画	紙本 彩色
100	落谷 虹児	花嫁人形	肉筆画	紙本 彩色
101	落谷 虹児	雪うさぎ	肉筆画	紙本 彩色
102	落谷 虹児	『童幼の国』の表紙	原画	紙本 彩色
103	落谷 虹児	お留守居『令女界』の表紙	原画	紙本 彩色
104	落谷 虹児	山上『婦人グラフ』の挿絵	木版画	紙本 彩色
105	落谷 虹児	『少女倶楽部』の挿絵	原画	紙本 彩色
106	落谷 虹児	『少女倶楽部』の挿絵	原画	紙本 彩色
107	落谷 虹児	「姉妹仲よし双六」『少女画報』の付録	印刷	双六
108	落谷 虹児	『令女界』の表紙	印刷	雑誌
109	落谷 虹児	『令女界』の表紙	印刷	雑誌
110	落谷 虹児	『令女界』の表紙	印刷	雑誌
111	落谷 虹児	『令女界』の表紙	印刷	雑誌
112	落谷 虹児	『令女界』の表紙	印刷	雑誌
113	落谷 虹児	絵葉書	印刷	葉書
114	落谷 虹児	「ビゼー アルルの女」レコードのジャケット絵	印刷	ジャケット
115	中原 淳一	あしながおじさん『ジュニアそれいゆ』	原画	紙本 彩色
116	中原 淳一	最後の一葉『ジュニアそれいゆ』	原画	紙本 彩色
117	中原 淳一	イノック・アーデン挿絵『ジュニアそれいゆ』	原画	紙本 単色
118	中原 淳一	サイン色紙	肉筆画	紙本 単色
119	中原 淳一	サイン色紙(横顔の図)	肉筆画	紙本 単色
120	中原 淳一	挿絵(王子の図)	原画	紙本 単色
121	中原 淳一	挿絵(姫の図)	原画	紙本 単色
122	中原 淳一	娘十二ヶ月 1月	木版画	紙本 彩色
123	中原 淳一	娘十二ヶ月 2月	木版画	紙本 彩色
124	中原 淳一	娘十二ヶ月 3月	木版画	紙本 彩色
125	中原 淳一	娘十二ヶ月 4月	木版画	紙本 彩色
126	中原 淳一	娘十二ヶ月 5月	木版画	紙本 彩色
127	中原 淳一	娘十二ヶ月 6月	木版画	紙本 彩色
128	中原 淳一	娘十二ヶ月 7月	木版画	紙本 彩色
129	中原 淳一	娘十二ヶ月 9月	木版画	紙本 彩色
130	中原 淳一	娘十二ヶ月 10月	木版画	紙本 彩色
131	中原 淳一	娘十二ヶ月 11月	木版画	紙本 彩色
132	中原 淳一	娘十二ヶ月 12月	木版画	紙本 彩色
133	中原 淳一	便箋『野薔薇』の表紙	印刷	楽譜
134	中原 淳一	「ランドゲーム」『少女の友』の付録	印刷	カード
135	中原 淳一	『少女の友』の表紙	印刷	雑誌
136	中原 淳一	『それいゆ』の表紙	印刷	雑誌
137	中原 淳一	『それいゆ』の表紙	印刷	雑誌
138	中原 淳一	『それいゆ』の表紙	印刷	雑誌
139	中原 淳一	絵葉書	印刷	葉書
140	岩田 専太郎	吹雪の女	肉筆画	紙本 彩色
141	岩田 専太郎	近代美人	肉筆画	紙本 彩色
142	岩田 専太郎	昭和美人図	肉筆画	紙本 羽子板
143	岩田 専太郎	『苦楽』の挿絵	原画	紙本 単色
144	岩田 専太郎	大佛次郎著『天狗廻状』の挿絵	原画	紙本 単色
145	岩田 専太郎	『講談の泉』の表紙絵	原画	紙本 彩色
146	岩田 専太郎	小島政二郎著『甘肌』ポスターの原画	原画	紙本 彩色
147	岩田 専太郎	小島政二郎著『甘肌』ポスター	印刷	ポスター

No	作家名	作品名	技法	材質仕様
148	岩田 専太郎	司馬遼太郎著『竜馬がゆく』の挿絵 産経新聞夕刊	原画	紙本 単色
149	岩田 専太郎	大佛次郎著『赤穂浪士』の装丁	印刷	書籍
150	岩田 専太郎	「慰問袋」絵葉書	印刷	葉書
151	松本 かつぢ	ばらの少女	原画	紙本 彩色
152	松本 かつぢ	みずうみのほとり	原画	紙本 彩色
153	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇『少女の友』の挿絵	原画	紙本 単色
154	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇『少女の友』の挿絵	原画	紙本 単色
155	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇『少女の友』の挿絵	原画	紙本 単色
156	鎗木 清方	茶屋娘	肉筆画	絹本 彩色
157	鎗木 清方	唐人お吉	肉筆画	紙本 彩色
158	鎗木 清方	おさん『近松全集挿絵版画集』	木版画	紙本 彩色
159	鎗木 清方	モダン美女	版画	紙本 彩色
160	伊東 深水	蚊張美人図	肉筆画	絹本 彩色
161	伊東 深水	新美人十二姿 おしろい	木版画	紙本 彩色
162	伊東 深水	昭和美人風俗 浅春	木版画	紙本 彩色
163	北野 恒富	鷺娘	肉筆画	紙本 彩色
164	北野 恒富	鷺娘	木版画	紙本 彩色
165	小早川 清	唐人お吉	肉筆画	絹本 彩色
166	小早川 清	ささやき	肉筆画	絹本 彩色
167	小早川 清	水谷八重子像	肉筆画	絹本 羽子板
168	小早川 清	唐人お吉	木版画	紙本 彩色
169	小早川 清	近代時世粧ノ内 一 ほろ酔ひ	木版画	紙本 彩色
170	小早川 清	近代時世粧ノ内 六 口紅	木版画	紙本 彩色
171	山本 鼎	漁夫『明星』の挿絵	木版画	紙本 単色
172	恩地 孝四郎	ヌード	木版画	紙本 彩色
173	池田 輝方	汐干狩二美人図	肉筆画	絹本 彩色
174	池田 蕉園	七夕	肉筆画	絹本 彩色
175	伊藤 晴雨	浴後の涼み	肉筆画	絹本 彩色
176	伊藤 小坡	船あそび	肉筆画	絹本 彩色
177	島 成園	夏の女	肉筆画	絹本 彩色
178	木谷 千種	湯あがり	肉筆画	絹本 彩色
179	岡本 一平	創作中の漱石先生	肉筆画	紙本 扇子
180	橋口 五葉	化粧	木版画	紙本 彩色
181	戸張 弧雁	温泉宿	木版画	紙本 彩色
182	高橋 弘明	ヌード	木版画	紙本 彩色
183	鳥居 言人	朝寝髪	木版画	紙本 彩色
184	瀧 秋方	近代麗人画譜・港街の日本娘	木版画	紙本 彩色
185	石川 寅治	踊り	木版画	紙本 彩色
186	東郷 青児	モダン娘	木版画	紙本 彩色
187	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』の装丁	木版画	書籍
188	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』①	木版画	紙本 彩色
189	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』②	木版画	紙本 彩色
190	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』③	木版画	紙本 彩色
191	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』④	木版画	紙本 彩色
192	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』⑤	木版画	紙本 彩色
193	山村 耕花	犬を連れた洋装婦人	肉筆画	紙本 彩色
194	山村 耕花	踊り	木版画	紙本 彩色
195	山村 耕花	『京洛異変』の挿絵	原画	紙本 単色
196	小村 雪岱	『両国』の挿絵	原画	紙本 単色

No	作家名	作品名	技法	材質仕様
197	小村 雪岱	お傳地獄	木版画	紙本 彩色
198	小村 雪岱	夜雨	木版画	紙本 団扇型
199	小村 雪岱	邦枝完二著『お傳地獄』の装丁	印刷	書籍
200	小村 雪岱	邦枝完二著『浮名三味線 色娘おせん』の装丁	印刷	書籍
201	川西 英	サロメ	肉筆画	布 金彩
202	川西 英	楽器を持つ女	肉筆画	紙本 彩色
203	川西 英	美人画(三味線を持つ女性)	肉筆画	紙本 団扇
204	川西 英	美人画(後姿の女性)	肉筆画	紙本 団扇
205	川西 英	美人画(頬杖をつく女性)	肉筆画	紙本 団扇
206	川西 英	美人画(裸婦)	肉筆画	紙本 団扇
207	川西 英	短冊 四図	肉筆画	紙本 彩色
208	伊藤 幾久造	巴御前	肉筆画	絹本 彩色
209	伊藤 幾久造	八幡太郎義家	肉筆画	絹本 彩色
210	伊藤 幾久造	辰巳の女	肉筆画	紙本 彩色
211	伊藤 幾久造	舞妓	肉筆画	紙本 彩色
212	志村 立美	『酉の市、女』の挿絵	原画	紙本 彩色
213	志村 立美	ゆかた	肉筆画	紙本 彩色
214	志村 立美	舟橋聖一著『男』の挿絵 大阪毎日新聞	原画	紙本 単色
215	志村 立美	『恋慕奉行』の挿絵	原画	紙本 単色
216	志村 立美	『二つの瞳』(美空ひばり)	版画	紙本 彩色
217	志村 立美	林不忘著『丹下左膳』の装丁	印刷	書籍
218	加藤 まさを	『童謡小曲 中山晋平曲 第11集』の表紙絵	木版画	楽譜
219	加藤 まさを	『童謡小曲 中山晋平曲 第7集』の表紙絵	木版画	楽譜
220	加藤 まさを	「脚光の女」絵葉書	印刷	葉書
221	ひろし	楽譜『花嫁人形』の表紙	オフセット印刷	楽譜
222	ひろし	楽譜『忘れな草』の表紙	オフセット印刷	楽譜
223	ひろし	楽譜『アラビアの唄』の表紙	オフセット印刷	楽譜
224	ひろし	楽譜『ハレルヤ』の表紙	オフセット印刷	楽譜
225	ひろし	楽譜『AさんとBさん』の表紙	オフセット印刷	楽譜
226	ひろし	楽譜『君知るや南の國』の表紙	オフセット印刷	楽譜
227	ひろし	楽譜『歓楽の夜曲』の表紙	オフセット印刷	楽譜
228	ひろし	楽譜『紅屋の娘』の表紙	オフセット印刷	楽譜
229	中村 大三郎	明眸	肉筆画	絹本 彩色
230	太宰 敦夫	「近代女性美」絵葉書	印刷	葉書
231	宇崎 純一	絵葉書	印刷	葉書
232	須藤 しげる	「少女数へ歌双六」	印刷	双六
233	作者不詳	『コドモアサヒ』	印刷	雑誌
234	作者不詳	馬上の源義経	染織	着物

## 企画展 花にみる日本の美—花をめぐる物語

花は、私たちのすぐ側にある自然のひとつである。めぐる季節のなかで花に親しむことは、四季の変化に富む日本の暮らしでは日常的な光景である。私たちは、咲く花を愛で、花壇や庭で花を育てることで、季節を感じ、身近に自然を楽しんでいる。また、花は古くから絵画の題材として描かれてきたが、花鳥風月、雪月花といったことばで表わされるように、咲く花は、季節の変化や大地の営みを象徴する自然現象のひとつで、鳥が飛び、風が流れるように、静かな植物の生を、躍動的に表わしている。そして、花は美しさや華やかさだけではなく、儂さや移ろいやすさを見せる存在である。

花を描いた作品には、それぞれの美しさや華やかさを描くなかに、いずれは散りゆく花に対する愛惜の思いや、散るからこそ美しいという自然観をも託されている。本展覧会では、日本人の美意識の鏡ともいえる、さまざまな花をめぐる作品 62 点を展示し、日本画における花の表現をご紹介します。



会 期	2011年7月2日(土)～8月28日(日) 50日間
主 催	高崎市タワー美術館
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
協 力	ヤマタネグループ
関連事業	① 「花を探そう」 7/24 午前10時～正午 (参加者 5名) ② ワークショップ 花の絵を描こう 8/7 午後1時～4時 (参加者 7名) ③ 作品解説会 7/2、7/16、7/30、8/13、8/27 午後2時～ (参加者 合計118名) ④ 作品募集! 小さな「花の絵」 7/23～8/28 (応募数 合計21名)
出品点数	日本画 62点
紹介記事	永遠に咲く日本画の花 (上毛新聞 6月18日) 「花にみる日本の美」展 (両毛新聞 7月4日) 花を描いた日本画 62点 (JOMO TAKATAI 7月22日) 日本画の技法で花 小中学生が描く (上毛新聞 8月8日) ほか
入館者	4,575名

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	所蔵
1	小茂田青樹	秋草に少女	大正 15 年	紙本彩色／軸	179.9×95.2	
2	滝 和亭	四季十二清客図	明治 20 年	絹本彩色／軸	166.7×86.5	
3	荒木十畝	清妍	大正5年	紙本彩色／六曲一双	各 160.5×345.0	
4	伊年	四季草花図屏風	江戸時代	紙本彩色／六曲一隻	88.0×219.0	
5	酒井抱一	春野之図	江戸時代	絹本彩色／軸	125.0×50.3	
6	小室翠雲	奇花異鳥図	昭和7年	絹本彩色／二曲一双	各 168.3×173.0	
7	中村岳陵	早梅	大正5年頃	絹本彩色／軸	141.8×50.2	
8	真道黎明	白梅		絹本彩色／軸	42.0×55.3	
9	金島桂華	梅	昭和 24 年	紙本彩色／軸(扇面)	15.5×48.3	
10	上村松篁	白梅		紙本彩色／軸	31.2×44.0	
11	福田平八郎	椿	昭和 13 年頃	絹本彩色／軸	41.5×56.0	
12	岡田為恭	春秋 桜がり・秋の夜	安政 2-4 年	絹本彩色／軸	各 110.0×42.3	
13	鈴木其一	桜	江戸時代	絹本彩色／軸	99.5×36.4	
14	富田溪仙	祇園夜桜	大正 10 年	絹本彩色／軸	48.3×71.0	横山大観記念館
15	富田溪仙	洛西花の寺	昭和6年	絹本彩色／軸	131.0×36.0	
16	岡信孝	虹雨牡丹図	昭和 53 年	紙本彩色／二曲一双	各 179.4×175.6	
17	蔦谷龍岬	御堂の朝	大正7年	絹本彩色／六曲一双	各 170.0×380.0	
18	土田麦僊	躑躅花		絹本彩色／軸	35.4×42.8	
19	小林古径	菖蒲	昭和 10 年頃	紙本彩色／軸	139.7×45.2	
20	山本丘人	梔子		絹本彩色／軸	43.2×51.0	
21	小林古径	山百合	昭和8年頃	紙本彩色／軸	130.2×36.5	
22	小野竹喬	背戸の菊図	大正4年	絹本彩色／軸	133.0×50.5	
23	尾形月耕	日本花図会 蒲桜	明治 30 年	木版画	35.2×23.8	中央区立郷土天文館
24	尾形月耕	日本花図会 隅田の桜	明治 30 年	木版画	35.2×24.2	中央区立郷土天文館
25	尾形月耕	美人花競 菖蒲	明治 20 年	木版画	35.2×24.2	中央区立郷土天文館
26	尾形月耕	花美人名所合 亀戸臥龍 梅	明治 28 年	木版画	37.0×25.0	中央区立郷土天文館
27	尾形月耕	婦人風俗尽 庭前の菊	明治	木版画	35.2×23.8	中央区立郷土天文館
28	歌川広重ほか	江戸の花名勝会	慶応元年	錦絵	35.0×26.0	中央区立郷土天文館
29	村田茂樹	たんぽぽ	昭和 62 年	紙本彩色／軸	32.7×23.8	
30	加山又造	白梅	昭和 61 年	紙本彩色／額	50.0×65.0	
31	中村芳中	紅梅		紙本彩色／額(扇面)	19.5×50.3	
32	牧 進	紅梅	昭和 63 年	紙本彩色／額	55.0×109.5	
33	安田鞞彦	紅梅		紙本彩色／額	43.6×53.3	
34	齋藤満栄	八重椿	平成7年	紙本彩色／額	32.0×42.3	
35	山口華楊	紅椿		紙本金地彩色／額	47.5×59.0	
36	松尾敏男	椿		紙本金地彩色／額	26.5×23.7	
37	山口華楊	紅椿		紙本彩色／額	72.5×35.0	
38	小島和夫	咲く(彩光会第4回展)	平成3年	紙本彩色／額	40.5×40.5	
39	吉田多最	山茶花	平成4年	紙本淡彩／額	64.5×45.0	
40	土田麦僊	富貴草		絹本彩色／額	43.0×51.5	
41	工藤甲人	日月の牡丹	昭和 56 年	紙本彩色／額	65.0×90.0	
42	那波多目功一	朝霧	平成 14 年	紙本彩色／額	172.3×217.0	
43	川島睦郎	寒牡丹	昭和 63 年	紙本彩色／額	83.5×119.5	
44	松尾敏男	燿春		紙本彩色／額	130.0×162.0	
45	大矢十四彦	富貴	昭和 62 年	絹本彩色／額	60.0×71.5	
46	速水御舟	夜桜	昭和 3 年	絹本彩色／額	40.0×50.5	横山大観記念館
47	鎬木清方	紫暎	昭和 20 年	絹本彩色／額	57.5×71.6	
48	齋藤満栄	つゆ草	平成3年	紙本彩色／額	207.0×160.0	

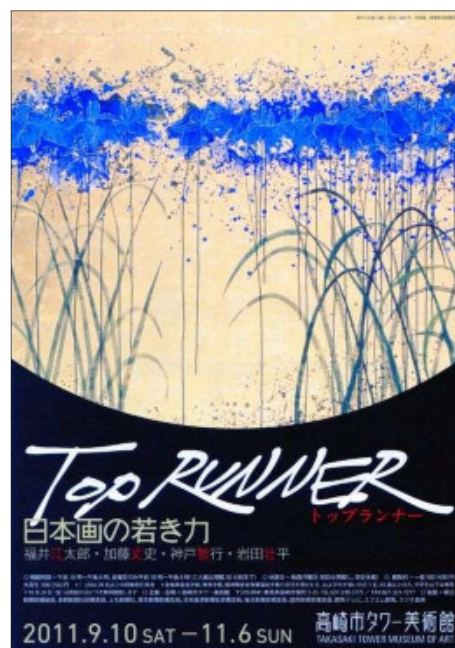
No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	所蔵
49	齋藤満栄	鉄線花	昭和 62 年	紙本彩色／額	49.0×60.0	
50	山口華楊	菖蒲	昭和 51 年	紙本彩色／額	32.1×45.6	
51	田淵俊夫	のいばら	昭和 60 年	紙本彩色／額	26.5×34.5	
52	山本真也	彩花	平成3年	紙本金地彩色／額	29.0×59.5	
53	齋藤満栄	朝顔		紙本彩色／額(扇面)	20.0×40.5	
54	齋藤満栄	朝顔	平成3年	紙本彩色／額	31.0×40.5	
55	小山大月	朝顔	昭和 3 年	絹本彩色／額	40.0×50.5	横山大観記念館
56	林 潤一	牽牛花	平成2年	紙本彩色／額	71.5×115.5	
57	奥村土牛	桔梗		紙本彩色／額	36.0×48.0	
58	齋藤満栄	秋	平成8年	紙本彩色／額	37.0×44.8	
59	川端龍子	万年青		絹本彩色／額	44.5×56.3	
60	川端龍子	菊	昭和 3 年	絹本彩色／額	40.0×50.5	横山大観記念館
61	中島千波	菊花	平成5年	紙本彩色／額	50.0×64.0	
62	後藤順一	立秋		紙本彩色／額	44.5×60.0	

## 企画展 トップランナー 日本画の若き力

現在の美術界では、若い作家の活躍が注目を集めているが、特に日本画家たちが示す多様な展開は、伝統的な枠組みを超越した広がりを見せている。彼らは卓越した技術を基礎に、研ぎ澄まされた感性とグローバルな視野を加味し、新たな世界観を提示している。

本展覧会では、その中から福井江太郎・加藤丈史・神戸智行・岩田壮平の作品を、新作を交えてご紹介した。福井は日本とアメリカを拠点に、駝鳥や花に託した想いを世界に向けて発信し、加藤は留まることのない水の表情を、丹念に色を重ねて追求している。神戸は水辺の生き物の小さな生命の煌きを繊細に表現し、岩田は鮮烈な色彩と強靱な画面構成で、花をエネルギーに描き続けている。

4作家はみな40歳代以下で、日本画の世界では若手といえるが、精緻な技術と真摯な想いに導かれた作品は熱く瑞々しく、観る者の心に深く迫る。日本画をリードするトップランナー4名の作品から、彼らが描き出す独自の世界を紹介した。



会 期 2011年9月10日(土)～11月6日(日) 50日間

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

- 関連事業
- ① 出品作家によるギャラリートーク 福井江太郎・加藤丈史 9/18 午後2時～  
福井江太郎ライブペインティング 同日 午後3時～ (参加者 84名)
  - ② 出品作家によるギャラリートーク  
10/23 午後2時～ 神戸智行・岩田壮平 (参加者 57名)
  - ③ ワークショップ「箔を使ってみよう！」 加藤丈史 9/25 午後2時～ (参加者 24名)  
ワークショップ「墨で描こう！」 福井江太郎 10/30 午後2時～ (参加者 26名)
  - ④ 作品解説会 9/10、10/1、11/5 午後2時～ (参加者 合計46名)
  - ⑤ 群馬県民の日 無料開放 10/28 (234名)

出品点数 日本画 31点

紹介記事 心に迫るみずみずしさ 日本画若手4人が作品展 (上毛新聞 9月4日)

伝統と斬新さ融合 注目の若手4人日本画に新境地 (JOMO TAKATAI 9月23日) ほか

入館者 3,663名

刊行物 図録(作品図版21点、本文32頁)

ごあいさつ/図版[福井江太郎・加藤丈史・神戸智行・岩田壮平]/作家略歴/出品目録/それぞれの煌めき一箔の技法から(青木 忍)



No	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ	出品展
福井江太郎							
1.	瞬 I	2000	個展／ギャラリー・イセヨシ	雲肌麻紙／岩絵具・墨・木炭・鉛筆	パネル	113.5×182.0	横浜美術館・9/10-10/10 展示
2.	如	2000	個展／ギャラリー・イセヨシ	雲肌麻紙／岩絵具・墨・木炭	パネル	180.0×180.0	横浜美術館・10/12-11/6 展示
3.	阿 I	2003	福井江太郎展／東邦アート	雲肌麻紙／墨・岩絵具・木炭・蜜蝋	パネル	243.0×630.0	文化庁
4.	尙	2006	個展／東邦アート	雲肌麻紙／岩絵具・墨・胡粉・金箔	額	243.0×27.6	作家蔵
5.	連	2006	個展／東邦アート	雲肌麻紙／岩絵具・墨・胡粉・金箔	パネル	120.0×729.0	作家蔵／愛媛県美術館寄託
6.	焔	2007	両洋の眼展	雲肌麻紙／岩絵具・墨・金箔	額	186.0×132.0	作家蔵
7.	アブストラクト	2008	個展「Ostriches and Silent Flowers」／Crossing art Gallery・N.Y	ボール紙／墨・木炭・アクリル絵具	紙 20 枚	55.0×40.0	作家蔵
8.	艶	2010	福井江太郎日本画展／池袋西武百貨店	雲肌麻紙／岩絵具・墨・胡粉・金箔	額	186.0×136.0	個人蔵
加藤文史							
9.	孤	2003	個展／麻布アートサンクション	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨・銀箔	パネル	145.0×250.0	作家蔵
10.	朧	2006	日本画 6 人展-Well met! 2006-	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨	パネル	145.0×145.0	作家蔵
11.	薄明	2008	第 34 回春季創画展	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨	額	117.0×117.0	作家蔵
12.	余韻	2008	第 35 回創画展(奨励賞)	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨・銀箔	額	192.0×238.0	作家蔵／当館寄託
13.	茫々	2009	第 35 回春季創画展	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨	額	93.0×117.0	作家蔵
14.	帆	2009	第 36 回創画展	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨・銀箔	額	192.0×238.0	作家蔵
15.	湖風	2011	第 37 回春季創画展	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨・銀箔	額	117.0×117.0	作家蔵
16.	蕩々	2011	いろいろづき展	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨・銀箔	パネル	130.0×194.0	作家蔵
17.	汀	2011	トップランナー 日本画の若き力	雲肌麻紙／岩絵具・胡粉・墨・銀箔	パネル	162.0×162.0	作家蔵
神戸智行							
18.	彩れる水面 桜色のソナタ	2003	個展／ギャラリー青羅	雲肌麻紙・典具帖紙／岩絵具・箔	四曲一隻	140.0×320.0	作家蔵／当館寄託
19.	陽のあたる場所	2006	神戸智行展 イノセント・ワールド／洋協アートホール・ギャラリー広田美術	雲肌麻紙・典具帖紙／岩絵具・箔	四曲一隻	140.0×320.0	作家蔵／当館寄託
20.	いつもの時間	2009	クロスアート 2／岐阜県美術館	雲肌麻紙・典具帖紙／岩絵具・箔	パネル	140.0×480.0	作家蔵／岐阜県美術館寄託
21.	僕のいる場所	2011	トップランナー 日本画の若き力／高崎市タワー美術館【新作】	雲肌麻紙・典具帖紙／岩絵具・箔	パネル／18 面		作家蔵
岩田壮平							
22.	Water	2005	第 37 回日展(特選)	雲肌麻紙／墨・胡粉・岩絵具・水干絵具・箔	額	187.0×185.0	作家蔵
23.	花泥棒	2006	第 38 回日展(無鑑査)	雲肌麻紙／岩絵具・雲母・箔	額	200.0×185.0	作家蔵／練馬区立美術館寄託
24.	誕生日に	2007	第 39 回日展	雲肌麻紙／岩絵具・雲母・箔	額	200.0×194.0	作家蔵
25.	コンセント	2008	第 40 回日展	雲肌麻紙／岩絵具・雲母	額	227.3×162.0	作家蔵

No	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ	出品展
26.	KOI	2008	千年の会／オンワードギ ャラリー日本橋	絹本／雲母・岩絵具・顔料	額	91.0×60.6	個人蔵
27.	My Garden	2009	こころの花展／ギャラリー 桜の木	雲肌麻紙／岩絵具・雲母	二曲一隻	196.0×224.0	作家蔵・11/1-11/6 展 示
28.	罌粟	2009	美の予感展／高島屋	雲肌麻紙／岩絵具・箔	額	53.0×72.7	個人蔵・11/1-11/6 展 示
29.	HANAノ図	2010	渺渺展 2010	絹本(金地)／岩絵具	六曲一隻	168.0×372.0	作家蔵・9/10-10/30 展 示
30.	胸に咲く花	2010	第45回日春展(日春賞)	雲肌麻紙／岩絵具・雲母	額	116.7×91.0	作家蔵
31.	Flower	2011	岩田壮平展 FLOWERS ／いつき美術画廊	雲肌麻紙／岩絵具・雲母	額	90.0×116.7	作家蔵

## 収蔵作品展 めでたきもの

日本は、季節のうつろいがはっきりしていると言われるが、そのなかで、日本人はそれぞれの四季の表情を楽しみ、自然に崇敬の念を抱きながら暮らしてきた。季節の変わり目とな節目の時期は、節句、節季と呼ばれ、自然への感謝や人びとの息災を願うため、さまざまな風習や行事が行われるが、こうした日は、日常とは異なる儀礼の場にふさわしい吉祥をあらわす図様が場を飾られた。その場を包むめでたい雰囲気は、季節を慈しみ、楽しむ心とともに場を飾る日本画の画面や書にも表われている。

本展覧会では、正月を迎えるこれからの時期とあわせ、おめでたいもの＝吉祥を寓意した図様の作品と、開催時季である秋から冬にかけての景色を描いた作品を中心とし、これに近年美術館で預かった作品を加え、日本の季節の情景のひとつまを楽しんでもらうべく、日本画と書を展示した。



会 期	2011年11月19日(土)～2012年1月29日(日) 54日間
主 催	高崎市タワー美術館
関連事業	① ミュージアムコンサート 琵琶演奏会 12/16 午後6時～ (参加者 62名) ② 作品解説会 11/19、12/3、12/17、1/7、1/21 午後2時～ (参加者 合計72名)
出品点数	日本画・書 60点
紹介記事	1月下旬まで吉祥図など展示 (下野新聞 12月18日) ほか
入館者	3,133名
刊行物	リーフレット 日本画を鑑賞するための用語集

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	出品展
1	横山大観	神洲第一峰	昭和 30 年(1955)頃	絹本彩色／軸	44.7×57.0	
2	下村観山	蓬萊	大正 13 年(1924)	絹本彩色／軸	126.5×49.2	観山近業精英展
3	川合玉堂	朝陽映島	昭和前期	絹本墨画淡彩／軸	46.1×57.0	
4	前田青邨	南天	昭和 30 年(1955)頃	紙本彩色／軸	44.0×62.3	
5	小林古径	茄子	昭和 5 年(1930)	絹本彩色／軸	140.3×57.0	第 1 回七絃会
6	渡辺省亭	天女		絹本彩色／軸	113.2×35.5	
7	武居梅堤	鶴図		絹本彩色／軸	86.0×84.0	
8	武居梅堤	孔雀図		絹本墨画淡彩／軸	86.5×84.5	
9	川端龍子	五月鯉	昭和 30 年(1955)頃	絹本彩色／軸	54.0×71.8	
10	松尾敏男	波濤翔龍図	平成 13 年(2001)	紙本金地墨彩／二曲 一隻	176.5×174.0	21 世紀劈頭展
11	富田溪仙	壑を渉る鹿	昭和 6 年(1931)	絹本彩色／軸	166.5×77.8	ベルリン日本画展
12	作者不詳	鹿図		紙本墨画淡彩／軸	26.2×27.9	
13	林 功	生		絹本彩色／軸	52.5×40.9	
14	川島睦郎	兔図		紙本彩色／額	45.0×60.0	
15	吉川靈華	王仁		絹本彩色／軸	128.5×42.0	
16	守屋多々志	紅梅		紙本彩色／額	32.5×23.4	
17	川端龍子	富嶽図		紙本彩色／額	32.0×42.3	
18	小茂田青樹	雪景	大正 9 年(1920)	紙本彩色／軸	33.4×47.4	小茂田青樹作画個人展覧会
19	前端雅峯	井伊宗観好月次茶器	昭和 57-62 年 (1982-87)	木地・漆		
20	栗原幸彦	茜	平成 3 年(1991)	紙本彩色／四曲一隻	185.0×366.0	
21	橋本閑雪	霜樹栗鼠	昭和 10 年(1935)	絹本墨画淡彩／軸	79.0×88.0	
22	狩野芳崖	雪中楼閣之図	明治 16 年(1883)頃	紙本墨画／軸	52.5×89.0	
23	山元春拳	夏溪瀑布・寒江待渡	明治 29 年(1896)頃	絹本彩色／軸(双幅)	126.5×50.5	
24	石原紫雲	春雪	昭和 37 年(1962)	紙本墨画淡彩／二曲 一隻	137.2×157.0	
25	高橋常雄	春雪榛名山	昭和 62 年(1987)	紙本彩色／額	149.0×300.0	再興第 72 回院展
26	武居梅坡	竹梅図(歳寒二雅)	明治 28 年(1895)	紙本墨画／軸	90.0×29.5	
27	武居梅坡	雪中仙侶	明治 28 年(1895)	紙本彩色／軸	141.0×46.0	
28	小山 硬	駿河富士		紙本彩色／額	52.5×72.5	
29	片岡球子	初冠雪の富士の山	昭和 50 年(1975)	紙本彩色／額	45.2×52.8	第 3 回長久手うづら会
30	川崎春彦	富士悠々	昭和 63 年(1988)	紙本彩色／額	145.0×68.8	躍動の画家 川崎春彦展
31	稲木皓人	朝暉	昭和時代	紙本彩色／額	48.0×61.0	
32	高橋常雄	須弥山絵図	昭和 51 年(1976)	紙本彩色／額	98.5×71.0	第 27 回群馬県美術展
33	小笠原元	秋保	昭和 60 年(1985)	紙本彩色／額	162.2×109.4	第 8 回山種美術館賞展
34	佐藤太清	秋容	昭和 60 年(1985)	紙本彩色／額	45.0×60.0	
35	曲子明良	秋麓雨後		紙本彩色／額	52.5×72.5	
36	山口華楊	秋晴		絹本彩色／額	43.5×50.5	
37	本多功身	憫(おどろき)	昭和 60 年(1985)	紙本彩色／額	199.0×166.5	第 17 回日展(特選)
38	川合玉堂	渡頭宿雪		紙本彩色／額	39.5×52.5	
39	鹿見喜陌	冬日	平成 3 年(1991)	紙本彩色／額	52.3×72.0	
40	由里本出	冬山への道	昭和 49 年(1974)	紙本彩色／額	60.0×90.0	現代日本新人絵画展
41	小泉淳作	劔岳	平成 6 年(1994)	紙本墨彩／額	56.0×86.0	第 12 回美淵展
42	岡 信孝	雪の一力	昭和 55 年(1980)	紙本彩色／額	64.3×90.1	京を求めて
43	島田隆司	閑寂	昭和 62 年(1987)	紙本彩色／額	115.8×90.0	うづら会
44	加倉井和夫	赤き実		紙本彩色／額	61.0×91.0	
45	高橋常雄	晨(上高地)	昭和 59 年(1984)	紙本彩色／額	63.5×89.0	第 35 回群馬県美術展
46	松村公嗣	湿原	昭和 62 年(1987)	紙本彩色／額	130.3×162.1	第 9 回山種美術館賞展

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	出品展
47	山口華揚	白梅に小禽		紙本彩色／額	46.5×37.5	
48	北澤映月	花の中	昭和 62 年(1987)	紙本彩色／額	64.5×50.0	第 42 回春の院展
49	上村松園	櫻がり図	昭和 10 年代後半頃	絹本彩色／額	41.0×50.7	
50	松尾敏男	素描牡丹	平成 12 年(2000)	紙本彩色／額	54.5×73.5	
51	大澤雅休	洞中仙草	昭和 24 年(1949)	紙本墨書／額	22.3×34.5	第 2 回書道芸術院展
52	大澤雅休、棟方志功	平原主人	昭和 26 年(1951)	紙本墨書彩色／額	35.2×36.0	
53	山本聿水	日々是好日	昭和 30 年(1955)	紙本墨書／額	32.0×48.0	
54	山本聿水	知足(感謝)	昭和 61 年(1986)	紙本墨書／額	42.0×136.5	
55	山本聿水	阿吽	昭和 59 年(1984)	紙本墨書／額	36.0×47.5	第 1 回大璞会
56	山本聿水	吉祥 さいわい(1)	昭和 48 年(1973)	紙本墨書／額	139.0×69.0	
57	山本聿水	吉兆 さいわい(2)	昭和 48 年(1973)	紙本墨書／額	125.0×61.0	
58	山本聿水	真如	昭和 60 年(1985)	紙本墨書／額	21.0×48.0	
59	山本聿水	無尽蔵	昭和 39 年(1964)	紙本墨書／額	30.0×30.0	
60	山本聿水	胎蔵	昭和 40 年(1965)	紙本墨書／額	57.1×51.1	

開館 10 周年特別展 佐川美術館所蔵 平山郁夫展 大唐西域画への道

平山郁夫は平和への祈りを込めた数々の優れた作品と、文化財保護活動による偉大な足跡を遺し、平成 21 年 12 月に亡くなった。自らの被爆体験から玄奘三蔵の苦難の歩みに思いを寄せ、仏教伝来の道程からシルクロードをテーマに描き続け、その集大成として奈良・薬師寺に「大唐西域壁画」を献納した。本展覧会に出品される「大唐西域画」は、壁画の約四分の一の大きさで描かれた作品で、より多くの人々に玄奘三蔵の求道の軌跡を観てほしいという平山の願いと、画業の集大成へ至る深い情熱が込められている。

高崎市タワー美術館の開館 10 周年特別展として開催した本展覧会では、佐川美術館が誇る国内最大規模の平山コレクションから、「大唐西域画」を始めとする約 70 点の本画・素描を展覧し、最も愛された日本画家・平山郁夫の生涯と平和を追求し続けた活動を紹介した。



会 期	2012 年 2 月 5 日（日）～3 月 31 日（土） 48 日間
主 催	高崎市タワー美術館
後 援	上毛新聞社、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
企画協力	産経新聞社
関連事業	① 記念講演会 平山美知子・小川貞夫「平山郁夫とともに」 3/10 午後 2 時～（参加者 106 名） ② 作品解説会 2/5、2/18、3/3、3/17、3/25 午後 2 時～（参加者 合計 323 名）
出品点数	日本画・素描 76 点
紹介記事	大唐西域画への道 平山郁夫展 1～10（上毛新聞 1 月 25 日～2 月 3 日） 大唐西域画と「高崎の春」原画も（産経新聞 2 月 5 日） 平山郁夫展 71 作品紹介（朝日新聞 2 月 6 日）
入 館 者	13,931 名

No	作品名	制作年	材質	技法	サイズ
第1章 仏教生誕の地—インド・カンボジア					
1	仏誕の地 ルンビニー・ネパール	平成7年/1995	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
2	デカン高原 オーランガバード	平成7年/1995	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
3	エローラ石窟 インド	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
7	祈り(エローラ石窟)	平成10年/1998	紙本彩色	本画	116.7 × 80.3
5	ナーランダの大塔	平成3年/1991	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
9	出山釈迦	昭和40年/1965	紙本彩色	本画	90.8 × 54.6
6	インドの女性 ナーランダ遺跡	平成4年/1992	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
8	タージ・マハル	平成10年/1998	紙本彩色	本画	80.3 × 116.7
4	カシミールの町 スリナガル インド	平成3年/1991	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
12	四面仏塔 バイヨン アンコールトム遺跡	平成5年/1993	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
10	天堂苑樹(小下絵)	昭和41年/1966	絹本彩色	本画	29.0 × 65.5
15	女神像 アンコールワット遺跡 カンボジア	平成4年/1992	紙本彩色	素描	45.5 × 37.9
16	女神像デヴァター アンコール遺跡	平成5年/1993	紙本彩色	本画	90.9 × 65.2
17	タブローム遺跡 女神像	平成5年/1993	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
18	本殿入口 アンコールワット遺跡	平成5年/1993	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
19	女神像アブサラ アンコールワット遺跡	平成5年/1993	紙本彩色	本画	90.9 × 65.2
20	アンコール遺跡出土 石仏 プノンベン国立博物館 カンボジア	平成5年/1993	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
13	バイヨン寺院 アンコールトム遺跡	平成5年/1993	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
14	アンコールワット遺跡	平成5年/1993	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
第2章 東西交流の道—西アジア・中央アジア・中国					
25	アラビヤの花嫁	平成2年/1990	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
21	ペルセポリスの遺跡 イラン	平成6年/1994	紙本彩色	本画	74.0 × 54.0
23	チャドルの女性 イラン	平成2年/1990	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
24	イラン フィルサバードの遺跡 少数民族の女性	平成2年/1990	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
22	月下シルクロードを行く	平成13年/2001	紙本彩色	本画	65.2 × 91.0
29	ガズニーの塔 アフガニスタン	平成7年/1995	紙本彩色	素描	45.4 × 60.7
30	バーミアンの大石仏 アフガニスタン	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
31	アフガニスタンの老人 ジョン・モハマッド カブール	平成2年/1990	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
27	石仏立像 ガンダーラ	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
26	フンザ河とカラコルムハイウェイ オブタンジェランジェを見ながら パキスタン	平成3年/1991	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
28	ギリシャ人の町遺跡 シルカット タキシラパキスタン	平成3年/1991	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
32	レギスタン広場のモスク サマルカンド ウズベキスタン	平成5年/1993	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
33	中央アジアの町 ブハラ ウズベク	平成3年/1991	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
34	市場の帽子屋の少女 カシュガル	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
35	ウイグル族の娘 リヤングルさん 十七歳 クチャ 新疆ウイグル自治区	平成6年/1994	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
37	楼蘭の遺跡 仏塔	平成3年/1991	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
36	西域の老人	昭和55年/1980	紙本彩色	本画	72.6 × 53.0
43	龍門石窟 石仏	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
44	龍門石窟 奉先寺	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
38	敦煌莫高窟	平成7年/1995	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
39	敦煌莫高窟	平成3年/1991	紙本彩色	本画	65.2 × 90.9
41	雲崗石窟 第三窟 左脇侍	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
42	雲崗石窟 大石仏 第二十窟 大同	平成3年/1991	紙本彩色	素描	65.2 × 50.0
47	大慈恩寺 大雁塔 西安	平成3年/1991	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
45	小雁塔 西安 中国	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
46	西安市街	平成3年/1991	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
40	飛天	昭和41年/1966	紙本彩色	本画	50.6 × 65.7

No	作品名	制作年	材質	技法	サイズ
48	玄奘三蔵を祀った霊谷寺 南京	平成7年/1995	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
49	玄奘三蔵を祀ったお堂 霊谷寺 南京	平成7年/1995	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
50	南京城壁と民家と堀	平成7年/1995	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
51	南京城壁と鷄鳴寺	平成7年/1995	紙本彩色	本画	65.6 × 90.9
52	南京城壁 中華門上より南京市街を望む	平成7年/1995	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
53	南京城壁沿道 ブラタナス街路樹 中山路	平成7年/1995	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
第3章 仏教文化の精華—日本・韓国					
57	仏国寺 慶州 韓国	平成6年/1994	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
58	金銅弥勒菩薩半跏像 国立中央博物館 ソウル 韓国	平成3年/1991	紙本彩色	素描	65.2 × 50.0
59	三重石塔 新羅 慶州 韓国	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
60	薬師寺の夕べ	平成9年/1997	紙本彩色	本画	80.3 × 116.7
63	釈迦三尊像 右脇侍 法隆寺 金堂	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
62	不空羂索観音 東大寺 法華堂	平成3年/1991	紙本彩色	素描	65.2 × 50.0
61	東大寺の朝	昭和53年/1978	紙本彩色	本画	40.9 × 53.1
64	法隆寺 五重塔	平成3年/1991	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
65	法隆寺	平成3年/1991	紙本彩色	本画	65.2 × 90.9
66	延暦寺 常行堂	平成12年/2000	紙本彩色	素描	45.4 × 60.6
67	延暦寺 根本中堂への石段	平成12年/2000	紙本彩色	素描	60.6 × 45.4
68	大原の春 三千院	平成11年/1999	紙本彩色	本画	80.3 × 116.6
69	鳳凰堂	昭和35年/1960	紙本彩色	本画	45.5 × 65.2
第4章 大唐西域画—玄奘三蔵、求道の軌跡					
70	明けゆく長安大雁塔 中国	平成19年/2007	紙本彩色	本画	80.3 × 116.7
71	嘉峪関を行く 中国	平成19年/2007	紙本彩色	本画	80.3 × 233.4
72	高昌故城 中国	平成19年/2007	紙本彩色	本画	80.3 × 233.4
74	バーミアン石窟 アフガニスタン	平成19年/2007	紙本彩色	本画	80.3 × 233.4
75	デカン高原の夕べ インド	平成19年/2007	紙本彩色	本画	80.3 × 233.4
76	ナーランダの月 インド	平成19年/2007	紙本彩色	本画	80.3 × 116.7



## 企画展 京都を彩るかたちというー調和する意匠と色彩

京都は、平安時代の建都以来、日本の文化が結集した都市である。その文化は、天皇家と公家社会を核とした御所を中心に形成されたが、それらを支えた京都の町は、今も洗練された意匠や色彩があふれ、いくたびの兵火や災害に見舞われながらも、古都のたたずまいを今に伝えている。京都の人びとは、三方を山で囲まれた山紫水明の都市の暮らしのなかで四季を楽しみ、祭事、伝統行事など、折々の節目を大切にしてきた。数々の美術工芸品には、そうした感性や季節感が反映され、優れたデザインと色彩感覚に彩られている。

本展覧会では、意匠や文様、色彩と、京都にとけ込んだ季節感や美意識、日本文化の粋といえる京の様式美を、染織品等の工芸品 131 点によって紹介した。



会 期	2012年4月14日（土）～6月17日（日） 57日間	
主 催	高崎市タワー美術館	
共 催	京都市立芸術大学芸術資料館	
協 力	唐紙制作工房唐長、染司よしおか、財団法人西陣織物館、宮井株式会社	
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎	
助 成	独立行政法人芸術文化振興基金	
関連事業	① 講演会 千田聖二「現代空間における唐長の唐紙」 5/27 午後2時～ （参加者 55名） ② 連携プログラム 小山祥明・大工原智子「風呂敷の歴史と包み方」 5/13 午後2時～ （参加者 32名） ③ 作品解説会 4/14、4/28、5/19、6/9 午後2時～ （参加者 合計88名） ④ 連携事業 映画「紫一色に魅了された男の夢」上映 5/19～5/25 シネマテークたかさき （入場者数 160名）	
出品点数	陶芸・染織等 131点	
紹介記事	意匠と色で京の美 （上毛新聞 4月13日） 京都の歴史 感じる逸品 （上毛新聞 4月20日） 古都を彩る伝統工芸 （JOMO TAKATAI 5月18日） ほか	
入 館 者	3,847名	
刊 行 物	リーフレット（出品目録、作品図版13点）	

No	作品名	作者名	制作年	技法材質など	所蔵
1	染付雲堂文茶碗	永楽保全	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
2	錆絵蟹図茶碗	清水六兵衛(初代)	江戸時代中期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
3	錆絵鶴図茶碗	角倉一方堂	江戸～明治	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
4	染付蝦蟹図茶碗	角倉一方堂	江戸～明治	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
5	呉須赤絵写鳳凰文鉢	永楽保全	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
6	赤絵瓔珞文鉢	水越与三兵衛	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
7	色絵菊文向付	尾形乾山	江戸時代中期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
8	鉄釉水指	永楽回全	明治時代	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
9	御本写水指	野々村仁清	江戸時代前期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
10	色絵椿文鉢	永楽和全	江戸～明治	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
11	色絵槍梅文水指	尾形乾山	江戸時代中期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
12	錆絵染付薄文四方向付	尾形乾山	江戸時代中期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
13	瀬戸釉筒水指	野々村仁清	江戸時代前期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
14	色絵梅花文茶碗	尾形乾山	江戸時代中期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
15	錆絵曆文茶碗	高橋道八(二代)	天保4年	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
16	黒楽茶碗	楽宗入(楽五代)	江戸時代前期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
17	黒楽茶碗	楽了入(楽九代)・楽旦入(楽十代)	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
18	錆絵雲鶴文急須	青木木米	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
19	急須	青木木米	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
20	黒楽茶碗	楽左入(楽六代)	江戸時代中期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
21	呉須赤絵写魚文鉢	水越与三兵衛	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
22	葡萄形盃洗	高橋道八(三代)	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
23	松篁絵白鉢	伊東陶山(二代)・上村松篁	昭和11年頃	磁土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
24	平八郎絵白鉢	伊東陶山(二代)・福田平八郎	昭和11年頃	磁土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
25	荻邨絵白茶碗	伊東陶山(二代)・宇田荻邨	昭和11年頃	磁土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
26	向日葵花瓶	清水六兵衛(六代)	昭和14年	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
27	黒楽茶碗	楽旦入(楽十代)	江戸時代後期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
28	赤楽茶碗	楽長入(楽七代)	江戸時代中期	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
29	山桑真葉瓶	河合卯之助	昭和29年頃	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
30	色絵草花文様盛器	清水六兵衛(六代)	昭和10年	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
31	葡萄染付壺	近藤悠三	昭和時代	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
32	薊染付壺	近藤悠三	昭和時代	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
33	山染付茶碗	近藤悠三	昭和54年頃	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
34	山染付水指	近藤悠三	昭和45年頃	陶土／釉、焼成	京都市立芸術大学芸術資料館
35	人物蒔絵印籠	塩見政誠	江戸時代	木／漆・金、蒔絵	京都市立芸術大学芸術資料館
36	塗匙	佐野長寛	江戸時代末期	木／漆、髹漆	京都市立芸術大学芸術資料館
37	夏越蒔絵杯	伝、永田友治	江戸時代	木／漆・金、蒔絵	京都市立芸術大学芸術資料館
38	鶴蒔絵螺鈿硯箱	伝、永田友治	江戸時代	木／漆・金	京都市立芸術大学芸術資料館
39	鉄線蒔絵鶉籠	作者不詳	江戸時代	木／漆・金	京都市立芸術大学芸術資料館
40	黒漆鼠短檠	作者不詳	江戸時代	木／漆・顔料	京都市立芸術大学芸術資料館
41	黒漆夜桜棗	中村宗哲(六代)	江戸時代	木／漆	京都市立芸術大学芸術資料館
42	片輪車千鳥蒔絵酒温器	作者不詳	江戸時代	木／漆・金	京都市立芸術大学芸術資料館
43	黒塗湯次	作者不詳	江戸時代	木／漆	京都市立芸術大学芸術資料館
44	桐仁鳳凰文様 丸帯		大正10年		財団法人 西陣織物館
45	蓬萊織丸帯裂帖	佐々木清七	明治15-30年		財団法人 西陣織物館
46	唐織扇面流し貼交屏風	戦時下高度技術保存	昭和18年		財団法人 西陣織物館
47	能装束裂貼交屏風	喜多川平八	明治45年		財団法人 西陣織物館
48	帯地貼交屏風 西陣織会館竣工記念		昭和51年		財団法人 西陣織物館
49	小葵地紋檢扇文様丸帯		大正5年		財団法人 西陣織物館

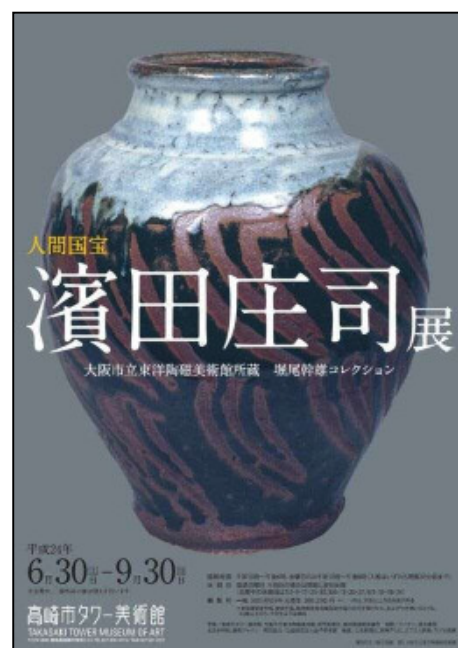
No	作品名	作者名	制作年	技法材質など	所蔵
50	紅地雪輪青海波に水仙文唐織能装束	山口安次郎	平成3年		財団法人 西陣織物館
51	緞子地菊蕊童切伏染繡袷紗	神坂雪佳	昭和前期		宮井株式会社
52	縮緬地梅に細輪三ツ星紋刺繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
53	縮子地五三桐紋繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
54	縮子地嶋台模様刺繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
55	縮子地貝桶模様刺繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
56	縮子地犬筒模様刺繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
57	壁織地蓬萊山の囚友禪袷紗		明治時代		宮井株式会社
58	縮子地熨斗に橘模様刺繡袷紗		江戸中期		宮井株式会社
59	縮地菖蒲模様友禪袷紗		江戸中期		宮井株式会社
60	塩瀬地老松の図描絵袷紗	鈴木百年	明治中期		宮井株式会社
61	縮子地双鶴模様刺繡袷紗		明治時代		宮井株式会社
62	縮子地石橋模様刺繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
63	緞子地四季草花寿文字入刺繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
64	縮子地雪持水仙模様刺繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
65	縮子地子供遊戯具模様刺繡袷紗		江戸中期		宮井株式会社
66	縮子地海の幸模様刺繡袷紗		江戸中期		宮井株式会社
67	縮子地雄蝶雌蝶模様刺繡袷紗		明治後期		宮井株式会社
68	綴錦地丸に揚羽蝶紋袷紗		江戸後期		宮井株式会社
69	縮子地鷹模様刺繡袷紗		江戸後期		宮井株式会社
70	縮地 秋虫の楽隊模様友禪風呂敷		大正～昭和		宮井株式会社
71	縮地 笹に螢模様友禪風呂敷		大正時代		宮井株式会社
72	山繭縮緬地 霞に草花文様絞染風呂敷		大正時代		宮井株式会社
73	和更紗見本帖		江戸時代		染司よしおか
74	小袖雛形本 (3冊)		江戸時代		染司よしおか
75	萌黄の襲	吉岡幸雄	平成23年	蓼藍生葉+黄蘗濃淡2段、蓼藍+黄蘗濃淡3段	染司よしおか
76	若竹の襲	吉岡幸雄	平成23年	蓼藍+黄蘗濃淡5段	染司よしおか
77	女郎花の襲	吉岡幸雄	平成23年	楊梅濃淡3段、蓼藍+黄蘗、蓼藍+刈安	染司よしおか
78	胡桃の襲	吉岡幸雄	平成23年	一位2段、胡桃、丁子、蓼藍+安柘榴	染司よしおか
79	梅の襲	吉岡幸雄	平成23年	紅花濃淡4段、蘇芳	染司よしおか
80	桜の襲	吉岡幸雄	平成23年	生絹、薄紅花2段、濃紅花2段	染司よしおか
81	柳の襲	吉岡幸雄	平成23年	生絹、蓼藍+刈安濃淡4段	染司よしおか
82	山吹の襲	吉岡幸雄	平成23年	槐2段、刈安、支子、蓼藍+黄蘗	染司よしおか
83	躑躅の襲	吉岡幸雄	平成23年	蓼藍+刈安濃淡2段、蘇芳濃淡3段	染司よしおか
84	牡丹の襲	吉岡幸雄	平成23年	紅花濃淡5段	染司よしおか
85	藤の襲	吉岡幸雄	平成23年	紫根濃淡3段、生絹、蓼藍+黄蘗	染司よしおか
86	菖蒲と杜若の襲	吉岡幸雄	平成23年	紫根濃淡3段、蓼藍+刈安濃淡2段	染司よしおか
87	萱草の襲	吉岡幸雄	平成23年	茜+刈安濃淡4段、楊梅	染司よしおか
88	橘の襲	吉岡幸雄	平成23年	生絹、刈安濃淡2段、蓼藍+刈安濃淡2段	染司よしおか
89	夕顔の襲	吉岡幸雄	平成23年	生絹、刈安、生絹、蓼藍+刈安	染司よしおか
90	水色の襲	吉岡幸雄	平成23年	生絹、蓼藍生葉、生絹、蓼藍濃淡2段	染司よしおか
91	青紅葉の襲	吉岡幸雄	平成23年	蓼藍生葉+黄蘗濃淡3段、蓼藍+黄蘗、茜	染司よしおか
92	撫子の襲	吉岡幸雄	平成23年	生絹、紅花濃淡2段、蘇芳、蓼藍+黄蘗	染司よしおか
93	菊の襲	吉岡幸雄	平成23年	生絹、黄蘗、刈安、蓼藍+安柘榴、蓼藍+刈安	染司よしおか
94	紅葉の襲	吉岡幸雄	平成23年	茜濃淡3段、安柘榴、楊梅	染司よしおか
95	朽葉の襲	吉岡幸雄	平成23年	椽、安柘榴、刈安濃淡3段	染司よしおか
96	松の襲	吉岡幸雄	平成23年	蓼藍+刈安濃淡4段、紫根	染司よしおか
97	鈍色の襲	吉岡幸雄	平成23年	矢車濃淡5段	染司よしおか
98	蘇芳の襲	吉岡幸雄	平成23年	蘇芳濃淡5段	染司よしおか

No	作品名	作者名	制作年	技法材質など	所蔵
99	葡萄の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	紫根 3 段、蘇芳、蓼藍	染司よしおか
100	今様の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	紅花濃淡 5 段	染司よしおか
101	紫の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	紫根濃淡 5 段	染司よしおか
102	紅梅の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	紅花、蘇芳、紅花濃淡 2 段	染司よしおか
103	桜の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	無地和紙、紅花濃淡 3 段	染司よしおか
104	萌黄の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	藍+黄蘗濃淡 2 段、黄蘗	染司よしおか
105	藤の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	紫根濃淡 2 段、無地和紙、藍+黄蘗	染司よしおか
106	杜若の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	紫根、藍+黄蘗濃淡 3 段	染司よしおか
107	水の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	藍濃淡 4 段	染司よしおか
108	紫苑の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	紫根+蘇芳、紫根濃淡 3 段	染司よしおか
109	菊の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	黄蘗濃淡 2 段、藍+黄蘗濃淡 2 段	染司よしおか
110	紅葉の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	渋木、茜濃淡 2 段、紅花	染司よしおか
111	松の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	藍+黄蘗、紫根、藍+黄蘗濃淡 2 段	染司よしおか
112	二藍の襲	吉岡幸雄	平成 23 年	藍濃淡 2 段、藍+紅花濃淡 2 段	染司よしおか
113	唐紙文様 千家大桐			襖	唐長
114	唐紙文様 しだれ桜			襖	唐長
115	唐紙文様 (表)影日向光悦桐／(裏)天平大雲			二曲一隻屏風	唐長
116	唐紙文様 (表)光悦文様／(裏)桜橘立涌			二曲一隻屏風	唐長
117	唐紙文様 (表)大牡丹／(裏)大牡丹			二曲一隻屏風	唐長
118	唐紙文様 光琳枝梅			パネル 1 面	唐長
119	唐紙文様 影日向枝桜			パネル 1 面	唐長
120	唐紙文様 向こうむき兔			パネル 1 面	唐長
121	唐紙文様 影日向雪輪			パネル 1 面	唐長
122	唐紙文様 桜の花散らし			パネル 1 面	唐長
123	唐紙文様 稲穂波			パネル 1 面	唐長
124	唐紙文様 芒に紅葉			パネル 1 面	唐長
125	唐紙文様 桜の花散らし			パネル 1 面	唐長
126	唐紙文様 天平大雲			パネル 1 面	唐長
127	唐紙文様 枝桜			パネル 1 面	唐長
128	唐紙文様 信夫			1 枚	唐長
129	唐紙文様 竜安寺文様			1 枚	唐長

## 企画展 人間国宝 濱田庄司展 大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション

20世紀を代表する陶芸家・濱田庄司（1894～1978）。濱田は東京高等工業学校（現東京工業大学）窯業科を卒業後、京都市陶磁器試験場で主に釉薬の研究に従事しました。26歳の時にバーナード・リーチの誘いで渡英、セント・アイヴスで本格的な作陶を開始し、帰国後は栃木県益子に拠点を置き独自の作陶活動を展開した。民藝運動の中心的存在でもあった濱田は、自らも生活に根ざしたやきものづくりに生涯をかけ、1955年（昭和30）には第1回重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定、1968年（昭和43）には文化勲章を受章している。

大阪市立東洋陶磁美術館には、濱田の人と作品に深く魅せられた故・堀尾幹雄氏が長年にわたって蒐集した200点を超える濱田作品が寄贈されており、日本有数のコレクションとして知られている。使い手を意識しながらも高い創造性をあわせ持ち、大胆で力強い作品を数多く生み出した濱田の手仕事の軌跡、そして半世紀以上におよぶ堀尾氏の蒐集の軌跡から、濱田の作品、人物の魅力に迫った。



会 期	2012年6月30日（土）～9月30日（日） 80日間
主 催	高崎市タワー美術館、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協 賛	ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン
特別協力	公益財団法人濱田庄司記念益子参考館
後 援	上毛新聞社、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
関連事業	① 講演会 濱田友緒「益子焼と濱田窯、震災と復興」 8/5 午後2時～（参加者 62名） ② 連携事業 高崎市文化事業友の会バスツアー「濱田庄司を訪ねて」 9/28 午前7時30分～ ③ 作品解説会 6/30、7/14・29、8/18、9/2・15・29 午後2時～（参加者 合計145名）
出品点数	陶芸 218点
紹介記事	浜田庄司の名品 218点（読売新聞 7月1日） 陶芸家・濱田庄司展 上・中・下（読売新聞 8月15日～17日）ほか
入 館 者	6,419名

No	作家名	作品名	制作年	寸法	所蔵先	展示期間
第1章 コレクションの軌跡						
1		昨日在庵、今日不在、明日他行	濱田庄司	昭和時代	29.0×38.5	● 前期
2		昨日在庵、今日不在、明日他行	濱田庄司	昭和時代		◆ 後期
3		柿釉抜絵 角瓶	濱田庄司	1973 年頃	15.3×18.6×6.6	●
4		黒釉 角鉢	濱田庄司	1947 年頃	10.8×48.0×34.0	●
5		鉄絵 角鉢	濱田庄司	1943 年	11.4×44.6×30.2	●
6		鉄砂青差 角鉢	濱田庄司	1957 年頃	6.8×22.0×16.5	●
7		柿釉抜絵 角皿	濱田庄司	1950 年	6.4×30.1×30.8	●
8		飴釉櫛目 角皿	濱田庄司	1950 年頃	7.3×30.5×30.3	●
9		柿釉文打鉄絵 角皿	濱田庄司	1957 年	8.6×31.3×31.1	●
10		抜絵 角鉢(二客)	濱田庄司	昭和時代	7.3×12.6×12.8	●
11		鉄絵 角皿	濱田庄司	1949 年頃	3.6×22.5×18.0	●
12		柿釉抜絵 角皿	濱田庄司	1949 年頃	3.5×22.6×18.0	●
13		赤絵 角鉢	濱田庄司	1952 年 5 月	4.4×18.9×19.0	●
14		絵替 角皿(五枚)	濱田庄司	昭和時代	3.5×15.4×15.6	●
15		海鼠釉 向付(五客)	濱田庄司	1952 年頃	5.7×16	●
16		黒釉抜絵 鉢	濱田庄司	1957 年頃	5.7×19	●
17		塩釉盛絵 ピッチャー	濱田庄司	昭和時代	24.9×19.3	●
18		鉄砂文押 ピッチャー	濱田庄司	1960 年頃	20.0×19.5	●
19		焼締丸文 蓋物	濱田庄司	1949 年頃	15.5×14.7	●
20		柿釉丸文 壺	濱田庄司	1940 年頃	34.6×17.4	●
21		地釉文打 鉢	濱田庄司	1951 年頃	10.1×18.3	●
22		赤絵 鉢	濱田庄司	1940 年頃	9.3×18.2	●
23		鉄絵 鉢	濱田庄司	1957 年頃	12.6×19.3	●
24		海鼠釉 片口鉢	濱田庄司	1947 年 11 月	11.0×22	●
25		赤絵 徳利(一対)	濱田庄司	1955 年頃	11.2×7.9	●
26		赤絵 盃	濱田庄司	1955 年頃	3.4×6.0	●
27		赤絵 盃	濱田庄司	1955 年頃	3.8×6.0	●
28		地釉 茶器(一式)	濱田庄司	1951 年頃		●
29		焼締丸文 急須	濱田庄司	1950 年頃	9.6×13.8	●
30		赤絵 急須	濱田庄司	1950 年	8.9×12.7	●
31		地釉 急須	濱田庄司	昭和時代	12.7×19.8	●
32		鉄砂文打 土瓶	濱田庄司	1948 年	16.3×18.8	●
33		鉄砂 香炉	濱田庄司	1948 年 11 月	9.1×11.0	●
34		飴釉 面取香炉	濱田庄司	1953 年 4 月	8.2×10.6	●
35		柿釉抜絵 盒子	濱田庄司	1951 年 10 月	4.3×6.4×6.3	●
36		鉄絵 盒子	濱田庄司	1953 年頃	6.3×7.6	●
37		鉄絵 盒子	濱田庄司	1950 年頃	6.3×6.9×6.9	●
38		鉄絵 盒子	濱田庄司	1949 年	5.1×8.5	●
39		柿釉抜絵 盒子	濱田庄司	1948 年頃	5.0×5.8×5.6	●
40		赤絵 盒子	濱田庄司	1951 年	5.6×6.1	●
41		柿釉抜絵 水指	濱田庄司	1940 年	20.2×17.8	● 前期
42		黒釉彫絵 水指	濱田庄司	1950 年 4 月	19.5×18	● 後期
43		鉄絵 皿(六枚)	濱田庄司	昭和時代	4.6×19.1	●
44		柿釉抜絵 角皿(五枚)	濱田庄司	昭和時代	3.7×15.4×15.2	●
45		赤絵 小皿	濱田庄司	1950 年頃	3.4×10	● 前期
46		赤絵 六角小皿(六枚)	濱田庄司	1950 年頃	3.0×8.6	● 前期
47		地釉 向付(五客)	濱田庄司	昭和時代	6.3×15.8	● 前期

No	作家名	作品名	制作年	寸法	所蔵先	展示期間	
48	繪替	小皿(五枚)	濱田庄司	1935年頃	2.8×9.3	●	後期
49	赤繪	手付皿(五枚)	濱田庄司	1950年頃	3.4×11.8	●	後期
50	鉄繪	皿(五枚)	濱田庄司	昭和時代	4.7×17.2	●	後期
51	繪刷毛目	茶碗	濱田庄司	1931年	10.7×9.9	●	前期
52	鉄砂	茶碗	濱田庄司	1934年頃	10.6×11.7	●	前期
53	刷毛目	茶碗	濱田庄司	1935年	10.3×10.8	●	前期
54	鉄砂	茶碗	濱田庄司	1937年	8.8×15.7	●	前期
55	象嵌	茶碗	濱田庄司	1942頃	9.6×13.7	●	前期
56	柿釉鉄繪	茶碗	濱田庄司	1942年	9.8×12.4	●	前期
57	鉄繪	茶碗	濱田庄司	1943年6月	10.4×12	●	前期
58	柿釉鉄繪	茶碗	濱田庄司	1943年	6.6×13.1	●	前期
59	象嵌	茶碗	濱田庄司	1944年秋	8.3×14.5	●	前期
60	柿釉盛繪	茶碗	濱田庄司	1946年1月	7.0×13.8	●	前期
61	柿釉胴紐赤繪	茶碗	濱田庄司	1947年5月	10.4×10.8	●	前期
62	櫛目掛分	茶碗	濱田庄司	1947年10月	9.7×11.3	●	前期
63	縁黒胴紐	茶碗	濱田庄司	1948年1月	11.1×10.6	●	前期
64	海鼠釉文打	茶碗	濱田庄司	1948年11月	9.0×14.4	●	前期
65	地釉	茶碗	濱田庄司	1949年3月	9.7×12.8	●	前期
66	地釉流掛	茶碗	濱田庄司	1949年6月	12.1×11.4	●	前期
67	地釉	茶碗	濱田庄司	1949年11月	8.9×15	●	前期
68	地釉	茶碗	濱田庄司	1949年	10.2×13	●	前期
69	繪刷毛目	茶碗	濱田庄司	1950年2月	10.2×12.4	●	前期
70	鉄繪	茶碗	濱田庄司	1950年2月	10.7×10.1	●	前期
71	縄文	茶碗	濱田庄司	昭和時代	7.4×14.9	●	前期
72	鉛釉縄文	茶碗	濱田庄司	1950年4月	8.5×14.1	●	前期
73	鉛釉櫛目	茶碗	濱田庄司	1950年4月	9.8×12.8	●	前期
74	縄文	茶碗	濱田庄司	1950年5月	7.7×15.7	●	前期
75	黄釉鉄掛	茶碗	濱田庄司	1950年8月(黒牟田窯)	10.0×10.8	●	前期
76	鉄繪	茶碗	濱田庄司	1950年8月	10.0×12.1	●	前期
77	掛分指描	茶碗	濱田庄司	1950年10月	10.0×13.2	●	前期
78	地釉	茶碗	濱田庄司	1950年11月	10.6×12.5	●	前期
79	流掛	茶碗	濱田庄司	1950年頃	8.2×11.3	●	前期
80	灰釉彫繪	茶碗	濱田庄司	1945-50年	10.4×12.2	●	前期
81	鉛釉文押	茶碗	濱田庄司	1951年3月	10.0×12	●	前期
82	黄釉胴紐	茶碗	濱田庄司	1951年4月	9.0×12.8	●	後期
83	鉛釉	茶碗	濱田庄司	1951年8月	10.2×13.3	●	後期
84	地釉	茶碗	濱田庄司	1951年11月	9.3×14.5	●	後期
85	地釉	茶碗	濱田庄司	1951年	10.8×10.4	●	後期
86	地釉	茶碗	濱田庄司	1951年頃	9.8×15.4	●	後期
87	焼締押文	茶碗	濱田庄司	1952年4月	8.3×12.4	●	後期
88	黒釉窓繪	茶碗	濱田庄司	1952年4月	9.8×12.1	●	後期
89	黄釉胴紐	茶碗	濱田庄司	1952年8月	12.2×11.7	●	後期
90	鉄繪	茶碗	濱田庄司	1953年7月	8.2×13.9	●	後期
91	地掛鉄繪	茶碗	濱田庄司	1954年11月		●	後期
92	鉄繪	茶碗	濱田庄司	1954年11月	10.6×11.3	●	後期
93	鉛釉文打	茶碗	濱田庄司	1957年4月	11.7×11.6	●	後期
94	塩釉繪刷毛目	茶碗	濱田庄司	1957年頃	9.0×13.7	●	後期
95	鉛釉	茶碗	濱田庄司	1958年4月	6.9×14.6	●	後期

No	作家名	作品名	制作年	寸法	所蔵先	展示期間
96	地釉 茶碗	濱田庄司	1958年11月	9.6×15	●	後期
97	藍塩釉 茶碗	濱田庄司	1959年2月	10.5×14.2	●	後期
98	地釉胴紐 茶碗	濱田庄司	1960年4月	12.3×10.9	●	後期
99	塩釉櫛目色差 茶碗	濱田庄司	1961年	10.4×12.3	●	後期
100	塩釉彫絵 茶碗	濱田庄司	1962年6月	10.1×9.7	●	後期
101	地釉 茶碗	濱田庄司	1963年3月	8.9×15.2	●	後期
102	塩釉花打 茶碗	濱田庄司	1965年1月	9.9×14	●	後期
103	掛合釉 茶碗	濱田庄司	1965年10月	9.4×13.9	●	後期
104	柿釉櫛目 茶碗	濱田庄司	1960-65年	6.9×14	●	後期
105	塩釉櫛目色差 茶碗	濱田庄司	1966年4月	10.4×10.4	●	後期
106	地掛鉄絵 茶碗	濱田庄司	1966年12月	9.4×13.7	●	後期
107	三彩 茶碗	濱田庄司	1968年8月	6.4×16.3	●	後期
108	塩釉胴紐鉄砂 茶碗	濱田庄司	1968年	10.8×11.5	●	後期
109	柿釉赤絵 茶碗	濱田庄司	1968年	8.8×12.6	●	後期
110	楽茶碗	濱田庄司	1968年頃	11.3×10.7	●	後期
111	地掛鉄絵 茶碗	濱田庄司	1972年4月	11.7×12.6	●	後期
112	塩釉白打色差 茶碗	濱田庄司	1972年	9.8×14.2	●	後期
113	葉書	濱田庄司			★	
114	彩色土器		B.C.2500-2300		◆	
115	白磁刻花文大平鉢		中国・宋時代	11.0×39.0×39.0	◆	
116	天啓染付 皿		中国・明時代		◆	
117	瑠璃餅花手皿		中国・明時代		◆	
118	鯉図	棟方志功	1945年8月29日	27.8×92.5	●	前期
119	新宮殿のための額絵	芹澤銈介	1968年	41.5×91.5	●	前期
120	壺屋窯開六人女	芹澤銈介	1940年冬	85.2×61.0	●	前期
121	法然上人絵伝(第十五)	芹澤銈介	1941年	39.8×47.5	●	後期
122	紙雛図	芹澤銈介	1949年	105.0×52.0	●	後期
123	なまず遊泳	棟方志功	昭和時代	94.0×28.0	●	後期
124	ガレナ釉鳥の巢文 大皿	ハーナード・リーチ	1952年	10.0×44.8	●	
125	緑釉 水指	河井寛次郎	1950年頃	16.6×19.4	●	前期
126	鉄釉 硯・水滴	河井寛次郎	1936年	5.9×22.7×12.5	●	後期
127	辰砂筒描 蓋物	河井寛次郎	1949年頃	10.0×13.1	●	後期
128	辰砂菱花文 鉢	河井寛次郎	1943年頃	7.1×18	●	前期
129	黄釉椿絵 茶碗	河井寛次郎	1950年頃	9.3×13.1	●	
130	三色打釉 茶碗	河井寛次郎	1960年頃	7.8×15.2	●	
131	赤楽茶碗	黒田辰秋		8.7×12.2	●	
132	真塗吹雪棗	黒田辰秋		8.1×7.6	●	
第2章 濱田の歩んだ道						
133	染付鉄絵 盃	濱田庄司	1916-1920年頃	5.6×6.6	●	
134	呉須鉄絵 六角皿	濱田庄司	1920年	3.6×15.6×14.0	●	
135	ガレナ釉蓋壺	濱田庄司	1922年	18.2×15.0×15.0	●	
136	鉛釉筒描 楕円皿	濱田庄司	昭和時代	7.7×35.0	●	
137	柿釉 紅茶器(一式)	濱田庄司	1950年頃		●	
138	柿釉抜絵 角瓶	濱田庄司	1943年頃	28.6×12.4×12.6	●	
139	鉄絵 角瓶	濱田庄司	1942年頃	23.1×10.9×10.6	●	
140	赤絵 角瓶	濱田庄司	1956年頃	26.4×11.6×11.5	●	
141	赤絵丸文 段重	濱田庄司	1943年頃	15.8×14.5×8.5	●	
142	赤絵丸文 飯茶碗(五客)	濱田庄司	1941年頃	9.3×11.4	●	
143	鉄砂 角瓶	濱田庄司	1950年2月	23.4×10.2×10.0	●	



No	作家名	作品名	制作年	寸法	所蔵先	展示期間
144	鉄砂 角瓶	濱田庄司	1952 年頃	20.0×7.2×12.2	●	
145	鉄砂 面取花生	濱田庄司	1965 年頃	22.8×13.6	●	
146	鉄砂抜絵 扁壺	濱田庄司	1948 年頃	28.4×22	●	
147	鉄砂抜絵 扁壺	濱田庄司	1937 年頃	30.8×24.9	●	
148	絵刷毛目 楕円鉢	濱田庄司	1937 年	9.2×22.9	●	
149	黒釉抜絵 鳥形水滴	濱田庄司	1951 年	5.2×6.9	●	
150	柿釉抜絵 水滴	濱田庄司	1940 年	4.5×8.2	●	
151	地掛鉄絵 水滴	濱田庄司	1936 年	5.0×4.9×4.0	●	
152	ダイニングテーブル、イス	デザイン: 濱田庄司	1935 年		◆	
153	ダイニングテーブルのデザインスケッチ	濱田庄司			◆	
154	装飾電燈傘	デザイン: 濱田庄司	1937 年		◆	
155	ラウンジチェア・オットマン	チャールズ・イームズ	1952 年頃		◆	
第3章 益子の土と釉薬						
156	焼締文押 鉢	濱田庄司	1951 年頃	6.4×19.7	●	
157	塩釉抜絵 鉢	濱田庄司	昭和時代	8.1×23.0	●	
158	藍塩釉櫛目 鉢	濱田庄司	1969 年	9.0×23.5	●	
159	藍塩釉抜絵 花生	濱田庄司	1952 年頃	20.2×8.3	●	
160	掛合釉 花生	濱田庄司	1960 年頃	19.7×10.2	●	
161	塩釉彫絵 花生	濱田庄司	1960 年頃	17.2×11.5	●	
162	飴釉赤絵 角鉢	濱田庄司	1948 年 4 月	5.4×19.8×20.0	●	
163	手付皿(五枚)	濱田庄司	1957 年頃	3.6×12.3	●	
164	鉄絵 湯呑	濱田庄司	1935 年頃	7.5×8.3	●	前期
165	鉄絵 湯呑	濱田庄司	1941 年頃	8.7×9.1	●	前期
166	鉄砂 湯呑	濱田庄司	1935 年	9.3×9.8	●	前期
167	鉄絵 湯呑	濱田庄司	昭和時代	9.6×8.5	●	前期
168	鉄絵 湯呑	濱田庄司	昭和時代	9.1×7.6	●	前期
169	鉄絵 湯呑	濱田庄司	昭和時代	9.3×8.1	●	前期
170	地釉 湯呑	濱田庄司	昭和時代	9.4×7.8	●	前期
171	柿釉盛絵 湯呑	濱田庄司	1946 年頃	8.8×7.3	●	前期
172	鉄絵 湯呑	濱田庄司	昭和時代	8.6×8.3	●	前期
173	飴釉赤絵 湯呑	濱田庄司	昭和時代	8.7×8.6	●	前期
174	柿釉抜絵 湯呑	濱田庄司	昭和時代	8.5×8.7	●	前期
175	柿釉 湯呑	濱田庄司	1957 年頃	9.0×8.9	●	前期
176	飴釉 湯呑	濱田庄司	昭和時代	9.1×8.6	●	前期
177	灰釉文押 湯呑	濱田庄司	1953 年 8 月	9.2×8.4	●	前期
178	飴釉 湯呑	濱田庄司	昭和時代	8.2×8.3	●	前期
179	灰釉彫絵 湯呑	濱田庄司	昭和時代	9.8×8.4	●	前期
180	鉄絵 盃	濱田庄司	1950 年頃	5.2×8.2	●	後期
181	柿釉 盃	濱田庄司	昭和時代	3.9×6.1	●	後期
182	赤絵 盃	濱田庄司	昭和時代	3.6×5.6	●	後期
183	海鼠釉 盃	濱田庄司	昭和時代	3.9×5.5	●	後期
184	柿釉抜絵 盃	濱田庄司	昭和時代	3.6×5.8	●	後期
185	海鼠釉 盃	濱田庄司	昭和時代	3.9×5.6	●	後期
186	塩釉 盃	濱田庄司	1963 年	6.1×7.6	●	後期
187	鉄絵 盃	濱田庄司	昭和時代	3.6×5.3	●	後期
188	縁黒 盃	濱田庄司	昭和時代	4.5×6.2	●	後期
189	藍塩釉 盃	濱田庄司	1959 年 2 月	5.4×7.0	●	後期
190	飴釉 盃	濱田庄司	昭和時代	4.3×6.0	●	後期

No	作家名	作品名	制作年	寸法	所蔵先	展示期間
191	地釉 盃	濱田庄司	1950 年	5.6×6.9	●	後期
192	灰釉 盃(五客)	濱田庄司	1949 年頃	4.6×6.9	●	後期
193	海鼠釉 ミルクポット	濱田庄司	1950 年頃	8.6×12.4	●	後期
194	海鼠釉 コーヒーカップ&ソーサー	濱田庄司	1950 年頃	コーヒーカップ 7.2×9.8 ソーサー 3.5×13.8	●	後期
195	鉛釉盛絵 ピッチャー	濱田庄司	1963 年頃	25.8×16.5	●	
196	青釉白流描 角皿	濱田庄司	1963 年	8.3×32.7×32.9	●	
197	地釉 鉢	濱田庄司	昭和時代	15.1×24.4	●	
198	黒釉文打 食籠	濱田庄司	1948 年 10 月	23.5×28.6	●	
199	灰釉盛絵 壺	濱田庄司	1955 年頃	28.5×26.5	●	
200	柿釉鉄絵青差 壺	濱田庄司	1940 年頃	29.9×25.6	●	
201	塩釉絵刷毛目 扁壺	濱田庄司	1966 年頃	25.0×21.0	●	
202	白釉 方壺	濱田庄司	1961 年頃	22.0×17.2×17.5	●	
203	藍塩釉櫛目 水指	濱田庄司	1970 年 5 月	13.6×13.4	●	
204	藍塩釉 面取瓶	濱田庄司	1960 年頃	30.6×11.0	●	
第 4 章 躍動する文様						
205	鉄砂 壺	濱田庄司	1942 年頃	26.6×19.0×19.0	●	
206	鉛釉文打 扁壺	濱田庄司	1963 年頃	21.4×17.6	●	
207	切込掛分 花瓶	濱田庄司	1959 年頃	24.9×21.8	●	
208	掛分指描 壺	濱田庄司	昭和時代	35.0×28.0	●	
209	掛分指描 土瓶	濱田庄司	1949 年	26.5×24.8	●	
210	掛分指描 瓶	濱田庄司	1957 年頃	28.1×16.8	●	
211	黒釉指描 蓋物	濱田庄司	1950 年頃	14.9×20.1×20.1	●	
212	掛分指描 ピッチャー	濱田庄司	1957 年頃	29.8×19.2	●	
213	掛分指描 大鉢	濱田庄司	1943 年	16.2×52.8	●	
214	白釉黒流描 大鉢	濱田庄司	昭和時代	13.2×50.6	●	
215	青釉白黒流描 大鉢	濱田庄司	1951 年頃	12.2×49.8	●	
216	白釉青流描 皿(五枚)	濱田庄司	1948 年頃	3.8×19.6	●	
217	黒釉錆流描 皿	濱田庄司	1967 年頃	5.5×26.8	●	
218	黒釉錆流描 皿	濱田庄司	昭和時代	8.3×33	●	

所蔵者欄: ●印=大阪市立東洋陶磁美術館、◆印=公益財団法人浜田庄司記念益子参考館、★印=個人

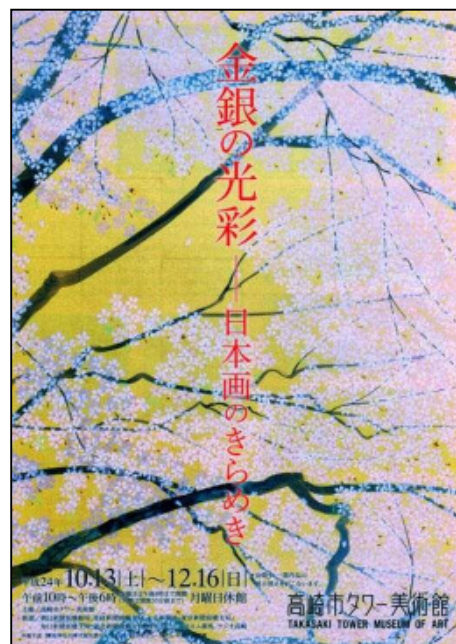
展示館の記載がない作品は全会期展示

## 企画展 金銀の光彩—日本画のきらめき

「装飾性」は日本画の特徴のひとつだが、なかでも金銀の輝きは画面を荘厳し、あるいは永遠性や象徴性を伴う空間を生み出し、きらめく色彩として作品を華麗に装う。

金属を薄く延ばした「箔」を貼付する他、箔を粉末状にした「泥」、箔を小さな方形に切る「切箔」、糸状に切る「野毛」、また網目を通して細かく蒔く「砂子」などの形態の違いや、絹の裏側に箔を貼る「裏箔」など、技法は多岐にわたる。金銀の光彩は、作品の装飾性を高めるとともに、強い魔力で観る者を惹きつける。

本展覧会では、艶やかな金のきらめきと密やかな銀の輝き、プラチナの冴えた光、といった魅力を見てもらうため、金銀などによる表現が施された近代・現代の日本画作品によって、さまざまな箔の技法や新たな可能性を紹介した。



会 期	2012年10月13日(土)～12月16日(日) 56日間
主 催	高崎市タワー美術館
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
関連事業	① 講演会 神戸智行「現代につづく日本画材の魅力」 11/17 午後2時～ (参加者 60名) ② 作品解説会 10/13、10/28、11/10、12/2、12/15 午後2時～ (参加者 合計153名) ③ 群馬県民の日 無料開放 10/28 (511名)
出品点数	日本画 40点
紹介記事	和の世界を堪能 (JOMO TAKATAI 10月12日) きらめく日本画 高崎で企画展示 (読売新聞 10月14日) 学芸員が選ぶお気に入り 神戸智行 彩れる水面 虹色のシンフォニー (上毛新聞 10月31日) ほか
入 館 者	6,218名
刊 行 物	リーフレット 鑑賞の手引き (作品図版11点)

No	作家名	作品名	制作年	材質技法/形状	サイズ	所蔵	
1	小川 芋銭	山村春遍・秋浦魚楽	大正 14 年頃	絹本金地墨画淡彩/ 二曲一双	各 151.6×144.6	(株)ヤマタネ	
2	木島 桜谷	秋草図	大正 12 年	絹本彩色/六曲一双	各 157.8×360.2	泉屋博古館分館	◆
3	望月 玉溪	白牝孔雀	明治 42 年	絹本彩色/六曲一双	各 151.2×375.2	泉屋博古館分館	◇
4	中島 千波	素桜神社の神代桜	平成8年	絹本彩色/四曲一隻	175.0×340.0	おぶせミュージアム・中島千波館	
5	中島 千波	紅白牡丹図	平成 22 年	絹本彩色/六曲一双	各 171.0×365.0	おぶせミュージアム・中島千波館	
6	下田 義寛	水辺	昭和 56 年	紙本彩色/額	128.8×161.0	(株)ヤマタネ	◆
7	守屋 多々志	遊行柳(芭蕉)	平成元年	紙本彩色/四曲一隻	171.0×365.0	当館寄託	◇
8	伊東 深水	春宵(東おどり)	昭和 29 年	紙本金地/四曲一双	各 174.0×261.0	(株)ヤマタネ	
9	加山 又造	千羽鶴	昭和 45 年	絹本彩色/六曲一双	各 167.0×372.0	東京国立近代美術館	◆
10	速水 御舟	暁に開く花	昭和9年	紙本彩色/軸	43.2×62.2	東京国立近代美術館	◇
11	小茂田 青樹	睡鴨・飛鴨	昭和4年	絹本彩色/軸(双幅)	各 142.0×49.3	(株)ヤマタネ	◇
12	上村 松篁	柿紅葉	平成8年	紙本彩色/額	92.0×65.0	(株)ヤマタネ	◇
13	高橋 常雄	白い風景	昭和 30 年	紙本彩色/額	88.5×134.0	当館	◇
14	小室 翠雲	奇花異鳥図	昭和7年	絹本彩色/二曲一双	各 168.3×173.0	当館寄託	
15	神戸 智行	彩れる水面 紅色の シンフォニー	平成 15 年	紙本彩色/四曲一隻	140.0×320.0	当館寄託	
16	広瀬 きよみ	牡丹	昭和 56 年	紙本金地彩色/額	97.5×77.8	(株)ヤマタネ	
17	青山 亘幹	祇園会の頃	平成元年	絹本彩色/額	162.1×130.3	(株)ヤマタネ	
18	牧 進	夏初月	平成4年	紙本彩色/額	73.0×91.0	(株)ヤマタネ	
19	横山 操	秋	昭和 38 年	紙本彩色/額	150.0×61.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
20	横山 操	TOKYO	昭和 43 年	紙本彩色/額	180.0×181.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
21	田淵 俊夫	風さわぐ	平成4年	紙本彩色/額	103.0×103.0	(株)ヤマタネ	
22	麻田 鷹司	東尋坊a	昭和 37 年	紙本彩色/額	118.0×162.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
23	小室 翠雲	青山白雲・虞山溪嵐図	大正元年	絹本金地墨画/二曲一双	各 180.0×174.0	当館	
24	伊藤 杉耳	お雛さま	昭和 63 年	紙本彩色/額	33.0×52.5	当館寄託	
25	山口 華楊	紅椿		紙本金地彩色/額	47.5×59.0	(株)ヤマタネ	
26	田淵 俊夫	曙光	昭和 58 年	紙本金地彩色/額	45.5×37.5	当館寄託	
27	小倉 遊亀	紅梅	平成3年	紙本金地彩色/額(扇面)	30.5×43.8	(株)ヤマタネ	
28	横山 大観	神洲第一峰		紙本彩色/軸	44.7×57.0	(株)ヤマタネ	
29	奥村 土牛	聖	昭和 59 年	紙本彩色/額	80.0×116.0	(株)アクティブ	
30	横山 操	親不知夜雨	昭和 45 年	紙本墨画/額	78.0×121.0	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
31	松尾 敏男	牡丹晨光		紙本彩色/額	39.7×52.5	(株)ヤマタネ	
32	川崎 春彦	日輪富士	昭和 63 年	紙本彩色/額	145.0×68.8	当館寄託	
33	川崎 春彦	富士悠々	昭和 63 年	紙本彩色/額	145.0×68.8	(株)ヤマタネ	
34	石踊 達哉	短夜	平成3年	紙本彩色/額	100.0×80.2	当館寄託	
35	東山 魁夷	樹水	平成8年	カンヴァス彩色/額	67.0×92.0	当館寄託	
36	林 功	聴風	平成4年	絹本彩色/額	159.8×110.0	当館寄託	
37	マコト・フジムラ	Golden Fire	平成 20 年	紙本彩色/パネル③	178.0×267.0	当館寄託	
38	加藤 丈史	帆	平成 21 年	紙本彩色/額	192.0×238.0	当館寄託	
39	神戸 智行	イノセントワールド	平成 15 年	紙本彩色/パネル⑥	190.0×546.0	当館寄託	
40	西野 陽一	黒潮	平成 10 年	紙本彩色/額(3 面)	190.5×511.5	当館寄託	

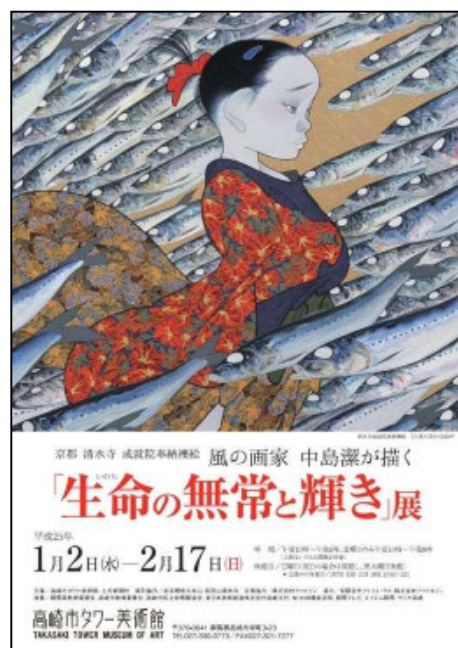
展示期間 ◆ : 10/13~11/18、◇ : 11/20~12/16

## 企画展 京都 清水寺 成就院奉納襖絵 風の画家 中島潔が描く「生命の無常と輝き」展

NHK みんなのうたのイメージ画を手がけ、多くの人たちに親しまれてきた“風の画家”中島潔。18歳のとき、最愛の母の死をきっかけに郷里の佐賀県唐津から上京し、画家になりたいという夢を胸に抱き、温泉掘りや印刷所で必死に働きながら独学で絵を描き続けた。

その後、広告の世界でアートディレクターとして創作活動に入っからは数々の賞を受賞、その画才を発揮するが、1982年のNHKみんなのうた“かかん・からす”で、一躍脚光を浴び、広く親しまれるようになった。やわらかく繊細なタッチで描かれた作品は、優しく切ない独特な情景を作りだしている。

本展覧会では、5年の歳月をかけて制作し、2010年に京都の古刹・清水寺の塔頭・成就院に奉納された襖絵を中心として、これに新作等59点を加えて展示。日本の四季と生命の無常と輝きをテーマとし、日本の四季の風景に人間の夢や哀しみ、祈りを込めて作品を描いた中島潔の世界を紹介した。



会 期	2013年1月2日(水)～2月17日(日) 41日間
主 催	高崎市タワー美術館、上毛新聞社
特別協力	北法相宗大本山 音羽山清水寺
協 力	有限会社アトリエウメ、株式会社アートカフェ
後 援	群馬県教育委員会、高崎市教育委員会、高崎市私立幼稚園協会、東日本旅客鉄道株式会社、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
企画協力	株式会社アートワン
関連事業	① 中島潔サイン会 1/12、2/2 午前11時～、午後1時～ (参加者 各70名) ② 作品解説会 1/2、1/19、1/27、2/9 午後2時～ (参加者 合計448名) 1/18・25、2/1・8・15 金曜日 午後6時30分～ (参加者 合計134名)
出品点数	襖絵等70点
紹介記事	中島潔さんの画業紹介 (上毛新聞 12月22日) “風の画家”中島さん作品展 (上毛新聞 12月29日) 生命…色彩豊かに 中島潔さん高崎で作品展 (上毛新聞 1月3日) 風の彩り 中島潔が描く「生命の無常と輝き」展①～⑩ (上毛新聞 1月16日～30日、10回連載) 中島潔展の来場1万人 (上毛新聞 1月28日) ほか
入 館 者	25,804名

No	作品名	制作年	形状	サイズ
空の向うに				
1	空	2010	額装	73.6×110.0
2	想い	2011	額装	44.7×59.8
3	茜雲	2011	額装	79.8×115.8
4	風	2011	額装	73.0×110.0
道程—みちのり—				
5	異邦人	1981	額装	50.0×72.0
6	落書き	1983	額装	78.0×108.0
7	モンサンミッシェル	1985	額装	44.5×67.5
8	赤いおべべ	1977	額装	36.0×54.5
9	石狩荒野	1992	額装	63.0×88.5
10	叱られて	1995	額装	64.0×97.0
11	ほたるこい	1995	額装	64.0×97.0
12	里の秋	1996	額装	99.0×70.0
13	絵日傘	1996	額装	101.0×72.0
14	夕やけ小やけ	1999	額装	66.0×95.5
15	童の四季(屏風絵)	2005	四曲一隻	171.4×342.4
16	娘三歳	1993	額装	33.3×45.5
17	月夜	1991	額装	29.3×46.0
18	風鈴	2002	額装	39.0×54.5
19	ペチカ	1970	額装	39.0×56.0
20	虫の声	1999	額装	65.0×96.0
21	冬の星座	2000	額装	66.0×96.0
22	花かずら	2003	額装	72.0×102.0
23	向日葵	2002	額装	45.0×75.0
新しい風—未来へ— I				
24	新しい風	2011	額装	50.0×70.0
25	春の風	2011	額装	35.0×50.0
26	早春の香り	2011	額装	35.0×50.0
27	三姉妹	2011	額装	50.0×70.0
28	山里の春	2012	額装	39.8×51.5
29	トビウオ	2011	額装	50.0×70.0
30	夏のバス停	2011	額装	35.0×50.0
31	ふるさとの夏	2011	額装	35.0×50.0
32	風はあのふる里へ	2012	額装	66.0×96.0
33	笛の音	2011	額装	35.0×50.0
34	獅子舞	2012	額装	66.0×96.0
35	紫陽花のゆれる頃	2012	額装	66.0×96.0
清水寺成就院奉納襖絵				
36	かぐや姫	2010	襖絵四面	181.0×476.0
37	かぐや姫	2010	襖絵四面	181.0×381.0
38	風の故郷—花別れ	2010	襖絵四面	181.0×476.0
39	風の故郷—にわか雨	2010	襖絵四面	181.0×571.0
40	風の故郷—向日葵	2010	襖絵四面	181.0×476.0
41	風の故郷—紅葉	2010	襖絵四面	181.0×268.0
42	風の故郷—紅葉	2010	襖絵二面	181.0×190.0
43	風の故郷—紅葉	2010	襖絵四面	181.0×571.0
44	風の故郷—雪の音	2010	襖絵四面	181.0×476.0

No	作品名	制作年	形状	サイズ
45	大漁	2010	襖絵四面	181.0×476.0
46	大漁	2010	襖絵四面	181.0×381.0
新しい風—未来へ— II				
47	野の風	2010	額装	60.0×90.0
48	夏少女	2011	額装	39.3×26.0
49	花の音色	2010	額装	50.0×35.9
50	秋あかね	2011	額装	35.0×50.0
51	お手玉	2009	額装	20.7×32.0
52	雨宿り	2010	額装	35.0×47.0
53	うし蛙	2012	額装	41.0×53.0
54	燃える季節	2011	額装	33.5×25.7
55	彩る頃	2012	額装	35.0×50.0
56	唐津くんち	2012	額装	122.0×166.0
57	天空の音色	2005	額装	44.8×75.9
58	紅葉	2007	額装	35.0×50.0
新しい風—未来へ— III				
59	初雪	2011	額装	50.0×70.0
60	故郷の雪	2011	額装	35.0×50.0
61	赤いマフラー	2011	額装	25.5×33.7
62	青いマフラー	2011	額装	20.8×31.7
63	優しい雪	2012	額装	35.0×50.0
64	父の帰る日	2012	額装	33.3×45.5
65	老梅と凧	2012	額装	40.9×53.0
66	花の夢 少女	2011	額装	12.0×50.0
67	花の夢 少年	2011	額装	12.0×65.5
金子みすゞの世界				
68	お花だったら	2000	額装	71.5×90.0
69	不思議	2000	額装	93.0×72.0
70	明るい方へ	2000	額装	72.0×90.0

## 企画展 高崎市文化賞受賞作家展

高崎市文化賞は、学術および芸術文化活動の振興に努め、大きな功績を残した高崎市民を顕彰する賞である。1972（昭和47）年度の第1回より、高崎市民の豊かな心を培う文化の推進力となった多くの方々が受賞されている。

本展覧会は、美術の分野で高崎市文化賞を受賞された方々の功績を讃え、その作品世界を紹介するもので、高崎市美術館と高崎市タワー美術館との合同企画展として開催した。

高崎市美術館では中村節也（洋画家）、松本忠義（洋画家）、豊田一男（洋画家）、塚田とほる（洋画家）伊藤富太郎（写真家）、町田洋二（洋画家）、田中朝庸（洋画家）、吉田光正（彫刻家）の8人を、高崎市タワー美術館では山本聿水（書家）、山崎青樹（染色家）、金澤子卿（書家）、吉村晴子（染色家）、藍田正雄（染色家）の5人をそれぞれ紹介した。



**会 期** 2013年2月24日（日）～3月24日（日） 24日間

**主 催** 高崎市タワー美術館・高崎市美術館

**後 援** 朝日新聞前橋総局、共同新聞社前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、J:COM 群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎

**関連事業** ① 出品作家による作品解説

藍田正雄 3/2 午後2時～ （参加者 22名）

吉村晴子 3/9 午後2時～ （参加者 59名）

② 作品解説会 2/24、3/10 午後2時～ （参加者 合計28名）

**出品点数** 染織・書等74点

**紹介記事** 高崎市文化賞受賞作家展 洋画や彫刻…180点 （上毛新聞 2月25日）

高崎の芸術 歩み一堂 （上毛新聞 3月9日） ほか

**入館者** 2,065名

**刊行物** パンフレット（作品図版 各作家2点、本文12頁）



## 山崎青樹

No	作品名	制作年	染材料、その他	所蔵先
1	手描き着物 嵯峨野		藍 生葉(地色)、藍、黄木、墨	個人蔵
2	織着物 荒磯			個人蔵
3	織着尺			個人蔵
	縹		藍 葉	
	水縹		藍 葉	
	濃二藍		紅花 花、藍 葉	
	白縹		臭木 実	
	水縹		藍 生葉	
4	織着物 茜さす紫野		茜草、紫草	個人蔵
5	型染着物 秋桜		ラック、杏、藍草、黄檗	個人蔵
6	織着尺			個人蔵
	臙脂色		ラック虫	
	緋		茜 根	
	薄蘇芳		蘇芳 幹材	
	うす茜		茜 根	
	桃染		紅花 花、藁灰、米酢	
	桃染		コチニール虫	
7	織着物 紅花野			個人蔵
8	型染着物 藪苧麻		黄檗 若葉	個人蔵
9	織着尺			個人蔵
	浅緑		黄檗 若葉	
	萌黄		梅檀 若葉	
	苔色		セイトカアワダチソウ 緑草	
	梅幸茶		ウワミズザクラ、葛	
	黄		黄檗 樹内皮	
	千歳茶		藍 葉、黄檗 樹皮	
10	織着物 高原			個人蔵
11	型染着物 九蓋草		松煙、ログウッド	個人蔵
12	織着尺			個人蔵
	桜煤竹		枇杷 枝葉	
	焦茶		山漆 紅葉	
	岩井茶		栗 樹皮、梅 幹材	
	紅椀皮色		雄蛭木 樹皮(エキス)	
	濃丁子		丁子 花蕾	
	丁子色		丁子 花蕾	
13	織着物 霞			個人蔵
14	草木画 杜鵑草			個人蔵
15	草木画 うこんの花			個人蔵
16	草木画 白雲木			個人蔵
17	スケッチブック			個人蔵
18	染糸			個人蔵
19	月明織着尺			個人蔵
	山崎斌復元 色格子			
	山崎斌復元 琉球縞			
	山崎斌復元 横段			
	山崎斌復元 紺浅黄格子縞			
	山崎斌復元 兎地立縞			

No	作品名	制作年	染材料、その他	所蔵先
山崎斌復元 蘇芳嵐八縞				
20	著作			個人蔵
21	『草木染 日本の色』出版記念展における川端康成、奥村土牛の推薦文下書き	1972年		個人蔵

藍田正雄

No	作品名	制作年	染材料、その他	所蔵先
22	江戸小紋着尺 桜	2012年	道具彫り	作家蔵
23	江戸小紋着尺 木賊	2012年	引き彫り	作家蔵
24	江戸小紋着尺 四分六角通し	2012年	道具彫り	作家蔵
25	江戸小紋着尺 四分六左手綱	2012年	引き彫り	作家蔵
26	江戸小紋着尺 薩摩左手綱	2012年	引き彫り	作家蔵
27	中形名古屋帯 花籠	2012年	突き彫り	作家蔵
28	中形名古屋帯 枝垂れ桜	2012年	突き彫り	作家蔵
29	江戸小紋掛着 緋文様	2012年	道具彫り	増山氏蔵
30	江戸小紋祝着 献上菊通し		道具彫り	増山氏蔵
31	江戸小紋袴 二三縞		引き彫り	増山氏蔵
32	江戸小紋羽織着物 変り御召十	2012年	道具彫り	増山氏蔵
33	江戸小紋袴 七五三縞	2012年	引き彫り	増山氏蔵
34	小紋着物 雁木縞	2000年	突き彫り	群馬県立日本絹の里蔵
35	伊勢型紙 雁木縞		突き彫り	群馬県立日本絹の里蔵
36	中形と江戸小紋訪問着 山々に枝垂れ桜	2012年	突き彫り、錐彫り	作家蔵
37	江戸小紋着物 縞づくし左手綱	1997年	引き彫り	群馬県立歴史博物館蔵
38	中形と江戸小紋訪問着 秋草にうろこ	2012年	突き彫り、錐彫り	作家蔵

金澤子脚

No	作品名	制作年	染材料、その他	所蔵先
39	欧陽脩「醉翁亭記」	2004年	軸装(六幅対)、紙・墨	作家蔵
40	杜甫「曲江」	2012年	軸装、紙・墨	作家蔵
41	張九齡「五言二句」	2012年	軸装(対幅)、紙・墨	作家蔵
42	魏徵「述懐」	2012年	パネル、紙・墨	作家蔵
43	白楽天「長恨歌」	2004年	卷子、紙・墨	作家蔵
44	良寛詩	2012年	卷子、紙・墨	作家蔵
45	老鐵漢	2004年	額装、紙・墨	
46	放下着	2012年	額装、紙・墨	作家蔵
47	自詠 東日本大震災	2011年	パネル、紙・墨	作家蔵
48	子脚文房四宝			作家蔵

山本聿水

No	作品名	制作年	染材料、その他	所蔵先
49	創作 寒山詩	1951年	パネル、紙・墨、第4回書道芸術院展「推薦・文部大臣奨励賞」	当館蔵
50	一念一ひとすじ一	1976年	額装、紙・墨	当館蔵
51	敬	1985年頃	額装、紙・墨	当館蔵
52	玄耳	1987年頃	額装、紙・墨	当館蔵
53	益	1982年頃	額装、紺紙・金泥	当館蔵
54	長	1982年頃	額装、紺紙・金泥	当館蔵
55	以和為貴	1987年頃	四曲一隻、紙・墨	当館蔵
56	比翼一地に生きるもの一	1962年	額装、紙・墨	当館蔵
57	ぐんまのK	1978年	額装、紙・墨	当館蔵

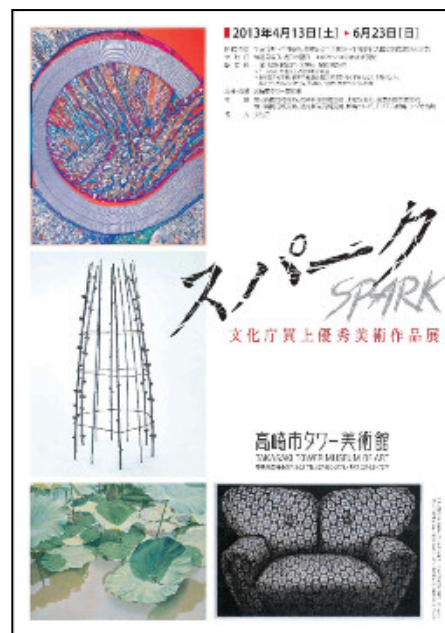
## 吉村晴子

No	作品名	制作年	染材料、その他	所蔵先
58	吉村染工場資料			吉村家伝来
59	紅板締め間着	明治～昭和初期		作家蔵
60	復元締め粋	2006年	大型、小型、ボルト型	作家蔵
61	吉村染工場の紅板締め型板 飛び鶴文様 竹垣に菊文様 菖蒲に縦筋文様 牡丹に蝶文様 麻の葉文様 菊枝散らし文様	明治時代		吉村家伝来
62	紅郷愁	2003年	第35回日展入選	作家蔵
63	復元間着 竹垣に菊紋様	2007年		作家蔵
64	復元間着表着物 黄無地	2007年		作家蔵
65	復元間着 飛び鶴紋様	2007年		作家蔵
66	復元間着 表着物紫無地	2007年		作家蔵
67	復元間着 麻の葉に撫子の丸紋様	2007年		作家蔵
68	復元紅板締め型板	2006年		作家蔵
69	未完紅板締め型板			作家蔵
70	紅板締め復元試験染			作家蔵
71	楠の大樹	2004年	第36回日展入選	作家蔵
72	草木染板締着尺			作家蔵
73	ろう描き染め帯地			作家蔵
74	海の響き	2001年	第33回日展入選	作家蔵

## 企画展 スパーク—文化庁買上優秀美術作品展

文化庁では、美術界の発展と文化振興を目的として、長期的な視点で活動が期待される若手作家の意欲的な作品を買い上げる「文化庁優秀美術作品買上事業」を昭和 34 年から平成 18 年まで実施してきた。40 年以上にわたって収集された、370 点を超える日本画・洋画・版画・彫刻の作品群は、日本の戦後美術のひとつの系譜を示すとともに、その中から国内外で活躍する有力作家を数多く輩出している。

この買上事業は平成 18 年に終了したが、本展覧会では文化庁で管理をおこなっている平成 10 年以降の収集作品を展覧し、現代日本美術の瑞々しい息吹きを感じてもらうとともに、今後の美術界の方向性を探った。



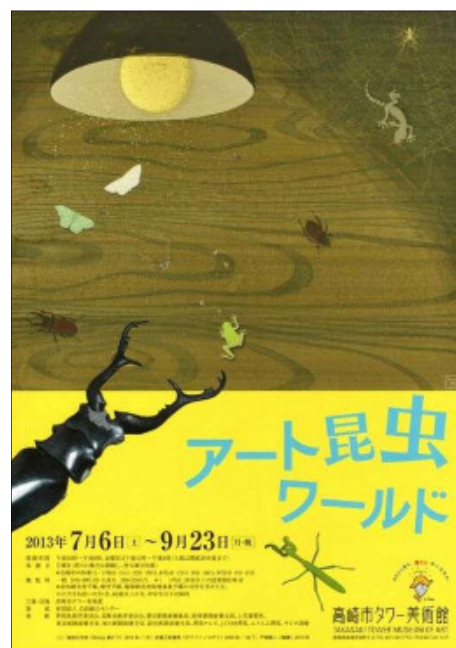
会 期	2013 年 4 月 13 日（土）～6 月 23 日（日） 63 日間
主 催	高崎市タワー美術館
協 力	文化庁
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
関連事業	① 作品解説会 4/13、4/27、5/12、5/25、6/9、6/22 午後 2 時～（参加者 合計 73 名）
出品点数	日本画・彫刻・版画・洋画 37 点
紹介記事	時代と向き合う 現代アート 37 点（上毛新聞 4 月 14 日） 企画展スパーク 文化庁買上優秀美術作品展（両毛新聞 5 月 13 日）ほか
入 館 者	3,259 名
刊 行 物	パンフレット（作品図版 26 点、本文 32 頁） ごあいさつ／図版〔日本画・洋画・版画・彫刻〕／作家略歴／作品リスト

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ
日本画					
1.	加藤 良造	山水行	2006年	墨・彩色、紙本	162.0×130.3
2.	猪熊 佳子	木霊一森へー	1998年	彩色、綿布	182.0×240.0
3.	川崎 麻児	旅の途中	1999年	彩色、紙本	170.0×210.0
4.	清水 由朗	炎源	2000年	彩色、紙本	173.0×218.0
5.	加來 万周	光路	2001年	彩色、紙本	170.0×214.0
6.	浅見 貴子	樹木図 I	2005年	墨・胡粉、紙本	200.0×160.0
7.	牧野 一泉	影のために	2001年	彩色・金箔・麻布・綿布・墨・松板、寒冷紗・紙本	182.0×227.0
8.	間島 秀徳	Water Works(Kinesis) No.140	2002年	墨・彩色・アクリル、紙本	220.0×80.0
9.	宮 いつき	双子座	1999年	彩色、紙本	162.0×130.0
10.	倉橋 利明	Wibble Wobble Occur FR-1	2003年	アクリル・彩色、紙本	178.5×1,038.0
11.	山本 俊夫	おばけちゃん	2004年	彩色・チョーク・墨・セメント他、紙本	184.4×183.0
12.	山本 俊夫	対話	2004年	彩色・チョーク・墨・セメント他、紙本	184.3×182.7
13.	長沢 明	トラとワナⅢ	2003年	彩色、寒冷紗・パネル	201.0×150.0
14.	武田 州左	GLOBE 光・307	1998年	彩色・銀泥、パネル	227.3×181.8
15.	三瀬 夏之介	日本の絵	2003年	金箔・墨・胡粉・アクリル絵具・金属粉、紙本	200.0×200.0
彫刻					
16.	黒川 弘毅	Eros No.30	2002年	ブロンズ	89.0×50.0×30.0
17.	井上 雅之	H-055	2005年	陶	60.0×123.0×114.5
18.	笠原 鉄明	記憶のはざまで	1999年	木(樟)、鉄、ステンレス線、真鍮線、アクリル絵具	179.0×75.0×92.0
19.	青木 野枝	晴玉-V	2004年	鉄	199.0×91.0×87.0
20.	牛脇 達夫	二酸化炭素	2001年	合板、塩化ビニール、樹脂	40.0×170.0×40.0
21.	岡崎 乾二郎	キカムとあにあへて クキシヤウと そこなひ、やぶらんや	2000年	セラミック	25.5×63.0×40.0
版画					
22.	古谷 博子	朝の記憶	2005年	木版	69.0×70.0
23.	岡本 裕子	CHAIR No.112	1999年	銅版、紙	45.0×70.0
24.	園山 晴巳	Signe-G	2004年	リトグラフ	66.0×80.0
25.	武田 史子	月の舟	2000年	エッチング・アクアチント	45.0×23.0
26.	鈴木 康弘	Covered volcano II	2001年	リトグラフ	103.0×146.0
27.	秋岡 美帆	光の間'98-7	1998年	NECO プリント、麻紙	170.0×230.0
28.	佐竹 邦子	WINDS WORK-30	2004年	ベニヤによるリトグラフ、紙	155.0×99.8
29.	遠藤 竜太	Physica/sensus II	2006年	リトグラフ・デジタルプリント、版画紙(BFK)	101.0×74.5
洋画					
30.	川村 悦子	蓮と陽光	1999年	油彩、キャンバス	90.0×116.0
31.	吉岡 正人	満ち足りた夜	1996年	テンペラ・油彩、石膏地キャンバス	130.3×162.0
32.	野田 裕示	WORK 1492	2003年	アクリル、キャンバス	80.3×116.7
33.	小山 利枝子	種子の秘密	2003年	アクリル、キャンバス	162.1×227.3
34.	本田 健	山あるき一一月	1999年	チャコールペンシル、木製パネル・紙	200.0×200.0
35.	金田 実生	湿り気に濡れる	2005年	油彩、紙	154.0×228.0
36.	根岸 芳郎	99-9-2	1999年	アクリル、綿キャンバス	162.0×130.0
37.	本間 洋	オグレット	2005年	テンペラ、キャンバス	116.7×90.9

## 企画展 アート昆虫ワールド

昆虫はユニークな姿と生態を持った魅力的な生きものである。立派なツノのカブトムシ、大アゴのクワガタは、その格好よさから今も昔も変らぬ子どもたちの人気者である。なかには人を危険にさらす昆虫もいるが、菜の花に舞う蝶に春を感じ、夏の夜の蛍が放つ光に儚さを想い、虫の音に秋を知るように、人間は昆虫たちと隣あって暮らしている。

本展覧会では、夏を迎える時季にあたり、野や山を歩く前に、美術作品による昆虫の造形を楽しんでもらおうという趣向で、自然や季節、生命の素晴らしさ、生きものの多様性を教えてくれる昆虫をモチーフとした作品を展示し、その表現世界を紹介した。



会 期	2013年7月6日(土)～9月23日(月・祝) 69日間
主 催	高崎市タワー美術館
後 援	群馬県教育委員会、高崎市教育委員会、朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、J:COM 群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎
助 成	財団法人 自治総合センター
関連事業	① ワークショップ 佐藤正和重孝「ねん土で昆虫レリーフをつくろう」 9/1 午前10時～ (参加者 20名) ② 昆虫探索撮影会 8/25 午前9時～ (参加者 18名) ③ 作品解説会 7/6、7/21、8/3、8/18、9/8、9/21 午後2時～ (参加者 合計37名) ④ 連携小展示「虫・むし・色・いろ」 高崎市染料植物園 6/13～10/6
出品点数	日本画・立体作品 60点
紹介記事	アート昆虫ワールド (両毛新聞 7月5日) 昆虫の世界 ようこそ (上毛新聞 7月7日) 迫力満点 アート昆虫 (読売新聞 7月19日) 夏アートに親しもう 松園 チョウで季節感 (JOMO TAKATAI 8月9日) クワガタできた 高崎でワークショップ (上毛新聞 9月2日) ほか
入 館 者	8,086名
刊 行 物	リーフレット (作品図版 24点)

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	所蔵先、備考
1	福田平八郎	春	0	紙本彩色／軸	26.8×24.0	
2	山本丘人	梔子	0	絹本彩色／軸	43.2×51.0	
3	小茂田青樹	薔薇	1927	絹本彩色／額	123.0×40.2	青梅市立美術館蔵
4	上村松園	春の野図	1910年頃	絹本彩色／額	122.5×49.2	
5	野口満一月	オオルリの鳴く頃	2005	紙本彩色／パネル	173.0×211.0	
6	岡崎忠雄	風韻	1981	紙本彩色／額	160.4×128.5	
7	小茂田青樹	秋草に少女	1926	紙本彩色／軸	179.9×95.2	
8	磯部光太郎	ため池 Biotop	2010	紙本彩色／額	194.0×130.0	
9	野口満一月	羽化	2012	紙本彩色／額	173.0×211.0	
10	神戸智行	白く染める	2008	紙本彩色／パネル4枚	140.0×320.0	
11	磯部光太郎	トンボ池	2010	紙本彩色／パネル	200.0×80.0	
12	牧 進	書・月	1986	紙本墨書淡彩／軸	49.0×36.0	
13	牧 進	月	1986	紙本彩色／額(扇面)	42.5×66.0	
14	満田晴穂	自在藪蝨斯 雄	2013	銅・ブロンズ・真鍮	7.0×4.0×5.0	
15	満田晴穂	自在源五郎 雄	2010	銅・ブロンズ・真鍮	4.0×6.0×2.0	
16	満田晴穂	自在水蠅螂	2010	真鍮	13.0×7.0×6.0	
17	満田晴穂	自在木廻	2012	銅・ブロンズ・真鍮	2.0×2.0×1.3	
18	満田晴穂	自在黒金蚊	2012	銅・ブロンズ・真鍮	4.0×3.0×1.5	
19	満田晴穂	自在鋸髪切	2012	真鍮	5.0×5.0×1.8	
20	満田晴穂	自在黄脚長蜂	2013	銅・ブロンズ・真鍮		
21	小茂田青樹	蟲禽写生画卷	1930年頃	紙本彩色／卷子	36.1×756.8	川越市立美術館蔵 展示期間 ～8/18
22	上野瑞香	庭	2006	紙本彩色／パネル	91.0×350.0	
23	上野瑞香	芍薬にテントウムシ	2010	紙本彩色／額	24.3×33.4	
24	野口満一月	水遊び	2013	紙本彩色／額	60.6×72.7	
25	野口満一月	雨上がる	2013	紙本彩色／額	60.6×72.7	
26	磯部光太郎	Biotop 夏の夜	2010	紙本彩色／パネル	90.9×72.7	
27	鈴木清方	夏の武家屋敷		紙本彩色／軸	56.8×55.3	
28	広島晃甫	菊花	昭和初期	絹本彩色／軸	53.0×57.0	青梅市立美術館蔵
29	野口満一月	螢	2012	紙本彩色／パネル	162.0×162.0	
30	野口満一月	月光一蟬蛻	2012	絹本彩色／二曲一隻	150.0×156.0	
31	加藤登美子	縹紅新草一赤蜻蛉	1983	紙本彩色／額	128.7×161.4	
32	荒井 経	甲虫譚	2000	紙本彩色／四曲一隻	250.0×400.0	
33	佐藤正和重孝	メンガタクワガタのヘルメット	2005	御影石	37.0×63.0×33.0	
34	佐藤正和重孝	デューラーミヤマクワガタ	2010	ブロンズ	14.6×7.0×3.8	
35	佐藤正和重孝	フォルスターフタマクワガタ	2009	本小松石	52.5×22.0×12.0	
36	佐藤正和重孝	ナナホシテントウ	2012	赤御影石、黒大理石、白大理石	15.5×17.5×12.0	
37	佐藤正和重孝	ゴライアス・カシクス	2005	黒御影石、大理石モザイク、ブロンズ、枕木	59.0×32.0×79.0	
38	佐藤正和重孝	ギラファノコギリ	2009	御影石、ブロンズ	68.0×144.0×64.0	
39	佐藤正和重孝	シロスジカミキリ	2011	黒御影石、白い石、木	95.0×51.0×70.5	
40	佐藤正和重孝	オウゴンオニクワガタ	2011	黒御影石、洋箔、木	82.0×28.5×23.0	
41	神戸智行	僕がいる場所	2011	紙本彩色／パネル		
42	佐藤正和重孝	ヘラクレスオオカブト	2011	黒御影石、イエロートラバーチン大理石	20.0×48.0×39.0	
43	磯部光太郎	Biotop 初夏	2011	紙本彩色／額	45.5×60.6	
44	磯部光太郎	Biotop 夏灯り	2010	紙本彩色／額	45.5×53.0	
45	磯部光太郎	アーティスト	2011	紙本彩色／額	60.6×72.7	
46	那波多目功一	朝霧	2002	紙本彩色／額	172.3×217.0	当館蔵
47	工藤甲人	ほたる野	1975	紙本彩色／額	64.5×90.5	

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	所蔵先、備考
48	佐藤正和重孝	オオクワガタのトロフィー	2012	ブロンズ	11.0×24.0×16.0	
49	磯部光太郎	夏の終わり	2012	紙本彩色／額	60.6×72.7	
50	戸塚鑑二	オニヤンマ	2013	楠、樺、顔料	37.0×25.0×6.0	
51	戸塚鑑二	蓮花に黄揚羽	2011	桂、楠、杉、アクリル	23.0×23.0×40.0	
52	戸塚鑑二	Rest	2011	桂、杉、アクリル	23.0×23.0×40.0	
53	戸塚鑑二	芙蓉に烏揚羽	2011	桂、楠、杉、アクリル	20.0×20.0×24.0	
54	戸塚鑑二	月下に蚊取蜻蛉	2011	桂、樺、杉、アクリル	23.0×23.0×60.0	
55	戸塚鑑二	天牛「瑠璃星」	2011	楠、杉、鉄、アクリル	35.0×43.5×82.0	
56	戸塚鑑二	Meditation	2011	楠、樺、杉、アクリル	23.0×23.0×40.0	
57	戸塚鑑二	螻蛄	2010	桂、顔料	20.0×17.0×10.0	
58	瀧田吉一	観音山の生きものたち オオハサミムシ	2004	紙・鉛筆／額	29.5×21.0	高崎市染料植物園蔵
59	瀧田吉一	観音山の生きものたち オオムラサキ		紙・鉛筆／額		高崎市染料植物園蔵
60	佐藤正和重孝	坂を上るスカラベ	2012	黒御影石	70.0×24.0×16.0	
	磯部光太郎	スケッチ	2005-06	紙・鉛筆・墨・水彩		
	野口満一月	スケッチ	2010	紙・鉛筆		



## 企画展 黄金期の浮世絵 歌麿とその時代展—美人画と役者絵

喜多川歌麿（1753?—1806）は、浮世絵における「美人画」を代表する絵師である。錦絵がもっとも華やかに展開した天明・寛政期（1781—1801）に活躍し、顔をクローズアップした「美人大首絵」では女性のこまやかな仕草や表情に迫り、その性格や気質といった内面までも表現した。同時期に美人画と並んで人気を博したのが役者絵である。役者の一瞬の表情を捉え、大胆に表現した東洲斎写楽（生没年不詳）や舞台上の華やかな姿を魅力的に描いて歌舞伎ファンの理想をかなえた歌川豊国（1769—1825）らが活躍した。

本展覧会では、歌麿をはじめ浮世絵黄金期を彩った絵師達による「美人画」「役者絵」を、肉筆画を含めた136点で紹介した。



**会 期** 2013年10月5日（土）～11月24日（日） 44日間

**主 催** 高崎市タワー美術館

**監 修** 中右 瑛（国際浮世絵学会常任理事）

**後 援** 国際浮世絵学会、高崎市教育委員会、朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎

**企画協力** E.M.I.ネットワーク

**関連事業** ① 講演会 中右 瑛「歌麿とその時代 浮世絵は謎がいっぱい」

11/9 午後2時～（参加者 72名）

② 作品解説会 10/5、10/20、11/2、11/17 午後2時～（参加者 合計161名）

③ 群馬県民の日 無料開放 10/28（778名）

**出品点数** 版画115点・肉筆画21点

**紹介記事** 浮世絵で江戸風俗 歌麿、栄之、写楽の美人画、役者絵（上毛新聞 9月30日）

歌麿とその時代展（両毛新聞 10月4日）

浮かぶ女性の内面（JOMO TAKATAI 10月25日）ほか

**入館者** 7,298名

No	絵師	作品名	判型・形状	制作年
歌麿とその弟子たち				
1	喜多川 歌麿	青楼三美人	錦絵大判	寛政 4-5 年頃(1792-1793 頃)
2	喜多川 歌麿	青楼十二時 亥ノ刻	錦絵大判	寛政 5-7 年頃(1793-1795 頃)
3	喜多川 歌麿	青楼十二時 寅ノ刻	錦絵大判	寛政 5-7 年頃(1793-1795 頃)
4	喜多川 歌麿	雪中劉備、孔明を訪れる関羽と張飛	錦絵間判二枚続	天明後期-寛政前期(1789 頃)
5	喜多川 歌麿	高名美人見立忠臣蔵 十二枚つづき初段	錦絵大判	寛政 6 年(1794)
6	喜多川 歌麿	高名美人見立忠臣蔵 十二枚つづき十一段	錦絵大判	寛政 6 年(1794)
7	喜多川 歌麿	娘日時計 巳ノ刻	錦絵大判	寛政 6-8 年頃(1794-1796 頃)
8	喜多川 歌麿	両国橋 橋上の女たち	錦絵大判三枚続	寛政 7-8 年頃(1795-1796 頃)
9	喜多川 歌麿	両国橋 船あそびの女たち	錦絵大判三枚続	寛政 7-8 年頃(1795-1796 頃)
10	喜多川 歌麿	名所腰掛八景 ギヤマン	錦絵大判	寛政中期(1795 頃)
11	喜多川 歌麿	婦人手業拾二工 手毬つくり	錦絵大判	寛政 9 年頃(1797 頃)
12	喜多川 歌麿	風流愛興競 お千代 半兵衛	錦絵大判	
13	喜多川 歌麿	松葉楼粧ひ 実を通す風情	錦絵大判・雲母摺	寛政 11 年頃(1799 頃)
14	喜多川 歌麿	山姥と金太郎	錦絵大判	寛政後期-享和期(1800-1804)
15	喜多川 歌麿	栗を持つ山姥	長絵	寛政後期-享和期(1800-1804)
16	喜多川 歌麿	雪の橋場	長絵	
17	喜多川 歌麿	当世好物八景 さわき好	錦絵大判	享和 2-3 年頃(1802-1803 頃)
18	喜多川 歌麿	教訓親の目鑑 ぐうたら兵衛	錦絵大判	享和 2 年(1802)
19	喜多川 歌麿	美人五面相 実があり相	錦絵大判	享和期(1801-1804)
20	喜多川 歌麿	太閤五妻洛東遊観之図	錦絵大判三枚続	文化元年(1804)
21	喜多川 歌麿	御所車美人行列の図	錦絵大判三枚続	文化元一2 年頃(1804-1805 頃)
22	二代喜多川 歌麿	其姿同じ舞風流 助六伊久の図	錦絵大判	文化 3-4 年頃(1806-1807 頃)
23	二代喜多川 歌麿	玉屋内花紫	錦絵間判	文化期(1804-1818)
24	二代喜多川 歌麿	福遊小宝合	錦絵大判	文化期(1804-1818)
25	喜多川 秀麿	高名金花池	錦絵大判	享和-文化期(1801-1818)
26	喜多川 秀麿	風俗十二時 巳ノ刻	錦絵大判	享和-文化期(1801-1818)
27	喜多川 菊麿	三味線芸者	団扇絵	文化期頃(1804-1818 頃)
28	喜多川 月麿	芸尽し見立宝船	錦絵大判	文化元-文政13 年頃(1804-1830 頃)
29	二代喜多川歌麿 喜多川月麿 歌川国貞	三美人の図	摺物横長判	
30	喜多川 式麿	今容女歌仙 扇屋内花扇	錦絵大判	文化 10 年頃(1813 頃)
31	晩器	五郎時宗とけはい坂少将	柱絵	享和-文化期(1801-1818)
32	石上	金糸縫当世鹿子 おなつ 清十郎	錦絵間判	
33	文浪	若衆虚無僧と娘	錦絵間判	享和期(1801-1804)
34	白蛾	青楼美人花合 丁子屋内唐琴	錦絵間判	
35	百斎 久信	七福対春の寿 よみぞめ	錦絵大判	
36	千万	吉原俄	錦絵大判	文化前期(1804 頃)
鳥文斎栄之とその門人				
37	鳥文斎 栄之	まつもと楼料亭内	錦絵大判三枚続	寛政 3-4 年頃(1791-1792 頃)
38	鳥文斎 栄之	青楼美撰合 初買座敷之図 扇屋内龍川	錦絵大判・雲母摺	寛政 8-9 年頃(1796-1797 頃)
39	鳥高斎 栄昌	吉原俄	錦絵大判	寛政 6-9 年頃(1794-1797 頃)
40	一楽亭 栄水	松葉屋内 瀬川	錦絵大判	寛政後期(1800 頃)
41	栄烏	青楼美人合 五明楼文越	錦絵大判・雲母摺	寛政期(1789-1801)
42	礫川亭 永理	権八 小紫	錦絵大判・雲母摺	寛政後期(1800 頃)
43	五郷	あふき屋内美人	錦絵大判・紅嫌い	天明 7-寛政 2 年(1787-1790)
44	鳥囃斎 栄寿	大黒天打出の小槌とおいらん	錦絵大判	寛政後期(1800 頃)
45	鳥園斎 栄深	鷹匠	錦絵大判	寛政-文化期(1789-1818)

No	絵師	作品名	判型／形状	制作年
黄金期の浮世絵 天明・寛政期を中心として				
46	鳥居 清長	四季八景 長夏夕照	錦絵中判	安永 8 年頃(1779 頃)
47	鳥居 清長	当世遊里美人合 辰巳艶	錦絵大判	天明 2-4 年(1782-1784)
48	鳥居 清長	隅田川船遊び	錦絵大判三枚続	天明期(1781-1789)
49	窪 俊満	料亭夜の景 堀の内外	錦絵大判三枚続・紅嫌い	天明後期(1788 頃)
50	闇牛齋 円志	隅田川料亭図	錦絵大判三枚続	安永-寛政期(1772-1801)
51	栄松齋 長喜	座敷の大童山文五郎	錦絵大判二枚続	寛政 3-7 年頃(1791-1795 頃)
52	吐雲	四季之句合	錦絵中判	
53	北尾 政演	金澤八景 州崎の晴嵐	錦絵中判	安永 9 年頃(1780 頃)
54	北尾 政演	当世艶風拾形図	錦絵中判	天明 2 年頃(1782 頃)
参考出品	北尾 政演	表紙「吉原傾城新美人合自筆鏡」		天明 4 年刊行(1784)
55	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	摺絵本	天明 4 年(1784)
56	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	摺絵本	天明 4 年(1784)
57	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	摺絵本	天明 4 年(1784)
58	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	摺絵本	天明 4 年(1784)
59	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	摺絵本	天明 4 年(1784)
60	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	摺絵本	天明 4 年(1784)
61	北尾 政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	摺絵本	天明 4 年(1784)
62	勝川 春潮	七小町草紙洗小町見立	錦絵中判	
63	勝川 春潮	見立妹背山 桜満開二階座敷ノ図	錦絵大判三枚続	天明後期-寛政前期(1788-1790 頃)
64	勝川 春洞	千話鏡月の村雲 糸屋妹小いと佐七 姉おふさ	錦絵大判	寛政-文化期(1789-1818)
65	歌川 豊広	雪の手水鉢	錦絵間判	寛政-享和期頃(1789-1804 頃)
66	歌川 豊広	拳遊びの二美人	錦絵大判二枚続	
67	歌川 豊国	御高祖頭巾の女	掛物絵	
68	歌川 豊国	初花月若葉摘の図	錦絵間判	
69	歌川 豊国	歌川十二景 三月	錦絵間判	寛政 11-12 年頃(1799-1800 頃)
70	歌川 豊国	品川料亭の図	錦絵大判三枚続	
71	歌川 豊国	鞍馬山見立花合戦 牛若丸	錦絵大判三枚続	享和期(1801-1804)
	歌川 国満			
72	彫工亭 俊正	風俗図	摺物横長判	
73	勝川 春英	風俗図	摺物横長判	
	歌川 豊国 他			
爛熟期の化政文化 文化・文政期を中心として				
74	菱川 柳谷	風流和歌三夕	錦絵大判	文化 5 年頃(1808 頃)
75	勝川 春暁	若松屋内 緑木	錦絵大判	文化 9 年頃(1812 頃)
76	勝川 春扇	雪中内儀	掛物絵	
77	歌川 豊清	今やう美人娘あわせ	錦絵大判	文化後期(1818 頃)
78	菊川 英山	手水鉢の母子	掛物絵	文化中期(1810 頃)
79	菊川 英山	風流女六歌仙 小野小町	錦絵大判	
80	菊川 英山	風流南驛汐一丁 品川料亭の図	錦絵大判三枚続	
81	葛飾 北斎	春の行楽	摺物横長判	
82	溪斎 英泉	美艶仙女香 潮くさき美人やふねの朝霞	錦絵大判	文政 6 年頃(1823 頃)
83	溪斎 英泉	浮世風俗美女競	錦絵大判	文政 7 年頃(1824 頃)
84	歌川 国貞	ほたる狩り	錦絵大判三枚続	文化後期-文政前期(1818 頃)
85	歌川 国芳	梅の魁	錦絵大判三枚続	文政期以降(1818 以降)
86	歌川 広重	東都名所 両国タすずみ	錦絵大判三枚続	天保 2 年-安政 5 年(1831-1858)
87	歌川 広重	雪月花夜の眺 隅田堤間の桜	団扇絵	天保 2 年-安政 5 年(1831-1858)

No	絵師	作品名	判型・形状	制作年
役者絵				
88	勝川 春章	四世岩井半四郎の揚巻と二世市川八百蔵の助六	錦絵大判	安永 5 年頃(1776 頃)
89	勝川 春章	初世中村仲蔵の清玄	錦絵細判	安永 6 年(1777)
90	勝川 春章	初世中村仲蔵の鎮西八郎為朝と五世市川団十郎の弥平兵衛宗清	錦絵間判	安永 9 年(1780)
91	勝川 春章	尾上小三郎 坂東三津五郎	錦絵中判	明和 7-天明期(1770-1789)
92	勝川 春章	役者絵	錦絵細判	明和 7-天明期(1770-1789)
93	一筆斎 文調	二世市川高麗蔵	錦絵細判	明和後期-安永前期(1772 頃)
94	春水	役者絵	錦絵細判	天明期頃(1781-1789 頃)
95	東花堂 線橋	坂東三津五郎	錦絵細判	
96	鳥居 清長	出語り図 四世松本幸四郎の浮田左金吾と三世沢村宗十郎の高尾の幽鬼	錦絵大判	天明 8 年(1788)
97	勝川 春好	四世岩井半四郎	錦絵間判	安永 9 年頃(1780 頃)
98	勝川 春好	初世尾上松助 三世市川八百蔵 五世市川団十郎	錦絵細判三枚続	天明前期(1781 頃)
99	勝川 春好	市江 四世市川団蔵の暫	錦絵細判	明和後期-天明期(1771-1789)
100	勝川 春英	四世岩井半四郎 大和屋杜若	錦絵細判	
101	勝川 春山	三世市川八百蔵の道成寺	錦絵細判	天明後期(1788 頃)
102	勝川 春泉	四世松本幸四郎	錦絵細判	天明後期-寛政前期(1789 頃)
103	勝川 春艶	三世市川高麗蔵 初世中山富三郎 八世森田勘弥	団扇絵	寛政 6 年頃(1794 頃)
104	無款	役者絵	団扇絵	
105	喜多川 歌麿	役者絵	錦絵細判	
106	東洲斎 写楽	中島和田右衛門のぼうだら長左衛門と中村此蔵の船宿かな川やの権	錦絵大判	寛政 6 年(1794)
107	東洲斎 写楽	二世市川門之助 伊達の与作	錦絵大判	寛政 6 年(1794)
108	叢 豊丸	市川白猿 大友の黒主	錦絵細判	寛政 12 年(1800)
109	歌川 豊国	役者舞台之姿絵 はま村や	錦絵大判	寛政 6 年(1794)
110	歌川 豊国	三世坂東彦三郎の菅丞相と七世片岡仁左衛門の白太夫	錦絵大判	寛政 8 年(1796)
111	歌川 国政	見立役者浄瑠璃狂言 おさん 長右衛門	錦絵間判	
112	歌川 豊国	市川団十郎の助六	団扇絵	
113	歌川 豊国	岩井半四郎の揚巻	団扇絵	
114	歌川 豊国	松本幸四郎の伊久	団扇絵	
115	歌川 国貞	岩井半四郎の白井権八	団扇絵	文化期以降(1804 以降)
肉筆画				
116	鳥文斎 栄之	小野小町雨乞	絹本	寛政後期以降(1801 頃以降)
117	鳥玉斎 栄京	朝妻船	絹本	
118	喜多川 藤麿	見立六歌仙	絹本	亨和-文化期頃(1801-1818 頃)
119	二代喜多川 歌麿	花魁	絹本	文化 3-文政期頃(1806-1830 頃)
120	喜多川 月麿	三味線芸者	絹本	文化元-文政 13 年(1804-1830)
121	喜多川 雪麿	恵比寿見立	絹本	
122	喜多川 雪麿	大黒見立	絹本	
123	喜多川 式麿	福祿寿と遊女	絹本	
124	千嶺	蚊帳美人	絹本	文化 9 年(1812)
125	窪 俊満	螢を追う二美人	絹本	
126	宮川 春水	花魁	紙本	
127	無款	花魁道中	紙本	
128	酔夢亭 蕉鹿	桜下太夫道行	絹本	

No	絵師	作品名	判型・形状	制作年
129	歌川 豊国	桜下上臈詠歌の図	絹本	
130	菊川 英山	立美人	紙本	
131	歌川 国久	雪の中の芸者	絹本	享和-文化期頃(1801-1818 頃)
132	勝川 春暁	岡場所の女	絹本	
133	春川 五七	立美人	紙本	文化-天保2年(1804-1831)
134	歌川 国直	亀井戸天神太鼓橋	絹本	文化-天保期頃(1804-1844頃)
135	月斎 歌政	雪の橋上美人	絹本	文政期頃(1818-1830 頃)
136	喜多川 歌麿(無款)	手紙を読む花魁	紙本	

\*作品はすべて個人蔵です。

## 企画展 文化勲章—最高峰の日本画家たち

「文化勲章」は、学術・芸術分野において日本の文化の発達に関して顕著な功績のあった者に授与される勲章として、1937（昭和12）年に制定された。日本画家では第1回の竹内栖鳳、横山大観を筆頭に2012年の松尾敏男まで、76年間で39名の作家が受章しているが、いずれも日本を代表する画家として長く活躍し、日本画界に輝かしい足跡を遺した作家である。現在、勲章は11月3日の文化の日に、皇居宮殿において天皇陛下から直接手渡される親授式で授与される。

本展覧会では、最高の栄誉を受けた日本画家が生み出した珠玉の名品を展覧し、世界に誇る日本画の魅力を紹介した。



- 会 期** 2013年12月7日（土）～2014年1月26日（日） 37日間
- 主 催** 高崎市タワー美術館
- 後 援** 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎
- 関連事業** ① 講演会 松尾敏男「私の歩んだ道—文化勲章を受章して」  
1/18 午後2時～（参加者 93名）  
② 作品解説会 12/7、12/22、1/13、1/25 午後2時～（参加者 合計 170名）
- 出品点数** 日本画 61点
- 紹介記事** 文化勲章 最高峰の日本画家たち（新美術新聞 12月1日）  
文化勲章受章者の企画展 時代映す日本画 61点（上毛新聞 12月14日）  
美博ピックアップ 文化勲章 最高峰の日本画家たち（朝日新聞夕刊 12月25日）ほか
- 入館者** 7,329名
- 刊行物** 図録（作品図版62点、本文94頁）  
ごあいさつ／文化勲章の誕生とその歴史（青木 忍）／図版／作家略歴・作品解説／出品目録

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	所蔵者
1.	竹内栖鳳	海幸	昭和 14 年	絹本彩色／額	67.7×87.0	京都国立近代美術館
2.	竹内栖鳳	老松朝陽	昭和 15 年頃	絹本彩色／軸	61.2×72.2	(株)ヤマタネ
3.	横山大観	双龍争珠	昭和 4 年	絹本墨画／軸	61.0×92.0	水野美術館
4.	横山大観	海辺の富士	昭和 27 年頃	絹本彩色／額	46.4×57.5	個人
5.	川合玉堂	松渚双鶴	昭和 6 年	紙本金地彩色／六曲一双	各 172.0×372.0	岐阜県美術館
6.	安田靫彦	鴻門会	昭和 30 年	紙本彩色／額	78.0×132.5	東京国立近代美術館 ◆
7.	安田靫彦	栗	昭和 30 年頃	絹本彩色／額	45.0×57.0	個人 ◇
8.	安田靫彦	鞍馬寺参籠の牛若	昭和 49 年	紙本彩色／額	127.8×59.8	滋賀県立近代美術館 ◇
9.	上村松園	櫻がり図	昭和 10 年代後半頃	絹本彩色／額	41.0×50.7	(株)ヤマタネ
10.	上村松園	志ぐれ	昭和 11 年	絹本彩色／軸	159.0×55.8	水野美術館
11.	小林古径	茄子	昭和 5 年	絹本彩色／軸	140.3×57.0	(株)ヤマタネ
12.	小林古径	西行	昭和 14 年頃	絹本彩色／軸	43.5×51.0	山種不動産(株)
13.	鎗木清方	紫暎	昭和 20 年	絹本彩色／額	57.5×71.6	(株)ヤマタネ
14.	鎗木清方	夏ざしき	昭和 27 年	絹本彩色／額	96.5×57.5	(株)ヤマタネ
15.	前田青邨	応永の武者	昭和 22 年	絹本彩色／額	80.0×88.0	岐阜県美術館 ◇
16.	前田青邨	浴女群像	昭和 31 年	紙本彩色／額	211.0×157.0	滋賀県立近代美術館 ◆
17.	前田青邨	牡丹	昭和 36 年	紙本彩色／額	59.0×76.0	個人 ◇
18.	西山翠嶂	槿花	大正 12 年	絹本彩色／軸	129.0×85.0	京都市美術館
19.	西山翠嶂	馬	昭和 14 年	絹本彩色／額	166.0×188.0	京都市美術館
20.	松林桂月	春景	昭和 12 年	絹本彩色／軸	141.5×41.6	(株)ヤマタネ
21.	松林桂月	香橙	昭和 27 年	絹本彩色／軸	49.0×57.0	東京都現代美術館
22.	川端龍子	卵	昭和 23 年	絹本彩色／額	106.3×85.0	(株)ヤマタネ
23.	川端龍子	白薔薇		絹本彩色／額	40.0×50.0	(株)ヤマタネ
24.	堂本印象	ある家族	昭和 24 年	紙本彩色／額	120.0×164.0	京都府立堂本印象美術館
25.	堂本印象	交響	昭和 36 年	紙本彩色／額	160.5×129.0	京都府立堂本印象美術館
26.	福田平八郎	白梅	昭和 9 年	紙本彩色／額	135.0×131.0	京都市美術館
27.	奥村土牛	薄紅梅	昭和 49 年	紙本彩色／額	100.0×82.0	個人
28.	奥村土牛	吉野懐古	昭和 60 年	紙本彩色／額	72.0×101.0	当館寄託
29.	中村岳陵	童謡	大正 14 年	絹本彩色／軸	145.0×102.0	当館寄託
30.	山口蓬春	海辺華	昭和 25 年頃	紙本彩色／額	74.0×74.0	(株)ヤマタネ
31.	山口蓬春	魚藻花洗	昭和 40 年	紙本彩色／額	50.0×72.0	個人
32.	徳岡神泉	薄	昭和 30 年	紙本彩色／額	172.0×129.0	京都国立近代美術館
33.	堅山南風	銷夏帖<朝顔>	昭和 4 年	紙本彩色／額	89.0×119.3	滋賀県立近代美術館
34.	東山魁夷	暁雲	昭和 52 年	紙本彩色／額	65.3×92.3	(株)ヤマタネ
35.	東山魁夷	白い朝	昭和 55 年	紙本彩色／額	147.0×205.0	東京国立近代美術館 ◇
36.	杉山寧	季	昭和 49 年	麻布彩色／額	153.0×219.5	(株)ヤマタネ
37.	橋本明治	実	昭和 45 年頃	紙本彩色／額	73.0×54.1	水野美術館
38.	橋本明治	ある神話	昭和 46 年	紙本彩色／額	187.3×140.5	岐阜県美術館 ◆
39.	小野竹喬	背戸の菊図	大正 4 年	絹本彩色／軸	133.0×50.5	(株)ヤマタネ
40.	小野竹喬	海	昭和 49 年	紙本彩色／額	81.5×120.5	京都市美術館
41.	山本丘人	流水のうた	昭和 48 年	紙本彩色／額	174.2×144.2	東京都現代美術館
42.	小倉遊亀	姉妹	昭和 45 年	紙本彩色／額	139.0×144.0	滋賀県立近代美術館
43.	山口華揚	春雪	昭和 53 年	紙本彩色／額	51.0×74.5	(株)アクティブ
44.	山口華揚	深秋	昭和 56 年	紙本彩色／額	46.5×64.8	(株)ヤマタネ
45.	高山辰雄	白い髪飾り	平成 5 年	絹本彩色／額	115.6×80.6	当館寄託
46.	高山辰雄	みず辺	平成 6 年	絹本彩色／額	115.0×87.5	(株)ヤマタネ
47.	上村松篁	柿紅葉	平成 8 年	紙本彩色／額	92.0×65.0	(株)ヤマタネ
48.	奥田元宗	月山秋耀	平成 8 年	絹本彩色／額	72.7×90.9	当館寄託

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	所蔵者
49.	池田遙邨	寂	昭和 54 年	紙本彩色／額	65.0×89.0	当館寄託
50.	池田遙邨	家を持たない秋が ふかうなった 山頭火	昭和 63 年	紙本彩色／額	80.0×122.0	京都国立近代美術館
51.	片岡球子	初冠雪の富士の山	昭和 50 年	麻布彩色／額	45.2×52.8	(株)ヤマタネ
52.	片岡球子	寒牡丹	昭和 56 年	紙本彩色／額	28.9×118.7	当館寄託
53.	佐藤太清	早春	平成 8 年	紙本彩色／額	65.0×92.0	(株)ヤマタネ
54.	岩橋英遠	春到 I	昭和 49 年	紙本彩色／額	176.5×121.0	東京都現代美術館
55.	平山郁夫	暁流沙らくだ行	平成 8 年	紙本彩色／額	65.2×90.9	当館寄託
56.	秋野不矩	シヴァ寺院	平成 2 年	紙本彩色／額	169.7×122.0	(株)ヤマタネ
57.	守屋多々志	歌人(与謝野晶子)	昭和 63 年	紙本彩色／額	79.5×99.5	(株)ヤマタネ
58.	加山又造	キリン	昭和 35 年	紙本彩色／額	116.7×90.9	東京都現代美術館
59.	福王寺法林	富士		紙本彩色／額	53.0×65.1	東京都現代美術館
60.	大山忠作	游	平成 8 年	紙本彩色／額	65.0×92.0	(株)ヤマタネ
61.	松尾敏男	耀春	昭和 55 年	紙本彩色／額	130.0×162.0	(株)ヤマタネ

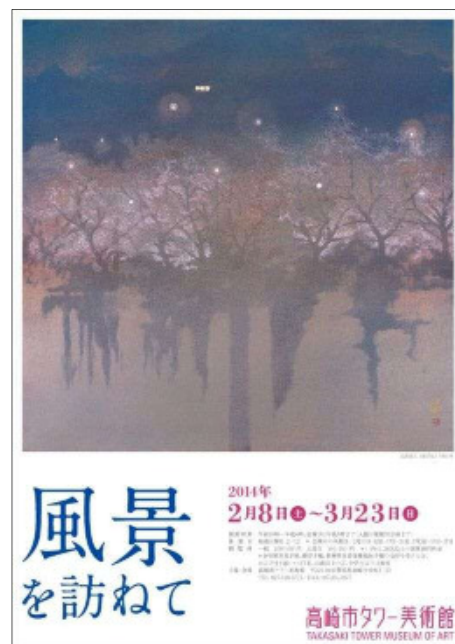
展示期間／◇：12/7～27、◆：1/5～26



## 収蔵展 風景を訪ねて

毎日、通勤や通学で通う道すから見かける景色、あるいは自宅の窓から見える眺望など、誰にでも見慣れた風景というものがある。しかし、常日頃から眺めている山、川、田畑といった同じ地形でさえ、それらを取りまく木々や草花で季節ごとに違った表情を見せ、朝、昼、夕暮れといった時の流れや光の具合、そして晴れ、雨といった気象、さらには眺める場所や高さ、方角によっても変わり、ひとつとして同じ風景をみることはない。そうすると作品に描かれた風景は、現実の風景というよりは、景色の記憶であったり、画家の心の中で再構成された風景といえる。

本展覧会では、日本画の風景を見ながら、時空を超えた一期一会の風景の旅をしてもらおうべく、収蔵作品のなかから風景を描いた日本画作品を展示した。



**会 期** 2014年2月8日(土)～3月23日(日) 35日間

**主 催** 高崎市タワー美術館

**関連事業** ① 作品解説会 2/8、2/23、3/9、3/22 午後2時～ (参加者 合計106名)

**出品点数** 日本画55点

**紹介記事** 時空を超え 楽しむ風景 収蔵作品展「風景を訪ねて」 来月23日まで (JOMO TAKATAI 2月21日)

横山大観、平山郁夫、高橋常雄ら 日本画家が描く風景 (上毛新聞 2月22日)

日本画巨匠の風景画 (上毛新聞 2月23日)

三山春秋 (上毛新聞 2月27日) ほか

**入 館 者** 3,180名

**刊 行 物** リーフレット (出品目録、作品図版12点)

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	出品展
1	金井烏洲	玉柱擣天図	江戸末期	紙本墨画／軸装	95.8×28.5	
2	松本宏洞	秋江閑釣	明治 10 年	紙本墨画／軸装	110.0×47.3	
3	矢島群芳	江山烟雨図	嘉永 2 年	絹本墨画／軸装	111.5×35.0	
4	矢島群芳	夏山雨意	明治元年	絹本墨画／軸装	27.6×61.7	
5	橋本雅邦	山市晴嵐・山邨風雨		紙本墨画／軸(双幅)	43.0×75.5	
6	小室翠雲	虞山溪嵐図・青山白雲図	大正元年	絹本金地墨画／二曲一双	180.0×174.0	
7	下村観山	独釣	大正 13 年頃	絹本墨画／軸	50.8×83.8	
8	小川芋銭	随所桃源	昭和8年	絹本彩色／軸	139.6×42.7	
9	小杉未醒	梅花書屋	大正 11 年頃	絹本墨彩／軸	145.5×50.2	
10	小野竹喬	晚春	大正7年頃	絹本彩色／軸	130.4×27.2	
11	川合玉堂	松間帆影	昭和 30 年頃	紙本墨画淡彩／軸	33.2×44.8	
12	郷倉千韜	村童(竹馬)	大正 11 年	絹本彩色／軸	173.0×71.8	再興第 9 回院展
13	平福百穂	梅溪釣人	明治 43 年	紙本墨画淡彩／軸	148.1×68.0	
14	平松礼二	路「峠の我家」をききながら	昭和 63 年	紙本彩色／四曲一隻	165.0×338.0	個展 一路一
15	山本丘人	白雪の道		絹本金地彩色／額	26.5×23.5	
16	前田青邨	草津(素描)	昭和 27 年頃	紙本墨画淡彩／額	28.3×22.3	
17	横山大観	砂丘に聳ゆ	明治 42 年	絹本彩色／額	117.5×47.0	
18	小杉樸陵	富岳図	大正 14 年	絹本墨画／軸装	122.3×40.3	
19	松本哲男	富嶽	平成4年	紙本金地彩色／六曲一隻	170.0×366.0	小嶋悠司・土屋礼一・松本哲男三人展
20	堂本印象	平原富士晴るる		紙本彩色／軸	40.2×51.2	
21	小川芋銭	水郷		紙本彩色／軸	130.7×31.8	
22	守屋多々志	遊行柳(芭蕉)	平成元年	紙本彩色／四曲一隻	171.0×365.0	再興第 74 回院展
23	土田麦僊	熊野の山	大正7年	絹本彩色／軸	115.5×37.0	
24	富田溪仙	京清路梅林		絹本彩色／軸	129.5×26.7	
25	富田溪仙	洛西花の寺	昭和6年	絹本彩色／軸	131.0×36.0	
26	高橋常雄	懸涼	昭和 61 年	紙本彩色／四曲一隻	170.0×370.0	再興第 71 回院展
27	結城素明	朝霽(朝霽・薄暮のうち)	大正8年	絹本彩色／額	91.3×135.0	第 1 回帝展
28	結城素明	薄暮(朝霽・薄暮のうち)	大正8年	絹本彩色／額	91.2×134.8	第 1 回帝展
29	石原紫雲	煙靄	昭和 5 年	紙本墨画淡彩／額	95.0×117.0	
30	下保 昭	巒山春宵	平成4年	紙本彩色／額	65.0×91.5	雪月花第 1 回展
31	下保 昭	山峡新雪	平成5年	紙本墨画／額	115.6×80.6	雪月花第 2 回展
32	土屋礼一	山の風景	平成4年	紙本彩色／額	96.5×161.5	小嶋悠司・土屋礼一・松本哲男三人展
33	杉松儀一	邃昇彩	平成4年	紙本彩色／額	80.5×64.5	第 1 回さわらび会
34	扇 敏之	野の川		紙本彩色／額	60.0×72.0	
35	横山大観	蓬莱山(2)	昭和 15-23 年頃	絹本彩色／額	44.3×56.5	
36	川合玉堂	湖村秋晴		紙本彩色／額	42.3×57.0	
37	岩澤重夫	雪山朝陽	昭和 63 年	紙本金地彩色／額	59.5×44.5	
38	鈴木竹柏	輝く	平成8年	紙本彩色／額	72.7×90.9	兼素洞 50 周年記念展
39	千住 博	新しい朝		紙本彩色／額	45.5×53.0	
40	角田信四郎	秋映	平成 7 年	紙本金地彩色／額	177.0×222.0	再興第 80 回院展
41	荒井 経	景色 06 Nov.-1	平成 19 年	紙本彩色／六曲一隻	165.0×363.0	個展
42	小川国垂起	乙女滝(猿投山)	平成 4	紙本彩色／額	143.0×94.5	知の会展
43	荘司 福	滝	昭和 60 年	紙本彩色／額	116.5×74.5	第 40 回春の院展
44	高橋常雄	春めく	昭和 61 年	紙本彩色／額	146.3×71.7	第 41 回春の院展
45	小島和夫	春到(新山)	昭和 63 年	紙本彩色／額	91.0×116.7	彩光会第 1 回展
46	小山 硬	五島	昭和 50 年	紙本彩色／額	59.5×90.0	リュミエール展
47	平山郁夫	高崎の春	平成 10 年	紙本彩色／額	58.9×81.9	

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	出品展
48	高橋常雄	春丘(高崎山)	昭和 28 年	紙本彩色／額	73.5×149.0	日本画院展
49	高橋常雄	浅間山	昭和 22 年頃	紙本彩色／額	59.0×71.5	
50	松尾敏男	雨霽れ	平成2年	紙本彩色／額	65.0×90.5	三人展松竹梅
51	今野忠一	富士	昭和 62 年	紙本彩色／額	64.0×89.5	個展
52	小泉淳作	早春の劔岳	平成元年	紙本墨画／額	113.7×206.3	個展
53	田淵俊夫	春ざれ	平成5年	紙本彩色／額	103.0×103.0	両洋の眼展
54	河合重政	平等院阿弥陀堂		紙本彩色／額	79.4×116.0	
55	山岸 純	洛北	昭和 60 年	紙本彩色／額	52.5×72.5	桐華会第 7 回展

## 企画展 合羽版 森義利の世界

版画家・森義利（1898～1992）は、下町の風物や歌舞伎、平家物語や源氏物語をテーマに躍動感あふれる版画作品を制作し、日本だけでなく海外での評価も高い作家である。もともと染色家であった森は、60歳を過ぎてから本格的に版画家としての道を歩み始め、合羽版という技法で独自の作品世界を築き上げた。

合羽版とは、柿渋を塗った紙に小刀で絵柄を切り抜いて型紙を作り、刷毛で絵具を摺り込んで転写する版画技法で、ステンシルの一種といえるが、森は、この合羽版の技法に加えて、防染糊を用いて色分けする型染技法を併用した。作品1点に使う型紙の数は作品の色数によって異なるが、防染して地色を残すための型、合羽摺りによって色彩を施すための型、糊置きして輪郭となる描線を摺るための型など、複数枚を組み合わせて制作される。その作品は、画面から飛び出してくるような迫りに満ち、また森が愛した歌舞伎や東京下町の風情など、江戸の余香が漂う古きよき日本の姿が残されている。本展覧会では、森が生涯を過ごした町、東京都中央区が所蔵する合羽版と肉筆画を中心に、粋で洒脱なその作品世界を紹介した。



会 期	2014年4月12日（土）～6月29日（日） 69日間
主 催	高崎市タワー美術館
特別協力	中央区教育委員会
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎
関連事業	① 講演会 松山龍雄「森 義利の合羽版」 5/31 午後2時～ （参加者 42名） ② 作品解説会 4/12、4/27、5/10、5/25、6/15、6/28 午後2時～ （参加者 合計67名）
出品点数	版画75点・肉筆画22点・型紙3点・着物1点
紹介記事	下町風情、古典 鮮やか 森義利さん「合羽版」展 （上毛新聞 4月17日） 「合羽版 森義利の世界」型染め併用 迫力の版画 （上毛新聞 4月26日） 展覧会スポットライト「合羽版 森義利の世界」 （版画芸術 6月1日） ほか
入 館 者	3,628名

No	作品名		制作年	所蔵先
1	紅型風浅草寺文様	着物	1950	中央区立郷土天文館
2	信州の農家 A-C	版画	1956	中央区立郷土天文館
3	暮の市シリーズ A-E	版画	1957-62	中央区立郷土天文館
4	植木市	版画	1957	中央区立郷土天文館
5	仲見世	版画	1959	中央区立郷土天文館
6	暮の市	版画	1957	中央区立郷土天文館
7	街道	版画	1958	中央区立郷土天文館
8	収穫の庭	版画	1958	中央区立郷土天文館
9	悲しみ	版画	1958	中央区立郷土天文館
10	行商人 B	型紙	1964	個人
11	祇王の舞	版画	1972	中央区立郷土天文館
12	伊豆の旗挙げ	版画	1973	中央区立郷土天文館
13	経正の神技	版画	1972	中央区立郷土天文館
14	与一の二の矢	版画	1971	中央区立郷土天文館
15	源平海戦	版画	1988	埼玉県立近代美術館
16	源平海戦	型紙	1973	個人
17	橋弁慶	版画	1973	中央区立郷土天文館
18	源氏文様	版画	1975	中央区立郷土天文館
19	うたの窓	版画	1976	中央区立郷土天文館
20	雲	版画	1975	中央区立郷土天文館
21	几帳の姫	版画	1975	中央区立郷土天文館
22	姫言	版画	1975	中央区立郷土天文館
23	尼と少女	版画	1975	中央区立郷土天文館
24	紫の君	版画	1975	中央区立郷土天文館
25	紅葉賀の舞	版画	1975	中央区立郷土天文館
26	ささやき	版画	1976	中央区立郷土天文館
27	朧姫 D	版画	1976	中央区立郷土天文館
28	車争い	版画	1976	中央区立郷土天文館
29	恪気の霊	版画	1975	中央区立郷土天文館
30	麿屋の姫	版画	1975	中央区立郷土天文館
31	うたたね B	版画	1975	中央区立郷土天文館
32	抱擁	版画	1975	中央区立郷土天文館
33	睦言	版画	1975	中央区立郷土天文館
34	午睡 B	版画	1975	中央区立郷土天文館
35	のみ	版画	1974	中央区立郷土天文館
36	七福神シリーズ 恵比寿/大黒/毘沙門/弁財天/布袋/寿老人/福祿寿	版画	1992	中央区立郷土天文館
37	風神雷神	版画	1983	中央区立郷土天文館
38	地獄門	版画	1965	中央区立郷土天文館
39	天国と地獄	版画	1965	中央区立郷土天文館
40	不動明王	版画	1962	逢善寺
41	南方の神	版画	1981	中央区立郷土天文館
42	西方の神	版画	1981	中央区立郷土天文館
43	火焰明王	版画	1981	中央区立郷土天文館
44	東方の神	版画	1981	中央区立郷土天文館
45	北方の神	版画	1981	中央区立郷土天文館
46	静乃舞	肉筆画	1985	中央区立郷土天文館
47	知盛の亡霊	肉筆画	1985	中央区立郷土天文館

No	作品名		制作年	所蔵先
48	連獅子	肉筆画	1964	中央区立郷土天文館
49	仁木弾正	肉筆画	1972	中央区立郷土天文館
50	滝夜叉	肉筆画	1986	中央区立郷土天文館
51	歌舞伎獅子 A	版画	1979	中央区立郷土天文館
52	勧進帳	版画	1964	中央区立郷土天文館
53	知盛	版画	1977	中央区立郷土天文館
54	舞姫	版画	1979	中央区立郷土天文館
55	おそめ	版画	1979	中央区立郷土天文館
56	手裏剣	版画	1977	中央区立郷土天文館
57	八丁掘	版画	1978	中央区立郷土天文館
58	鉄火の女	版画	1978	中央区立郷土天文館
59	隈取りバージョン	版画	1976	中央区立郷土天文館
60	隈取り A	版画	1976	中央区立郷土天文館
61	歌舞伎漫画	版画	1981	中央区立郷土天文館
62	さかやき	版画	1980	中央区立郷土天文館
63	お待ちなせえ	版画	1981	中央区立郷土天文館
64	日本民謡絵図	版画	1976	中央区立郷土天文館
65	狐のいる神楽	版画	1957	中央区立郷土天文館
66	神輿	版画	1960	中央区立郷土天文館
67	祭り行列シリーズ 先ぶれ太鼓／天狗／幟・鉢・剣／榊／神主馬／みこし	版画	1971	中央区立郷土天文館
68	神楽 A	版画	1957	中央区立郷土天文館
69	熊手持つ人	版画	1957	中央区立郷土天文館
70	東都風物歳時記 12ヶ月 1月～6月／7月～12月	版画	1962	中央区立郷土天文館
71	職人シリーズ 傘や／大工／たたみや／糊付けと藍がめ／機や／髪結い／屋根のある壺作り／桶屋	版画	1973	中央区立郷土天文館
72	よいとまけ	版画	1960	中央区立郷土天文館
73	行商人 A	版画	1964	中央区立郷土天文館
74	魚菜市场	版画	1976	中央区立郷土天文館
75	やっちゃ場	肉筆画	1977	中央区立郷土天文館
76	行商人シリーズ 竿や花や 魚やいかげや／ラウや定齋や 豆腐や焼きいも／虫や金魚や 飴や煮豆や	版画	1962	中央区立郷土天文館
77	魚河岸	肉筆画	1977	中央区立郷土天文館
78	人力に乗る女	版画	1987	中央区立郷土天文館
79	おけい古	版画	1983	中央区立郷土天文館
80	いじめっ子	版画	1983	中央区立郷土天文館
81	のれんシリーズ 八百屋／魚屋／おでん／うなぎ／寿司／天ぷら／支那そば／甘味／質屋／呉服屋	版画	1988-89	中央区立郷土天文館
82	少々昔の下町図絵	版画	1983	個人
83	少々昔の下町図絵	型紙	1983	中央区立郷土天文館
84	東都風物浅草寺大提灯	版画	1978	個人
85	日本橋	版画	1977	中央区立郷土天文館
86	東京駅(赤レンガ)	版画	1956	中央区立郷土天文館
87	夏の市十二景	肉筆画	1955	中央区立郷土天文館
88	東京証券取引所	肉筆画	1954	中央区立郷土天文館
89	兜町界隈	肉筆画	1954	中央区立郷土天文館

No	作品名		制作年	所蔵先
90	お茶の水夜景	肉筆画	1960年代	中央区立郷土天文館
91	千代田橋	肉筆画	1976	中央区立郷土天文館
92	旧水天宮	肉筆画	1976	中央区立郷土天文館
93	佃住吉神社より	肉筆画	1977	中央区立郷土天文館
94	上野公園団子や	肉筆画	1977	中央区立郷土天文館
95	増上寺横門	肉筆画	1975	中央区立郷土天文館
96	佃祭り	肉筆画	1977	中央区立郷土天文館
97	隅田川暮情	肉筆画	1981	逢善寺
98	今も昔、隅田に住む人々	肉筆画	1989	中央区立郷土天文館
99	思い出の東京散景	肉筆画	1987	中央区立郷土天文館
100	忘景の街	肉筆画	1991	中央区立郷土天文館
101	オリンピック	肉筆画	1964	中央区立郷土天文館

## 企画展 画家 安野光雅 展 ふしぎなえ から 繪本三國志 まで

安野光雅は、1926年島根県津和野町に生まれ、42歳の時に不可能図形の不思議な世界を描いた『ふしぎなえ』で絵本界にデビューした。幅広い学識と豊かな想像力によって生み出される、知的で獨創性あふれる作品は、国内はもとより世界各国で人気を博している。2012年には文化功労者の顕彰を受け、昨年は天皇皇后両陛下のお住まいである御所の庭に咲く四季の花を描いた『御所の花』を刊行し、大きな話題となった。本展覧会では、4年の歳月をかけて中国全土を取材し、制作された超大作『繪本 三國志』を中心に、高い人気を誇る水彩画を交えて画家・安野光雅の多彩な世界を紹介し、その50年の画業を振り返った。



会 期	2014年7月12日(土)～8月31日(日) 44日間
主 催	高崎市タワー美術館
企画協力	津和野町立安野光雅美術館、株式会社アートワン
後 援	高崎市教育委員会、朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、J・COM 群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎
関連事業	① 作品解説会 7/12、7/27、8/9、8/17、8/30 午後2時～ (参加者 合計181名)
出品点数	原画(水彩画)151点
紹介記事	中国史 壮大に描く (上毛新聞 8月1日) 安野さんの世界 原画で (上毛新聞 8月16日) ほか
入 館 者	9,155名
刊 行 物	ワークシート



No	作品名	縦×横(cm)
I. 『ふしぎなえ』 1968年／紙・水彩		
1	ふしぎなえ 表紙	76.0 × 59.0
2	ふしぎなえ 扉	76.0 × 59.0
3	ふしぎなえ 2.3P	59.0 × 76.0
4	ふしぎなえ 4.5P	59.0 × 76.0
5	ふしぎなえ 6.7P	59.0 × 76.0
6	ふしぎなえ 8.9P	59.0 × 76.0
7	ふしぎなえ 10.11P	59.0 × 76.0
8	ふしぎなえ 12.13P	59.0 × 76.0
9	ふしぎなえ 14.15P	59.0 × 76.0
10	ふしぎなえ 16.17P	59.0 × 76.0
11	ふしぎなえ 18.19P	59.0 × 76.0
12	ふしぎなえ 20.21P	59.0 × 76.0
13	ふしぎなえ 22.23P	59.0 × 76.0
14	ふしぎなえ 24.25P	59.0 × 76.0
15	ふしぎなえ 26.27P	59.0 × 76.0
II. 『天動説の絵本』 1979年／紙・水彩		
16	天動説の絵本 表紙	59.0 × 76.0
17	天動説の絵本 3P	59.0 × 76.0
18	天動説の絵本 4.5P	59.0 × 76.0
19	天動説の絵本 6.7P	59.0 × 76.0
20	天動説の絵本 8.9P	59.0 × 76.0
21	天動説の絵本 10.11P	59.0 × 76.0
22	天動説の絵本 12.13P	59.0 × 76.0
23	天動説の絵本 14.15P	59.0 × 76.0
24	天動説の絵本 16.17P	59.0 × 76.0
25	天動説の絵本 18.19P	59.0 × 76.0
26	天動説の絵本 20.21P	59.0 × 76.0
27	天動説の絵本 22.23P	59.0 × 76.0
28	天動説の絵本 24.25P	59.0 × 76.0
29	天動説の絵本 26.27P	59.0 × 76.0
30	天動説の絵本 28.29P	59.0 × 76.0
31	天動説の絵本 30.31P	59.0 × 76.0
32	天動説の絵本 32.33P	59.0 × 76.0
33	天動説の絵本 34.35P	59.0 × 76.0
34	天動説の絵本 36.37P	59.0 × 76.0
35	天動説の絵本 38.39P	59.0 × 76.0
36	天動説の絵本 40.41P	59.0 × 76.0
37	天動説の絵本 42.43P	59.0 × 76.0
38	天動説の絵本 44P	59.0 × 76.0
39	天動説の絵本 裏表紙	59.0 × 76.0
III. 『風景と出会い』 2009年／紙・水彩		
40	ノルマンディーの田舎	64.0 × 81.0
41	アレンドルフの遠景	64.0 × 81.0
42	チンチョンの広場	64.0 × 81.0
43	サラゴザへの道	64.0 × 81.0
44	サンクトペテルブルクの郊外	64.0 × 81.0
45	ゲントの船着き場	64.0 × 81.0
46	ブイヨンの城	64.0 × 81.0

No	作品名	縦×横(cm)
47	ピサの農園	64.0 × 81.0
48	ザルツブルグの橋	64.0 × 81.0
49	アルデンヌの田園	64.0 × 81.0
50	オンフルールの入り江	64.0 × 81.0
51	ウィンザーの町並み	64.0 × 81.0
52	ポルトの町並み	64.0 × 81.0
53	ケッセルの田園	64.0 × 81.0
54	コンクの町並み	64.0 × 81.0
55	ワーウィックの城から	64.0 × 81.0
56	カセレスの旧市街	64.0 × 81.0
57	コルチナダンペッツオの山	64.0 × 81.0
58	オランダの運河	64.0 × 81.0
59	バースの近くの丘	64.0 × 81.0
60	デ・ハール城の全景	64.0 × 81.0
61	バスクの港	64.0 × 81.0
62	スコットランドの牧場	64.0 × 81.0
63	ケベックの旧市街	64.0 × 81.0
64	アルムケルクの農家	64.0 × 81.0
65	ドブロブニクの港	64.0 × 81.0
66	ギリシャのレフカダ島	64.0 × 81.0
67	オビドスの町並み	64.0 × 81.0
68	ゴスラーの広場	64.0 × 81.0
IV. 『繪本 三國志』2008年／紙、絹・顔彩他		
69	「三国揺籃」(黄河長流 一) —河南・鄭州—	70.5 × 91.0
70	「黄河看戦」 —河南・鄭州—	70.5 × 91.0
71	「劉伶墓参」 —河南・新郷—	70.5 × 91.0
72	「長安夢幻」 —陝西・西安—	70.5 × 91.0
73	「李陵窮絶」 —陝西・西安—	70.5 × 91.0
74	「張魯王国」 —陝西・漢中—	70.5 × 91.0
75	「望郷別離」(蔡文姫、漢に帰る 一) —河南・開封—	70.5 × 91.0
76	「文姫帰漢」(蔡文姫、漢に帰る 二) —河南・開封—	70.5 × 91.0
77	「黄巾蜂起」 —河北・鉅鹿—	70.5 × 91.0
78	「鉅鹿山塊」 —河北・靈霄山—	70.5 × 91.0
79	「宋都御街」 —河南・開封—	70.5 × 91.0
80	「太行結集」 —河北・邢台—	70.5 × 91.0
81	「露天市場」 —河北・邯鄲—	70.5 × 91.0
82	「衆民危急」 —河南・洛陽—	70.5 × 91.0
83	「何進暗殺」 —河南・洛陽—	70.5 × 91.0
84	「宦官誅滅」 —河南・洛陽—	70.5 × 91.0
85	「皇帝更迭」 —河南・洛陽—	70.5 × 91.0
86	「反董同盟」 —河南・洛陽—	70.5 × 91.0
87	「曹操出廬」 —安徽・亳州—	70.5 × 91.0
88	「屈原悲憤」 —河南・陳留—	70.5 × 91.0
89	「妖婦貂蟬」 —湖北・襄樊—	70.5 × 91.0
90	「鄆鳩秋色」 —陝西・眉県—	70.5 × 91.0
91	「烏巢夜襲」(官渡決戦 二) —河南・官渡—	70.5 × 91.0
92	「界橋逆襲」 —河北・邯鄲—	70.5 × 91.0
93	「天水遠望」 —陝西・漢中—	70.5 × 91.0
94	「董卓参上」 —河南・靈宝—	70.5 × 91.0

No	作品名	縦×横(cm)
95	「兵站急襲」(官渡決戦 一) —河南・官渡—	70.5 × 91.0
96	「馬超敗走」 —陝西・潼關—	70.5 × 91.0
97	「劉備入蜀」 —四川・広漢—	70.5 × 91.0
98	「呂布脱落」 —安徽・徐州—	70.5 × 91.0
99	「龍門石窟」 —河南・洛陽—	70.5 × 91.0
100	「白馬先勝」 —河南・官渡—	70.5 × 91.0
101	「義人關羽」 —河南・許昌—	70.5 × 91.0
102	「袁紹壊滅」(官渡決戦 三) —河南・官渡—	70.5 × 91.0
103	「博望阻止」 —湖北・襄樊—	70.5 × 91.0
104	「長江群青」 —四川、湖北・三峡—	70.5 × 91.0
105	「涪城交歓」 —四川・綿陽—	70.5 × 91.0
106	「川劇演義」 —四川・成都—	70.5 × 91.0
107	「趙雲暮景」 —河北・正定—	70.5 × 91.0
108	「孔明大志」 —湖北・襄樊—	70.5 × 91.0
109	「草廬三顧」 —湖北・襄樊—	70.5 × 91.0
110	「玄武蕭々」 —江蘇・南京—	70.5 × 91.0
111	「紹興悠閑」 —浙江・紹興—	70.5 × 91.0
112	「柯橋再訪」 —浙江・紹興—	70.5 × 91.0
113	「潼關風渡」 —陝西・潼關—	70.5 × 91.0
114	「劉備東征」 —湖北・宜昌—	70.5 × 91.0
115	「百姓随従」 —湖北・襄樊—	70.5 × 91.0
116	「陸遜故里」 —江蘇・松江—	70.5 × 91.0
117	「張飛当千」 —湖北・襄樊—	70.5 × 91.0
118	「趙雲奮闘」 —湖北・襄樊—	70.5 × 91.0
119	「望郷孫氏」 —浙江・富陽—	70.5 × 91.0
120	「姑蘇繁華」 —江蘇・蘇州—	70.5 × 91.0
121	「赤壁前夜」 —湖北・赤壁—	70.5 × 91.0
122	「孫權決断」(赤壁の戦い一) —湖北・赤壁—	70.5 × 91.0
123	「戦艦炎上」(赤壁の戦い二) —湖北・赤壁—	70.5 × 91.0
124	「赤壁秋景」 —湖北・赤壁—	70.5 × 91.0
125	「建業盛春」 —江蘇・南京—	70.5 × 91.0
126	「暮霞吳景」 —安徽・馬鞍山—	70.5 × 91.0
127	「姻家政略」 —江蘇・鎮江—	70.5 × 91.0
128	「甘露風説」 —江蘇・鎮江—	70.5 × 91.0
129	「雒城攻略」 —四川・綿陽—	70.5 × 91.0
130	「龐統被箭」 —四川・綿陽—	70.5 × 91.0
131	「龍門古鎮」 —浙江・富陽—	70.5 × 91.0
132	「漢中鷄肋」 —陝西・漢中—	70.5 × 91.0
133	「醉郷西湖」 —浙江・杭州—	70.5 × 91.0
134	「黄忠奮戦」 —陝西・陽平—	70.5 × 91.0
135	「三峡静淵」 —四川・瞿塘峡—	70.5 × 91.0
136	「英傑逝世」 —河南・洛陽—	70.5 × 91.0
137	「夷陵茫漠」 —湖北・宜昌—	70.5 × 91.0
138	「陸遜圧勝」 —湖北・宜昌—	70.5 × 91.0
139	「白帝望蜀」 —四川・白帝城—	70.5 × 91.0
140	「秦嶺故景」 —四川・翠雲廊—	70.5 × 91.0
141	「危急存亡」(孔明出師一) —四川・成都—	70.5 × 91.0
142	「遺詔順守」(孔明出師二) —四川・成都—	70.5 × 91.0
143	「劍門古道」 二 —四川・劍門關—	70.5 × 91.0

No	作品名	縱×橫(cm)
144	「黃土遼遠」—甘肅·街亭—	70.5×91.0
145	「石頭紅色」—江蘇·南京—	70.5×91.0
146	「秋風布陣」—陝西·五丈原—	70.5×91.0
147	「流星未捷」—陝西·五丈原—	70.5×91.0
148	「回憶大地」—江蘇·鎮江—	70.5×91.0
149	「西津度街」—江蘇·鎮江—	70.5×91.0
150	「楓橋夜泊」—浙江·蘇州—	70.5×91.0
151	「運河逍遙」(烏鎮三)—浙江·烏鎮—	70.5×91.0

## 企画展 広島県立美術館所蔵 飽くなき探求の画家 児玉希望

大正から昭和の日本画壇で大きな足跡を残した児玉希望（1898～1971）は、広島県高田郡来原村（現、安芸高田市）に生まれ、上京して川合玉堂に絵を学んだ。1921年に画壇の登龍門であった帝国美術院展覧会に初入選、その後も入選を続け、1928年、1930年には最高賞である特選を受賞、帝展、新文展、日展という大舞台で存在感を示し、日本芸術院会員、日展評議員として東京画壇を牽引した。彼は、生涯ひとつの画風に陥ることなく、常に新しい表現に挑み続けたため、その作品はひとりの画家によるものとは思えないほど多彩である。繊細で精緻な描写の花鳥画、山水画があると思えば、情感のこもった歴史人物を描き、さらには抽象的な表現による水墨画もあって描写力と表現力の高さを見せつける。

本展覧会では、広島県立美術館の所蔵品 144 点から本画 39 点、素描 31 点を展示し、日本画に挑み続けた画業を概観するとともに、1957 年から 1 年間、現地の風景による作品制作、展覧会発表を行ったヨーロッパ滞在時の素描によって、その旺盛な好奇心と挑戦に満ちあふれた生涯を紹介した。



**会 期** 2014年9月13日（土）～11月3日（月・祝） 44日間

**主 催** 高崎市タワー美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

**企画協力** 広島県立美術館

**後 援** 上毛新聞社、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、J:COM 群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎

- 関連事業**
- ① 講演会 児玉 雄「父・希望の思い出」 10/4 午後2時～（参加者 55名）
  - ② 作品解説会 9/13、9/28、10/18、11/2 午後2時～（参加者 合計70名）
  - ③ 群馬県民の日 無料開放 10/28（392名）

**出品点数** 日本画 39 点・素描 31 点

**紹介記事** 児玉希望の画業たどる（上毛新聞 9月22日）

飽くなき探求の画家 児玉希望 上・中・下（読売新聞 10月3日・4日・7日）

新技法 挑み続けた70点（JOMO TAKATAI 10月10日）ほか

**入 館 者** 3,257名

**刊 行 物** 図録（作品図版53点、本文48頁）

図版〔第1部・第2部〕／ヨーロッパ滞在の足跡〔地図・表〕／作品解説／略年譜／出品目録

## 日本画

No	作品名	作品歴	制作年	材質技法	形状	縦×横(cm)	
1	晩春	第6回帝展	大正14年	1925	絹本彩色	八曲一隻	122.5×433.0
2	雨後		昭和5年頃	c.1930	絹本墨画彩色	軸装	72.0×86.0
3	黎明	第15回帝展	昭和9年	1934	絹本彩色	額装	191.0×178.0
4	七面鳥	第2回新文展	昭和13年	1938	絹本彩色	額装	137.0×144.0
5	荊軻	第10回戊辰会展	昭和14年	1939	絹本彩色	額装	153.5×69.0
6	空山春生	本山幽篁堂当代画跡 竹器木刻展	昭和15年	1940	絹本彩色	額装	69.0×83.0
7	ひるさがり 日午	第6回児玉画塾展	昭和17年	1942	絹本彩色	額装	75.0×85.0
8	景清	第5回新文展	昭和17年	1942	絹本彩色	額装	209.5×77.0
9	溪谷の秋〔残照〕	第7回児玉画塾展	昭和18年	1943	絹本彩色	額装	153.5×69.0
10	驟雨来		昭和22年	1947	絹本彩色	額装	73.5×84.0
11	静物(卓上のりんご)		昭和27年	1952	絹本彩色	額装	58.0×51.0
12	室内	第8回日展	昭和27年	1952	絹本彩色	額装	171.0×131.0
13	春のバンガロー	第5回日月社展	昭和29年	1954	絹本彩色	額装	65.0×87.0
14	烟雨	第10回日展	昭和29年	1954	絹本彩色	額装	132.0×173.0
15	浦町の雑閑	第6回日月社展	昭和30年	1955	絹本彩色	額装	117.0×90.0
16	氷川	第11回日展	昭和30年	1955	絹本彩色	額装	208.0×171.0
17	大川端		昭和30年前後	c.1955	絹本彩色	額装	81.0×88.5
18	奥多摩の家	第7回日月社展	昭和31年	1956	紙本金泥墨画	額装	60.0×74.5
19	鷺		昭和22年	1947	絹本墨画	額装	65.5×71.5
20	冬瓜		昭和33年頃	c.1958	絹本墨画	軸装	38.0×42.1
21	梵唄(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	43.0×73.0
22	海禾(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	57.0×67.0
23	緑塊(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	55.0×72.0
24	白崖(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	68.5×58.0
25	雲似(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	59.0×69.5
26	滴律(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	67.0×64.0
27	地紋(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	60.0×63.0
28	徑(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	59.0×72.5
29	銀漾(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	46.0×50.0
30	日午(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	40.0×56.0
31	金漾(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	60.0×49.0
32	円鎖(新水墨画十二題)		昭和34年	1959	絹本墨画	額装	54.5×66.0
33	ひざかり〔白日〕	皇月会展	昭和35年	1960	絹本彩色	額装	51.0×58.5
34	吾妻橋		昭和35年	1960	絹本彩色	額装	121.5×156.4
35	吾妻町にて		S35.9.19	1960	紙本彩色		21.6×28.0
36	亭午	第12回日月社展	昭和36年	1961	絹本墨画彩色	額装	102.0×113.0
37	踊	第5回新日展	昭和37年	1962	絹本彩色	額装	176.5×109.5
38	涅槃	第6回新日展	昭和38年	1963	絹本彩色	額装	156.0×150.5
39	瀾	第7回新日展	昭和39年	1964	絹本彩色	額装	156.0×135.5
40	モンブラン		昭和32年頃	c.1957	紙本墨画	額装	104.7×117.0
素描							
No	作品名	作品日付	制作年	材質/技法	形状	縦×横(cm)	
41	コモ付近 トルノ風景	S32.5.8	1957	紙/彩色	額装	16.5×24.5	
42	コモ 1	S32.5.9	1957	紙/彩色	額装	17.0×24.5	
43	ナポリ海岸	S32.5.14	1957	紙/彩色	額装	17.0×24.5	
44	セーヌ河岸 ノートルダム付近	S32.5.27	1957	紙/墨	額装	20.0×26.5	
45	ノートルダム付近	S32.6.1	1957	紙/墨	額装	20.0×26.5	

No	作品名	作品日付	制作年	材質／技法	形状	縦×横 (cm)
46	モレーの寺	S32.6.4	1957	紙／彩色	額装	20.0 ×26.5
47	フォロ・ロマーノ 2	S32.6.24	1957	紙／彩色	額装	20.0 ×26.5
48	フォロ・ロマーノ 3		1957	紙／彩色	額装	24.5 ×17.0
49	トウレヤーノ・ネロの遺跡	S32.6.26	1957	紙／彩色	額装	23.0 ×31.5
50	ブランプラよりグライスエ・デュ・モンブランを望む	S32.7.22	1957	紙／彩色	額装	23.5 ×31.0
51	フォンチメールカーチ	S32.8.5	1957	紙／彩色	額装	17.0 ×24.5
52	ティボリの滝	S32.8.11	1957	紙／色彩	額装	24.5 ×17.0
53	ニース	S32.9.17	1957	紙／彩色	額装	22.5 ×30.0
54	バンドール	S32.9.18	1957	紙／彩色	額なし	23.0 ×63.5
55	マルセイユ 1	S32.9.19	1957	紙／彩色	額装	22.5 ×30.0
56	モンブラン	S32.9.20	1957	紙／彩色	額装	20.0 ×93.0
57	ルブレバン連峰	S32.9.21	1957	紙／彩色	額なし	23.0 ×63.5
58	ルアン	S32.9.27	1957	紙／彩色	額装	22.5 ×30.0
59	ゴッホの住んだ家	S32.10.2	1957	紙／墨	額装	17.0 ×24.5
60	霧のベニスにて	S32.11.29	1957	紙／彩色	額装	23.0 ×31.5
61	ベニスにて 1	S32.12.1	1957	紙／彩色	額装	23.0 ×31.5
62	ジェノバ海岸	S32.12.22	1957	紙／彩色	額装	23.0 ×31.5
63	バンドールにて 2	S32.12.29	1957	紙／彩色	額装	28.0 ×38.0
64	ベルリン郊外ウインゼー	S33.3.6	1958	紙／彩色	額装	23.5 ×32.0
65	ベルリンウィルヘルム一世記念教会の塔	S33.3.6	1958	紙／彩色	額装	32.0 ×23.0
66	ロンドンブリッジよりタワーブリッジを望む	S33.3.11	1958	紙／彩色	額装	23.5 ×32.0
67	ロンドンタワー	S33.3.13	1958	紙／彩色	額装	23.5 ×32.0
68	アムステルダムにて新緑の家	S33.3.15	1958	紙／彩色	額装	23.5 ×32.0
69	アムステルダム郊外アードロギヤモク	S33.3.15	1958	紙／彩色	額装	23.5 ×32.0
70	ソレントよりベスピオ火山を望む	S33.4.3	1957	紙／彩色	額装	23.0 ×31.5

## 企画展 東京富士美術館所蔵名品展 日本絵画の精華

1983年に東京・八王子に開館した東京富士美術館は、古今東西の絵画、彫刻、工芸、写真など、国内外の美術のエキスを集めた約30,000点の所蔵品を誇る有数の美術館である。その日本美術コレクションは、中世・近世絵画から浮世絵、近代日本画、陶磁、漆工、武具、刀剣、書跡等々、日本美術の歴史を余すことなく網羅するが、とくに江戸時代の近世絵画と、明治時代から昭和時代に至る近代日本画には名品が多く、日本絵画の良さを堪能できる貴重な作品群である。

近世絵画からは、充実した江戸時代前期の屏風作品を中心に、幕府御用絵師である狩野派の《洛中洛外図屏風》、《吉野川龍田川屏風》、「武蔵野は月の入るべき嶺もなし尾花が末にかかる白雲」（続古今和歌集）といった古歌の歌意を視覚化した《武蔵野図屏風》、さらには豊かな装飾性を特徴とした琳派作品など、近世における様式美を堪能できる作品群を、近代日本画では、その黎明期を支えた横山大観、竹内栖鳳、菱田春草、下村観山や、美人画の大家である上村松園、鏑木清方、ほか、誰もが名を知る巨匠の作品を紹介した。また、絵画以外に、当市とゆかりの深い小栗上野介忠順が所用した甲冑を特別出品した。



会 期	2014年11月15日（土）～2015年1月18日（日） 48日間
主 催	高崎市タワー美術館
企画協力	東京富士美術館
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビJ:COM群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎
関連事業	① オープニングセレモニー 11/15 午前9時30分～（参加者 58名） ② 作品解説会 11/15、11/30、12/14、12/27、1/10 午後2時～（参加者 合計213名）
出品点数	近世絵画11点・近代日本画34点・甲冑1領
紹介記事	狩野は屏風から近代巨匠 企画展「日本絵画の精華」（JOMO TAKATAI 12月12日） 東京富士美術館の名品そろそろ 狩野派や近代日本画（上毛新聞 11月24日）ほか
入 館 者	7,458名
刊 行 物	図録（作品図版46点、本文64頁） ごあいさつ／東京富士美術館所蔵の日本絵画（五木田 聡）／図版〔第1部・第2部〕／作品解説・作家略歴／出品目録



No	作品名	作家名	制作年	材質技法／形状	サイズ
1	松桜図屏風	伝俵屋宗達	江戸時代前期	紙本金地着色／六曲一隻	155.0 × 355.0
2	波濤図屏風	琳派	江戸時代中期	紙本金地着色／八曲一隻	89.5 × 321.4
3	白梅図屏風	琳派	江戸時代	紙本金地着色／二曲一隻	169.2 × 182.0
4	春秋草花図屏風	琳派	江戸時代前期	紙本金地着色／二曲一隻	174.0 × 184.0
5	秋草図屏風	琳派	江戸時代前期	紙本着色／八曲一隻	96.0 × 348.0
6	草花図下絵和漢朗詠集漢詩	書:本阿弥光悦、下絵:宗達派	江戸時代前期	紙本金地着色墨書／軸装	80.7 × 40.6
7	草花図下絵和漢朗詠集和歌	書:本阿弥光悦、下絵:宗達派	江戸時代前期	紙本金地着色墨書／額装	91.5 × 51.0
8	武蔵野図屏風	作者不詳	江戸時代前期	紙本金地着色／六曲一双	各 140.0 × 330.0
9	一の谷合戦図屏風	土佐派	江戸時代	紙本金地着色／六曲一隻	172.8 × 371.2
10	吉野山龍田川図屏風	狩野派	江戸時代前期	紙本着色／六曲一双	各 165.5 × 367.0
11	洛中洛外図屏風	狩野派	江戸時代前期	紙本金地着色／六曲一双	各 154.4 × 353.2
12	春秋の滝(双幅)	菱田春草	明治 42 年	絹本着色／軸装	各 109.3 × 39.8
13	帰漁	菱田春草	明治 34 年	絹本着色／軸装	113.9 × 48.9
14	雲来	下村観山	大正時代	絹本着色／軸装	127.0 × 51.5
15	漁翁	横山大観	大正 2 年	絹本着色／軸装	145.7 × 71.1
16	楠公父子図(双幅)	菊池契月	昭和 18 年頃	絹本着色／軸装	各 129.0 × 42.4
17	菊寿	上村松園	昭和 14 年	絹本着色／軸装	66.0 × 72.0
18	美人観書	上村松園	昭和 16 年頃	絹本着色／軸装	53.0 × 66.0
19	美人四季 新春の粧(春)	鏑木清方	昭和 25 年	絹本着色／軸装	56.5 × 54.0
20	美人四季 山百合(夏)	鏑木清方	昭和 25 年	絹本着色／軸装	56.5 × 55.0
21	美人四季 芳宜の細道(秋)	鏑木清方	昭和 25 年	絹本着色／軸装	56.5 × 56.0
22	美人四季 燈下読書(冬)	鏑木清方	昭和 25 年	絹本着色／軸装	56.5 × 57.0
23	雪月花・朝雪(雪)	川合玉堂	昭和 27 年	絹本着色／軸装	54.5 × 72.5
24	雪月花・池心(月)	川端龍子	昭和 27 年	絹本着色／軸装	53.5 × 72.0
25	雪月花・夜桜(花)	横山大観	昭和 27 年	絹本着色／軸装	53.0 × 71.5
26	山家早春	川合玉堂	昭和 17 年	絹本着色／軸装	75.0 × 87.0
27	神嶽不二山	横山大観	昭和 15 年	紙本着色／軸装	73.5 × 94.0
28	旭日	横山大観	昭和 2 年	紙本着色／軸装	56.7 × 74.2
29	八仙花	小林古径	昭和 12 年頃	絹本着色／軸装	52.7 × 73.0
30	兔図	小林古径	昭和時代	絹本着色／軸装	85.0 × 33.0
31	燕子花	小林古径	昭和 10 年頃	絹本着色／軸装	126.0 × 41.5
32	桜花小禽図	榊原紫峰	大正 12 年頃	絹本着色／軸装	121.0 × 26.5
33	涼意	中村大三郎	年代不詳	絹本着色／軸装	124.7 × 35.6
34	満潮	橋本関雪	昭和 18 年頃	紙本着色／軸装	47.0 × 58.5
35	獅子	竹内栖鳳	明治 34-35 年	紙本金地着色／六曲一双	各 169.0 × 363.0
36	秤	立石春美	昭和 13 年頃	絹本着色／額装	124.2 × 40.4
37	朗羅	鏑木清方	昭和 8 年	絹本着色／額装	96.0 × 42.5
38	嵐峡	宇田荻邨	昭和 46 年	紙本着色／額装	33.5 × 24.2
39	鶉飼	川合玉堂	昭和 29 年	紙本着色／額装	41.0 × 55.0
40	白雲春恋	横山大観	昭和 14 年	紙本墨画／額装	85.0 × 122.0
41	春光	福田平八郎	昭和 17 年頃	絹本着色／額装	52.5 × 43.1
42	彩虹	児玉希望	昭和 43 年	絹本墨画着色／額装	65.2 × 108.0
43	雪山	加山又造	昭和 42 年頃	紙本着色／額装	41.0 × 53.0
44	神戸商館	西山英雄	昭和 12 年	紙本着色／額装	109.0 × 97.0
45	パリの街角	堂本印象	昭和 28 年頃	絹本着色／額装	45.0 × 51.0
46	小栗上野介忠順所用 本小札紺絲威五枚胴具足		文久 2 年	鉄製漆塗、革、絹／	155.0 × 355.0

## 企画展 美術でたどる物語

王朝物語や説話など人々を魅了した文学作品は、長く読み継がれるだけでなく、古くから絵画化され、“テキスト”である文学と、それを“イメージ化”した絵画は密接に関わり、共に親しまれてきた。また文学は絵画だけでなく、工芸や図案、古典芸能など日本文化の幅広い分野に多大な影響を及ぼし、今日にいたるまで、美術作品における重要な主題のひとつとなっている。

優雅な貴族の恋物語、勇猛な武士たちによる軍記物語、動物が主人公となった御伽草子など、それぞれの物語を描くのに適した表現は異なるが、美術と文学は互いに深く関わり合いながら、また時代の好みを反映して、多様に展開してきた。

文学のジャンルや制作された時代・作家によってその表現はさまざまであるが、本展覧会では近現代の日本画と工芸作品から、美術と文学がおりなす多彩な世界を紹介した。



**会 期** 2015年1月31日(土)～3月22日(日) 43日間

**主 催** 高崎市タワー美術館

**後 援** 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎

**関連事業** ① 講演会 畑 正高「古典と香り」 2/22 午後2時～ (参加者 105名)

② 作品解説会 1/31、2/15、3/8、3/21 午後2時～ (参加者 合計172名)

**出品点数** 日本画・工芸品・版画・資料等 61点

**紹介記事** 美術でたどる物語 (両毛新聞 1月13日)

古典文学と美術 多彩に 企画展「美術でたどる物語」 (JOMO TAKATAI 1月30日) ほか、日本

**入館者** 4,566名

**刊行物** リーフレット (作品図版15点)

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	所蔵者
物語を読みとく						
1	松岡 映丘	今昔ものがたり 伊勢図	昭和4年	絹本着色／軸	85.5×143.3	静岡県立美術館
2	上村 松園	小町の図	昭和4-5年頃	絹本着色／額	43.7×51.5	株式会社ヤマタネ
3	前田 青邨	浦島絵巻	大正時代末頃	紙本墨画淡彩／卷子	18.9×464.5	株式会社ヤマタネ
4	安田 靱彦	かちかち山	明治43年	紙本墨画／卷子	29.3×349.0	株式会社ヤマタネ
5	小川 芋銭	月の兎	昭和9年頃	紙本墨画淡彩／軸	44.4×102.5	株式会社ヤマタネ
6	下村 観山	達磨	大正3年頃	絹本着色／軸	136.2×50.2	駿府博物館
7	小杉 未醒	梅花書屋	大正11年頃	絹本墨彩／軸	145.5×50.2	株式会社ヤマタネ
8	守屋 多々志	寿(菊慈童)		紙本着色／額	72.8×38.9	株式会社アクティブ
9	尾形 月耕	韓信故事図屏風	明治時代	紙本彩色／二曲一双	156.0×142.0	当館
10	画／武居 梅坡 賛／武居 老平	鐘馗図	明治16年	紙本墨画淡彩／軸	101.0×55.0	当館寄託
11	廣観	松竹梅高砂之図		絹本着色／双幅	114.5×41.7	当館寄託
12	渡辺 省亭	天女		絹本着色／軸	113.2×35.5	当館寄託
13	小林 古径	竹取物語昇天図(画稿)	大正6年	紙本着色／額	44.8×135.7	横浜美術館
14	吉川 霊華	不盡神霊	昭和2年	紙本墨画淡彩／軸	68.5×82.5	株式会社ヤマタネ
15	今村 紫紅	宇津の山路	明治45年	絹本着色／軸	126.5×50.4	静岡県立美術館
16	蔦谷 龍岬	御堂の朝	大正7年	絹本着色／六曲一双	170.0×380.0	当館寄託
17	梶田 半古	源氏物語図屏風	明治時代後期	絹本着色／六曲一双	(各)172.0×377.0	横浜美術館
18	下村 良之介	須磨(現代の源氏物語絵)	平成3年	紙本着色／額	57.9×65.4	松栄堂松寿文庫
19	村田 茂樹	真木柱(現代の源氏物語絵)	平成3年	紙本着色／額	57.9×65.4	松栄堂松寿文庫
20	林 潤一	藤裏葉(現代の源氏物語絵)	平成3年	紙本着色／額	57.9×65.4	松栄堂松寿文庫
21	塩見 仁朗	椎本(現代の源氏物語絵)	平成3年	紙本着色／額	65.4×57.9	松栄堂松寿文庫
22	秋野 不矩	浮舟(現代の源氏物語絵)	平成3年	紙本着色／額	58.7×67.2	松栄堂松寿文庫
23	大野 倣嵩	夢浮橋(現代の源氏物語絵)	平成3年	紙本着色／額	53.2×65.4	松栄堂松寿文庫
24	山本 茜	源氏物語シリーズ第十三帖「明石」	平成24年	ガラス・截金	27.9×16.5×16.5	
25	山本 茜	源氏物語シリーズ第二十五帖「蛸」	平成23年	ガラス・截金	26.5×15.2	
26	山本 茜	源氏物語シリーズ第二十七帖「篝火」	平成22年	クリスタルガラス・截金	27.4×15.0×8.2	
27	三浦 景生	濡標	平成10年	白山紬(絹)・布象嵌・ステンシル・コ ラージュ・ドローイング／二曲一双	(各)160.0×140.0	染・清流館
物語に遊ぶ						
28		香木 新伽羅「桐壺」				松栄堂松寿文庫
29		香木 伽羅「紅葉賀」				松栄堂松寿文庫
30		香木 羅国「春日野」				松栄堂松寿文庫
31		笹龍胆唐草蒔絵組香箱	江戸時代末期 ～明治時代	一合	(外箱)14.3× 12.4×11.3(内 箱)4.9×4.0× 3.7	松栄堂松寿文庫
32		源氏香図	江戸時代末期	紙本着色／折本	23.2×11.4	早稲田大学図書館
33	方円居 宗典	盛花源氏五十四帖図絵	書写年不詳	紙本墨画／画冊	26.0×17.8	早稲田大学図書館
34		源氏流瓶花規範絵巻	江戸時代末期	紙本着色／卷子	18.0×252.7	早稲田大学図書館
35	歌川 芳幾	春遊源氏洒活花	文久2年	錦絵大判／三枚続	37.0×75.5	早稲田大学図書館
36		源氏かるた	江戸時代末期	紙本着色	7.7×5.1	早稲田大学図書館
37	一雄斎 国輝	其紫湖月双六	江戸時代末期	紙／1舗	48.7×70.5	早稲田大学図書館
38	三宅 半四郎	源氏五十四帖双六	明治33年	紙／1舗	49.5×71.0	早稲田大学図書館

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ	所蔵者
物語を観る						
39	菊池 契月	観菊図	昭和 10 年頃	絹本着色／軸	131.6 × 57.7	静岡県立美術館
40	加藤 登美子	義経千本桜 堀河御所の場	昭和 61 年	紙本着色／額	49.5 × 99.5	株式会社ヤマタネ
41	加藤 登美子	義経千本桜 伏見稲荷鳥居前の場	昭和 61 年	紙本着色／額	49.5 × 99.5	株式会社ヤマタネ
42	加藤 登美子	義経千本桜 吉野道行の場 初音旅	昭和 61 年	紙本着色／額	49.5 × 99.5	株式会社ヤマタネ
43	加藤 登美子	義経千本桜 川連法眼館の場 蔵王堂	昭和 61 年	紙本着色／額	49.5 × 99.5	株式会社ヤマタネ
44	梅堂 国政	千歳座新狂言替利絵	明治 18 年	大判・仕掛絵／仕掛絵	24.5 × 36.3	国立劇場
45	三代 歌川 豊国	東海道四谷怪談	文久元年	大判三枚続・仕掛絵 ／三枚続・仕掛絵	35.9 × 24.9	国立劇場
46	豊原 周義	積恋雪関扉	明治 12 年	大判二枚続・仕掛絵 ／二枚続・仕掛絵	36.6 × 24.7	国立劇場
47	神山 清七	東京新富座真図	明治 17 年	大判三枚続／三枚続	36.0 × 23.2	国立劇場
近代文学を描く						
48	上村 松篁	春丘	昭和 46 年	紙本着色／額	37.8 × 60.7	
49	牧 進	紅梅	昭和 63 年	紙本着色／額	55.0 × 109.5	株式会社アクティブ
50	牧 進	さざんか	昭和 63 年	紙本着色／額	110.0 × 144.0	山種不動産
51	牧 進	雪国	昭和 63 年	紙本着色／額	162.0 × 130.5	株式会社ヤマタネ
52	加藤 登美子	縷紅新草一赤蜻蛉	昭和 58 年	紙本着色／額	128.7 × 161.4	株式会社ヤマタネ
絵画の誕生物語						
53		昭和名画帖	昭和 5 年	絹本着色／画帖	27.2 × 40.8	当館寄託
54	川合 玉堂	数馬峡(絵と書)	昭和 20 年	紙本墨画淡彩／軸	25.7 × 53.5	
55	結城 素明	薄光	大正 9 年	絹本着色／額	92.8 × 135.8	株式会社ヤマタネ
56	上村 淳之	晨	昭和 49 年	紙本着色／額	110.0 × 160.0	株式会社ヤマタネ
57	松村 公嗣	湿原	昭和 62 年	紙本着色／額	130.3 × 162.1	株式会社ヤマタネ
58	奥村 土牛	吉野懐古	昭和 60 年	紙本着色／額	72.0 × 101.0	株式会社ヤマタネ
59	東山 魁夷	樹氷	平成 8 年	カンヴァス着色／額	67.0 × 92.0	当館寄託
60	高橋 常雄	奥信濃	昭和 62 年	紙本着色／額	65.2 × 100.0	当館寄託
61	守屋 多々志	歌人(与謝野晶子)	昭和 63 年	紙本着色／額	79.5 × 99.5	株式会社ヤマタネ

## 収蔵作品展 花笑み—日本画花だより

春は、厳しい冬を乗り越えて様々な花が咲き、緑が芽吹く目映い季節。花の神秘的な美しさや生命力は芸術家たちの創作意欲を刺激し、数多の作品が生み出されてきた。瑞々しく咲き誇る花々も、やがては枯れ果ててしまうが、画家たちは東の間の花の生命に永遠のエネルギーを吹き込み、観る者を魅惑の世界へと誘う。

花が咲くことを「花笑み」と言うが、開花するさまを「笑う」と表現する感性に、日本人の花に対する想いが表われている。

本展覧会では、当館の収蔵作品から日本の春を代表する桜をはじめとする四季の花々を描いた日本画作品を紹介し、花のたよりをお届けした。



会 期 2015年4月11日（土）～6月21日（日） 62日間

主 催 高崎市タワー美術館

関連事業 ① 木管アンサンブルによるミュージアムコンサート 6/5 午後6時30分～（参加者 101名）  
 ② 作品解説会 4/11、4/25、5/9、5/24、6/7、6/20 午後2時～（参加者 合計135名）  
 ③ お花咲かせ隊 募集！

出品点数 日本画・書・工芸品 63点

紹介記事 「花笑み」展 高崎市タワー美術館（両毛新聞 5月8日）  
 生命力まで描いた60点（上毛新聞 5月15日）  
 四季の花々 日本画60点（上毛新聞 5月29日）ほか

入 館 者 5,266名

刊 行 物 リーフレット 鑑賞の手引き（作品図版15点）

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ
1	岡 信孝	書・花	昭和 61 年	紙本墨書彩色／軸	55.0 × 40.0
2	岡 信孝	花(桜)	昭和 61 年	紙本金地彩色／額	42.0 × 66.0
3	中島 千波	夢殿の枝垂桜	平成4年	紙本彩色／四曲一隻	165.0 × 336.0
4	梅原 幸雄	夜桜	平成 17 年	紙本彩色／四曲一双	181.0 × 362.0
5	栗原 幸彦	深春	平成3年	紙本彩色／四曲一隻	185.0 × 366.0
6	神戸 智行	彩れる水面 桜色のソナタ	平成 15 年	紙本彩色／四曲一隻	140.0 × 320.0
7	稗田 一穂	朧夜	平成4年	紙本彩色／額	65.0 × 90.5
8	荘司 福	桜	昭和 58-63 年頃	紙本彩色／額	45.0 × 65.0
9	山本 丘人	梔子		絹本彩色／軸	43.2 × 51.0
10	川端 龍子	白薔薇		絹本彩色／額	40.0 × 50.0
11	小島 和夫	咲く	平成3年	紙本彩色／額	40.5 × 40.5
12	鈴木 華邨	春宵		紙本墨画淡彩／軸	107.0 × 41.0
13	武居 梅坡	歳寒二雅図	明治 28 年	紙本墨画／軸	90.0 × 29.5
14	武居 梅坡	白梅	明治 25 年	紙本彩色／軸	132.0 × 50.5
15	牧 進	春淡し	平成2年	紙本彩色／額	72.0 × 90.0
16	小泉 淳作	黒い牡丹花		紙本墨画金彩／額	96.5 × 45.0
17	土田 麦僊	富貴草		絹本彩色／額	43.0 × 51.5
18	平松 礼二	紫陽花	平成2年	紙本彩色／額	80.0 × 116.0
19	伊年	四季草花図屏風		紙本彩色／六曲一隻	88.0 × 219.0
20	松本 進	藪椿		紙本彩色／額	40.0 × 52.5
21	後藤 順一	雪後	昭和 63 年	紙本彩色／額	60.0 × 72.0
22	岸 竹堂	花南小禽之図		絹本彩色／軸	117.2 × 41.1
23	矢島 群芳	四季花鳥図屏風		紙本彩色／六曲一隻	120.0 × 368.0
24	武居 梅坡	四季画帖		紙本彩色／画帖	22.3 × 31.2
25	武居 梅坡	四季花鳥図	明治 24 年	絹本彩色／四幅対	132.5 × 57.3
26	武居 梅坡	雪中遊禽	明治 28 年	紙本彩色／軸	141.0 × 46.0
27	武居 梅坡	梅花鳴鶯		紙本彩色／軸	144.0 × 47.0
28	武居 梅坡	菜花双禽		紙本彩色／軸	142.0 × 47.0
29	武居 梅坡	藤花小禽		紙本彩色／軸	142.0 × 47.0
30	武居 梅坡	花開花月	明治 35 年	紙本彩色／軸	43.5 × 50.0
31	武居 梅坡	菖蒲遊禽		紙本彩色／軸	145.0 × 47.0
32	武居 梅坡	翡翠		紙本彩色／軸	143.5 × 47.0
33	武居 梅坡	蓮花飛燕		紙本彩色／軸	144.0 × 46.5
34	武居 梅坡	清夏白鴿		紙本彩色／軸	143.0 × 45.5
35	武居 梅坡	秋貴寿翫	明治 35 年	紙本彩色／軸	43.5 × 50.0
36	奥村 土牛	朝顔壳		紙本彩色／額	14.2 × 9.0
37	酒井 抱一	梅		紙本淡彩／軸	94.0 × 29.3
38	武居 梅坡	梅		紙本彩色／軸	135.0 × 62.0
39	小野 竹喬	背戸の菊図	大正4年	絹本彩色／軸	133.0 × 50.5
40	富田 溪仙	洛西花の寺図		絹本彩色／軸	128.3 × 36.5
41	岡田 為恭	春秋のうち 桜がり	安政 2-4 年	絹本彩色／軸	110.0 × 42.3
42	上村 松園	桜がり図	昭和 10 年代後半頃	絹本彩色／額	41.0 × 50.7
43	吉川 靈華	王仁		絹本彩色／軸	128.5 × 42.0

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	サイズ
44	北澤 映月	花の中	昭和 62 年	紙本彩色／額	64.5 × 50.0
45	青山 亘幹	祇園会の頃	平成元年	絹本彩色／額	162.1 × 130.3
46	高山 辰雄	月響	昭和 59 年	紙本彩色／額	59.5 × 99.0
47	酒井 抱一	春野之図		絹本彩色／軸	125.0 × 50.3
48	上野 瑞香	庭	平成 18 年	紙本彩色／パネル	91.0 × 350.0
49	齋藤 満栄	水仙		紙本彩色／額	52.2 × 64.5
50	坪内 滄明	書・雪	昭和 61 年	紙本淡彩／軸	46.0 × 59.0
51	富田 溪仙	国清路梅林		絹本彩色／軸	129.5 × 26.7
52	山口 華楊	春雪		紙本彩色／額	32.8 × 44.5
53	後藤 順一	春蔭		紙本彩色／額	45.0 × 64.5
54	平山 郁夫	高崎の春		紙本彩色／額	58.9 × 81.9
55	角田 信四郎	菜園	平成 12 年	紙本彩色／額	221.5 × 176.7
56	加藤 東一	芍薬(素描)	昭和 16 年	紙・水彩／額	59.5 × 41.0
57	松尾 敏男	白牡丹(素描)	平成 12 年	紙・水彩／額	54.5 × 73.5
58	松尾 敏男	薄明	昭和 56 年	紙本彩色／額	65.0 × 49.0
59	齋藤 満栄	芥子		紙本彩色／額	59.7 × 72.0
60	角田 信四郎	凌霄花	平成 13 年	紙本彩色／額	221.5 × 176.7
61	山本 真也	庭の秋	平成3年	紙本彩色／額	116.0 × 90.0
62	廣嶋 敬久	扉		紙本彩色／額	72.0 × 60.0
63	前端 雅峯	井伊宗観好月次茶器写	昭和 57-62 年頃	漆・木地	

## 企画展 判じ絵 江戸のなぞなぞに挑戦！ — 同時開催 涼を愉しむ

判じ絵とは、江戸時代に庶民の間で流行した言葉遊びの一種である。言葉を絵に置き換え、その言葉とはまったく無関係な同音の絵や文字で表したクイズのようなもので、「目で見るとなぞなぞ」と言われている。同音異義語の多い日本語ならではのしゃれやだじゃれが効いており、江戸時代の人々のセンス、ユーモアが感じられる。

本展覧会では、大人から子どもまで、江戸の文化に親しんでいただくとともに、その謎解きにも挑戦してもらった。

〔同時開催〕涼を愉しむ

夏、人々は水辺に涼を求め、蛍狩りなどの夕涼みや夏ならではの動物物を楽しみ過ごしてきた。本展覧会では夏の風情と涼を味わうことができる日本画を紹介した。



会 期 2015年7月4日(土)～9月6日(日) 56日間

主 催 高崎市タワー美術館

協 力 蛇足庵

後 援 高崎市教育委員会、朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J-COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

関連事業 ① 講座 岩崎均史「江戸の判じ絵」 7/26 午後2時～ (参加者 61名)

② 作品解説会 7/4、7/19、8/8、8/23、9/5 午後2時～ (参加者 合計151名)

出品点数 判じ絵(版画)53点・日本画28点

紹介記事 江戸のなぞなぞ 分かる? 「判じ絵」53点を紹介 (上毛新聞 7月25日)

判じ絵 江戸のなぞなぞに挑戦! 庶民に流行の言葉遊び (JOMO TAKATAI 7月31日)

日本画 目から『涼』 (上毛新聞 8月13日)

元祖おやじギャグ? 江戸の「判じ絵」展 (朝日新聞 9月3日) ほか

入館者 9,565名

刊行物 ワークシート



## 判じ絵

No	作品名	作家名	年代	形状	版元	展示期間
1	小町なりひらうたあはせ		宝暦頃(1751~1764)	版本		通期
2	いろは四十八字 はんじもの	歌川 重宣	嘉永2年~4年(1849~1851)	大判錦絵	若狭屋与市	前期
3	十二支のはんじもの	一鵬斎 芳藤	嘉永元年~4年(1848~1851)	大判錦絵		後期
4	役者はんじ物	五渡亭 国貞	文化9年(1812)	大判錦絵	西村屋与八	前期
5	役者名はんじもの	歌川 国安	文政頃(1818~1830)	大判錦絵	加賀屋吉右衛門	後期
6	花の江戸っ子揃 見立五人男	一勇斎 国芳	天保頃(1830~1844)	大判錦絵	川口屋長蔵	前期/後期
7	江戸名所花見はんし物(小金井)	一猛斎 芳虎	天保14年~弘化4年(1843~1847)	大判錦絵		後期
8	新板植木のはんじもの	一鵬斎 芳藤	嘉永元年~4年(1848~1851)	大判錦絵		前期
9	草花のはんし物	一英斎 芳艶	嘉永元年~4年(1848~1851)	大判錦絵		後期
10	鳥のはんじもの	一宝斎 国盛	弘化4年~嘉永3年(1847~1850)	大判錦絵	辻屋安兵衛	前期
11	けだものはんじもの	一宝斎 国盛	弘化4年~嘉永3年(1847~1850)	大判錦絵	辻屋安兵衛	後期
12	しよく類上戸はんじ物	歌川 重宣	嘉永2年~4年(1849~1851)	大判錦絵	辻屋安兵衛	前期
13	さかなのはんじもの 下	一宝斎 国盛	弘化4年~嘉永2年(1847~1849)	大判錦絵	辻屋安兵衛	後期
14	東西角力のはんじ物	一鵬斎 芳藤	嘉永2年~3年(1849~1850)	大判錦絵		前期
15	呉服はんじ物	一英斎 芳艶	嘉永元年~4年(1848~1851)	大判錦絵	鍵屋 半次郎	後期
16	子供手遊	一鵬斎 芳藤	慶應3年(1867)正月	大判藍摺		前期
17	はんじもの 角力の部		明治中期以降	大判藍摺		通期
18	はんじもの はなしかの部		明治中期以降	大判藍摺		通期
19	むしやのはんじもの	歌川 国麿	嘉永元年~4年(1848~1851)	大判錦絵	高野屋友右衛門	前期
20	八けんし当て御覧	賤丸	文政頃(1818~1830)か	大判錦絵	錦盛堂	後期
21	名代 きやうげんづくし はんじもの 上	一鵬斎 芳藤	慶應3年(1867)2月	大判藍摺	杉屋清兵衛	通期
22	名代 きやうげんづくし はんじもの 中	一鵬斎 芳藤	慶應3年(1867)2月	大判藍摺	杉屋清兵衛	通期
23	名代 きやうげんづくし はんじもの 下	一鵬斎 芳藤	慶應3年(1867)2月	大判藍摺	杉屋清兵衛	通期
24	当世流行端唄のはんじもの	一恵斎 芳幾	万延元年(1860)12月	大判錦絵	林家庄五郎	前期
25	当世流行端唄のはんじもの	一恵斎 芳幾	万延元年(1860)12月	大判錦絵	林家庄五郎	前期
26	当世はうたのはんじもの	一恵斎 芳幾	文久元年(1861)12月	大判錦絵	上州屋金蔵	前期
27	しんはん浄瑠璃はんじもの	一隣斎 芳廉	嘉永元年~4年(1848~1851)	大判錦絵	佐野屋喜兵衛	後期
28	義太夫外題考物	一梅斎 芳春	安政6年(1859)5月	大判錦絵	佐野屋富五郎	後期
29	清元外題考もの	一梅斎 芳春	安政6年(1859)5月	大判錦絵	佐野屋富五郎	後期
30	常磐津外題考物	一梅斎 芳春	安政6年(1859)5月	大判錦絵	佐野屋富五郎	後期
31	大日本六十四州絵考		江戸後期	小判摺物	鹽屋喜兵衛	通期
32	伊勢参宮無筆の道中記	順斎軒	天保2年(1831)	大判摺物		通期
33	諸開帳名号はんじもの		明治18年(1885)	大判錦絵	矢沢久吉	前期
34	善光寺御詠歌		明治時代(1868~1912)	紙本彩色		後期
35	新板年頭状絵かんがへ			小判摺物		通期
36	春さめ絵かんがゑ			小判摺物		通期
37	俳句のはんじもの	一聲斎 芳藤	天保14年~弘化4年(1843~1847)	大判錦絵		後期
38	おんなへんじ			小判摺物		前期
39	流行道化拳はんじ物	一猛斎 芳虎	弘化4年~嘉永元年(1847~1848)	大判錦絵		後期
40	盲人八人芸		文政8年(1825)	大判墨摺	舞田屋利作	通期
42	志ん板 福来家のはんし物	一鵬斎 芳藤	慶應3年(1867)7月	大判錦絵三枚続	英屋文蔵	前期
41	東洋民俗博物館 講演会案内	豊誠	昭和7年(1932)			通期
43	懸賞絵詞(「近事画報 77号」付録)		明治39年(1906)	大判石版		前期
44	画暦(「近事画報 77号」付録)		明治39年(1906)	大判石版		後期
45	慰問玉手箱		昭和18年(1943)~			後期
46	絵入十題願			墨摺経本	日吉伸久	通期
47	観音盲目和讃(絵文字経)		近代	墨摺経本		通期
48	吉祥陀羅尼		近代	小判墨摺		通期

No	作品名	作家名	年代	形状	版元	展示期間
49	随求陀羅尼		近代	小判墨摺		通期
50	南部絵暦		文久2年(1862)	大判墨摺	舞田屋利作	通期
51	南部絵暦摺物	晴風	明治24年(1891)	大判錦絵		後期
52	田山暦		天明3年(1783)		田山善八	前期
53	田山暦(複製)		天明3年(1783)		田山善八	後期
						前期:7/4~8/2 後期:8/4~9/6

涼を愉しむ

No	作家名	作品名	制作年	材質技法/形状	サイズ	所蔵先
1	鎗木 清方	紫暎	昭和20年(1945)	絹本彩色/額	57.5 × 71.6	株式会社ヤマタネ
2	牧 進	今朝の夏	平成9年(1997)	紙本彩色/額	116.7 × 90.9	
3	石踊 達哉	夏の訪れ	平成3年(1991)	紙本彩色/額	72.2 × 90.3	株式会社ヤマタネ
4	上村 松篁	八仙花	昭和48年(1973)	紙本彩色/額	45.5 × 60.3	
5	齋藤 満栄	朝顔	平成3年(1991)	紙本彩色/額	31.0 × 40.5	
6	上村 松園	京美人之図	昭和7-10年頃	絹本彩色/額	39.0 × 51.0	株式会社ヤマタネ
7	鎗木 清方	夏ざしき	昭和27年(1952)	絹本彩色/額	96.5 × 57.5	当館寄託
8	鎗木 清方	夏の武家屋敷	昭和32年(1957)	絹本彩色/軸	56.8 × 55.3	株式会社ヤマタネ
9	鎗木 清方	文の使	大正4年(1915)	絹本彩色/軸	38.5 × 28.5	
10	上村 松園	夕べ	昭和15年頃(c.1940)	絹本彩色/軸	43.1 × 51.0	
11	小林 古径	常夏	昭和26年(1951)	紙本彩色/軸	49.7 × 60.3	
12	中村 正義	樹間	昭和44年(1969)	紙本彩色/額	72.0 × 111.5	株式会社ヤマタネ
13	岩澤 重夫	燦	昭和51年(1976)	紙本彩色/額	160.5 × 111.5	当館寄託
14	工藤 甲人	ほたる野	昭和50年(1975)	紙本彩色/額	64.5 × 90.5	当館寄託
15	石踊 達哉	短夜	平成3年(1991)	紙本彩色/額	100.0 × 80.2	株式会社ヤマタネ
16	林 功	月白風清	平成6年(1994)	絹本彩色/額	99.0 × 99.0	
17	横山 大観	虫の声	昭和27年頃(c.1952)	絹本彩色/軸	50.8 × 66.0	
18	奥村 土牛	秋(すすき)		紙本彩色/額	60.0 × 43.0	
19	岩倉 寿	秋への風	昭和55年(1980)	紙本彩色/額	33.0 × 45.0	株式会社ヤマタネ
20	大森 運夫	曼珠沙華	昭和54年(1979)	紙本彩色/額	71.8 × 51.9	株式会社ヤマタネ
21	小室 翠雲	虞山溪嵐図	大正元年(1912)	絹本金地墨画/二曲一 双のうち左隻	180.0 × 174.0	当館
22	山元 春挙	夏溪瀑布	明治29年頃(c.1896)	絹本彩色/軸	126.5 × 50.5	株式会社ヤマタネ
23	堂本 印象	涼声		紙本彩色/軸	63.0 × 73.3	当館寄託
24	高橋 常雄	懸涼	昭和61年(1986)	紙本彩色/四曲一隻	170.0 × 370.0	株式会社ヤマタネ
25	牧 進	涼涼	平成9年(1997)	紙本彩色/額	80.3 × 130.3	
26	加藤 丈史	みおつくし	平成26年(2014)	紙本彩色/額	192.0 × 238.0	当館寄託
27	神戸 智行	イノセントワールド	平成15年(2003)	紙本彩色/パネル6枚	190.0 × 546.0	当館寄託
28	東 俊行	流転	平成5年(1993)	紙本彩色/六曲一双	各 171.0 × 369.0	株式会社ヤマタネ

## 企画展 ふろしき原画—包むための絵

ふろしきは、1枚の布だが、大きさや形に応じて自在にものを包み、収納、保存に使われるだけではなく、不定形のものでも包むことで安定して保持し、運搬の利便性も高める優れた機能を持っている。その図様は、包んだ状態での美的効果を前提として、家紋や吉祥文などの意匠が用いられてきたが、進物として用いられるようになった頃から、広げた状態での美観を考慮したものとなった。

原画は、明治34年に創業した京都の風呂敷・袱紗問屋、宮井株式会社が所蔵するが、顧客からの要望をきっかけとして画家の意匠によるふろしき製作を始め、その第1号は京都の老舗店によって開催される“洛趣会”への出品のために堂本印象に依頼した春夏秋冬の原画であった。その後、山口蓬春や福田平八郎、棟方志功、東山魁夷など、著名な画家の原画によるふろしきを数多く手掛けた。

1枚の布であるふろしきがものを包むとき、その図様は立体的に変化し、広げた際の絵柄とはまた異なる表情を見せる。本展覧会では、画家が描いた原画とともに、包んだ状態でふろしきがどのような表情を見せるのか、その造形変化を紹介した。



会 期	2015年9月19日(土)～11月23日(月・祝) 56日間
主 催	高崎市タワー美術館
共 催	天童市美術館、華鶴大塚美術館
特別協力	宮井株式会社
助 成	一般社団法人 自治総合センター
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎、日本風呂敷協会
関連事業	① 植物園でふろしき染め 10/24 午前10時～ (参加者 19名) ② はじめてのふろしき包み 10/25 午前10時～ (参加者 16名) ③ 作品解説会 9/19、10/4、10/17、11/8、11/21 午後2時～ (参加者 合計63名) ④ 群馬県民の日 無料開放 10/28 (参加者 372名)
出品点数	日本画88点・複製ふろしき31点・製品ふろしき6点
紹介記事	風呂敷 原画と見比べて 高崎 京都の間屋所蔵など (読売新聞 10月19日) ほか
入 館 者	4,223名
刊 行 物	図録(作品図版82点、本文104頁)、リーフレット(出品目録) ごあいさつ/宮井株式会社のコレクションと概要(小山祥明)/図版[第1章・第2章・第3章]/コラム ふろしきの製造工程 型友禅/立体絵画“ふろしき”(野本 淳)/作家略歴・作品目録/出品目録

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	寸法
1	堂本印象	春 遠山桜	昭和 27 年(1952)	紙本墨画	68.0 × 68.0
2	堂本印象	夏 朝顔	昭和 27 年(1952)	紙本彩色	67.5 × 68.0
3	堂本印象	秋 紅葉	昭和 27 年(1952)	紙本彩色／額装	66.5 × 67.0
4	堂本印象	冬 松に雪	昭和 27 年(1952)	紙本墨画／額装	67.5 × 67.5
5	堂本印象	静物	昭和 29 年(1954)頃	紙本彩色／額装	51.5 × 51.5
6	山口蓬春	草花	昭和 29 年(1954)	紙本彩色／額装	66.0 × 66.0
7	加藤栄三	紅葉	昭和 29 年(1954)頃	紙本彩色／額装	68.0 × 70.0
8	奥村土牛	鶴(巢ごもりの鶴)	昭和 29 年(1954)頃	紙本彩色／額装	54.5 × 63.5
9	宇田荻邨	紅葉	昭和 29 年(1954)頃	紙本彩色／額装	54.5 × 56.9
10	小野竹喬	桐の芽	昭和 29 年(1954)頃	紙本彩色／額装	45.0 × 60.0
11	菊池契月	唐獅子	昭和 29 年(1954)頃	紙本彩色軸装	59.9 × 57.0
12	佐野猛夫	構成	昭和時代	紙本彩色／額装	68.6 × 67.0
13	伊東深水	富岳 指図画	昭和 33 年(1958)頃	紙本彩色	27.5 × 26.3
14	東山魁夷	カーネーション	昭和 33 年(1958)頃	紙本彩色	53.5 × 58.8
15	小合友之助	波	昭和時代	紙本彩色／額装	69.0 × 70.0
16	小合友之助	磯	昭和 33 年(1958)頃	紙本墨画／額装	66.0 × 66.0
17	小合友之助	スキに白鷺	昭和 34 年(1959)頃	紙本彩色	76.2 × 75.5
18	稲垣稔次郎	松竹梅	昭和 30 年代	紙本彩色	70.5 × 70.5
19	谷内六郎	砂山	昭和 35 年(1960)頃	紙本彩色／額装	59.1 × 60.8
20	西山英雄	富士	昭和時代	紙本彩色／額装	65.0 × 70.0
21	望月春江	りんどう	昭和 38 年(1963)頃	紙本彩色	73.2 × 72.9
22	福田平八郎	富士山	昭和 39 年(1964)	紙本彩色／額装	56.0 × 54.0
23	池田遙邨	双鶴	昭和 40 年(1965)頃	紙本彩色／額装	40.6 × 40.2
24	福田平八郎	若松	昭和 42 年(1967)	紙本彩色／額装	72.0 × 56.5
25	池田遙邨	宝来山	昭和 42 年(1967)頃	紙本彩色／額装	44.5 × 32.5
26	堂本印象	松	昭和 47 年(1972)頃	紙本彩色／額装	68.0 × 65.0
27	堂本印象	竹	昭和 47 年(1972)頃	紙本彩色／額装	68.0 × 66.0
28	堂本印象	梅	昭和 47 年(1972)頃	紙本彩色／額装	68.0 × 66.0
29	堂本印象	寿	昭和 47 年(1972)頃	紙本墨書彩色／額装	68.0 × 68.0
30	上村松篁	若松	昭和 51 年(1976)頃	紙本彩色／額装	35.0 × 29.0
31	松尾敏男	紅白梅	平成 4 年(1992)頃	紙本彩色	45.0 × 45.1
32	榊 莫山	内平外成 地平天成	平成元年(1989)	紙本墨書／額装	43.5 × 43.5
33	松林桂月	白百合(扇面)	昭和 29 年(1954)頃	紙本金地彩色軸装	44.5 × 50.5
34	堅山南風	洋蘭(カトレア)	昭和 29 年(1954)頃	絹本彩色／額装	53.8 × 67.2
35	棟方志功	柳緑花紅頌 松鷹の柵(松鷹譜 1月)	昭和 31 年(1956)	紙本木版／額装	51.0 × 49.5
36	棟方志功	柳緑花紅頌 梅鶯の柵(梅鶯譜 2月)	昭和 31 年(1956)	紙本木版／額装	51.0 × 49.0
37	棟方志功	柳緑花紅頌 鯉鱈の柵(杜鯉譜 5月)	昭和 31 年(1956)	紙本木版／額装	51.0 × 49.5
38	棟方志功	柳緑花紅頌 萩菊の柵(蘭萩譜 9月)	昭和 31 年(1956)	紙本木版／額装	51.0 × 49.5
39	棟方志功	四君子	昭和 33 年(1958)頃	紙本彩色／額装	37.0 × 34.0
40	松林桂月	四君子	昭和 33 年(1958)頃	絹本墨画軸装	44.5 × 50.5
41	堅山南風	鯉	昭和 33 年(1958)頃	絹本彩色／額装	55.0 × 60.5
42	松林桂月	梅に南天	昭和 36 年(1961)頃	絹本彩色／額装	47.0 × 56.0
43	山口華楊	みかん	昭和 41 年(1966)頃	紙本彩色／額装	56.0 × 45.0
44	山口華楊	鶴	昭和 44 年(1969)頃	紙本彩色／額装	28.4 × 22.8
45	池田遙邨	松と富士	昭和 45 年(1970)頃	紙本彩色／額装	40.0 × 52.8
46	堅山南風	椿	昭和 46 年(1971)頃	紙本彩色／額装	26.0 × 23.0
47	山口華楊	萌春(わらび)	昭和 48 年(1973)頃	紙本彩色／額装	54.6 × 69.8
48	山口華楊	洋蘭	昭和時代	紙本彩色／額装	59.5 × 44.5
49	中村貞以	菊二本	昭和 49 年(1974)頃	紙本彩色／額装	44.5 × 32.5

No	作家名	作品名	制作年	材質技法／形状	寸法
50	浜田 観	薰梅	昭和 49 年(1974)頃	紙本彩色／額装	52.5 × 42.0
51	麻田辨自	白梅	昭和 49 年(1974)頃	紙本彩色／額装	36.5 × 44.0
52	池田遙邨	保津峡	昭和 50 年(1975)頃	紙本彩色／額装	40.5 × 52.5
53	前田青邨	梅	昭和 51 年(1976)頃	紙本金地彩色／額装	26.5 × 23.5
54	前田青邨	紅白梅	昭和 52 年(1977)頃	紙本彩色／額装	41.0 × 53.0
55	堅山南風	鉢と菊	昭和 52 年(1977)頃	紙本彩色／額装	44.6 × 37.0
56	松尾敏男	牡丹	昭和 54 年(1979)頃	紙本彩色／額装	31.0 × 40.0
57	松尾敏男	首夏	昭和 54 年(1979)頃	紙本彩色／額装	40.0 × 31.0
58	松尾敏男	秋香	昭和 54 年(1979)頃	紙本彩色／額装	40.0 × 31.0
59	松尾敏男	瑞祥富士	昭和 54 年(1979)頃	紙本彩色／額装	40.0 × 31.0
60	牧 進	洋蘭	昭和 49 年(1974)頃	紙本金地彩色／額装	31.0 × 40.5
61	河合卯之助	梧桐	昭和時代	紙本彩色	35.0 × 76.0
62	河合卯之助	猿	昭和時代	紙本彩色	33.2 × 75.5
63	山口華楊	子歳の春	昭和 11 年(1936)	絹本彩色軸装	38.0 × 45.3
64	山口華楊	玉兔	昭和 14 年(1939)	絹本彩色軸装	42.3 × 51.0
65	山口華楊	子(扇面)	昭和 34 年(1959)	紙本彩色	35.5 × 54.0
66	山口華楊	丑(扇面)	昭和 35 年(1960)	紙本彩色	39.5 × 57.5
67	山口華楊	寅(扇面)	昭和 36 年(1961)	紙本彩色	30.8 × 59.0
68	山口華楊	卯(扇面)	昭和 37 年(1962)	紙本彩色	34.5 × 60.5
69	山口華楊	辰(扇面)	昭和 38 年(1963)	紙本彩色	30.0 × 55.5
70	山口華楊	巳(扇面)	昭和 39 年(1964)	紙本彩色	33.0 × 51.0
71	山口華楊	午(扇面)	昭和 40 年(1965)	絹本彩色	39.2 × 56.5
72	山口華楊	未(扇面)	昭和 41 年(1966)	絹本彩色	39.2 × 56.5
73	山口華楊	申(扇面)	昭和 42 年(1967)	紙本彩色	32.5 × 56.0
74	山口華楊	酉(扇面)	昭和 43 年(1968)	紙本彩色	33.5 × 56.0
75	山口華楊	戌(扇面)	昭和 44 年(1969)	紙本彩色	39.2 × 60.5
76	山口華楊	亥(扇面)	昭和 45 年(1970)	紙本彩色	29.7 × 44.0
77	上村淳之	野兔	昭和 61 年(1986)	紙本彩色／額装	31.0 × 40.0
78	上村淳之	辰	昭和 62 年(1987)	紙本彩色／額装	31.0 × 40.0
79	上村淳之	巳	昭和 63 年(1988)	紙本金地彩色／額装	24.5 × 32.5
80	上村淳之	午	平成元年(1989)	紙本彩色	39.7 × 60.0
81	上村淳之	未	平成 2 年(1990)	紙本彩色	24.0 × 33.0
82	上村淳之	申	平成 3 年(1991)	紙本彩色	38.0 × 45.2
83	上村淳之	小国鶏	平成 4 年(1992)	紙本彩色／額装	31.0 × 39.5
84	上村淳之	戌	平成 5 年(1993)	紙本彩色／額装	37.0 × 44.0
85	上村淳之	亥	平成 6 年(1994)	紙本彩色／額装	27.0 × 40.0
86	上村淳之	子	平成 7 年(1995)	紙本彩色	38.0 × 46.0
87	上村淳之	丑	平成 8 年(1996)	紙本彩色	38.0 × 45.2
88	上村淳之	寅	平成 9 年(1997)	紙本彩色／額装	38.0 × 45.2

参考出品(ふろしき製品)

No	原画	原画作家名	原画作品名	製作年	製品素材	備考
89	1	堂本印象	春遠山桜	平成6年(1994)	正絹	洛趣会出品
90	4	堂本印象	冬松に雪	平成6年(1994)	正絹	洛趣会出品
91	21	福田平八郎	富士	昭和41年(1966)	正絹	
92	24	池田遙邨	宝来山		正絹	
93	19	西山英雄	富士		合化織	
94	22	池田遙邨	双鶴		正絹	

ふろしき包み見本

No	原画	原画作家名	原画作品名	包み方名
95	1	堂本印象	春 遠山桜	お弁当包み(手提げ)
96	2	堂本印象	夏 朝顔	すいか包み
97	3	堂本印象	秋 紅葉	束ね包み
98	5	堂本印象	静物	びん包み(1本)
99	6	山口蓬春	草花	ふたつ包み
100	7	加藤栄三	紅葉	お使い包み
101	9	小野竹喬	桐の芽	平包み
102	10	菊池契月	唐獅子	シンプルバッグ
103	11	佐野猛夫	構成	おけいこバッグ
104	13	東山魁夷	カーネーション	隠し包み
105	16	小合友之助	ススキに白鷺	ブック包み
106	17	稲垣稔次郎	松竹梅	びん包み(1本)
107	18	谷内六郎	砂山	隠し包み
108	19	西山英雄	富士	合わせ包み(びん2本)
109	20	望月春江	りんどう	花びら包み
110	21	福田平八郎	富士山	うさぎのしっぽ包み
111	26	堂本印象	竹	ふたつ包み
112	27	堂本印象	梅	お弁当包み(手提げ)
113	29	上村松篁	若松	平包み
114	30	松尾敏男	紅白梅	バスケット包み
115	31	榊 莫山	内平外成 地平天成	花びら包み
116	33	松林桂月	白百合(扇面)	シンプルバッグ(巾着形)
117	34	堅山南風	洋蘭(カトレア)	バスケット包み
118	40	松林桂月	四君子	ショルダーバッグ
119	41	堅山南風	鯉	シンプルバッグ(しずく形)
120	42	松林桂月	梅に南天	リボン包み
121	47	山口華楊	萌春(わらび)	シンプルバッグ
122	48	山口華楊	洋蘭	ワイン包み
123	49	中村貞以	菊二本	びん包み(2本)
124	50	浜田 観	薫梅	平包み
125	54	前田青邨	紅白梅	びん包み(1本)

\*原画作品・参考出品はすべて宮井株式会社蔵、包み見本のふろしきは展覧会のために作製。

## 企画展 トップランナーⅡ 日本画の若き力

「日本画」というと古い絵をイメージされる場合があるが、日本画は過去のものではなく、現代の日本画家たちは伝統的な技法を学びつつ、そこに留まることなく新たな世界へと展開させている。

文化財の保存修復で培った手法により、水面に広がる風と光の煌めきを描く狩俣公介。野生動物の一瞬の姿をとらえ、緊迫感ある構図に静と動を交錯させる川又聡。マンボウなどの愛らしい生物をモチーフに、穏やかさと緊張感を共存させる松岡歩。内外に取材したスケールの大きな自然と光を、心象風景へと昇華させる松村公太。

1978年生まれの4名は、奇をてらうことなく、堅実な歩みでそれぞれの画風を確立している。本展覧会では、今後の日本画界を牽引するトップランナーとして注目を集める作家たちによる静謐で力強い作品を紹介し、いまを生きる日本画の魅力に迫った。



**会 期** 2015年12月5日(土)～2016年1月31日(日) 43日間

**主 催** 高崎市タワー美術館

**後 援** 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

**関連事業** ① 出品作家によるギャラリートーク

12/19 午後2時～ 狩俣公介・松村公太 (参加者 61名)

1/9 午後2時～ 川又聡・松岡歩 (参加者 61名)

② 作品解説会 12/5、1/17、1/30 午後2時～ (参加者 合計58名)

**出品点数** 日本画45点

**紹介記事** トップランナーⅡ 日本画の若き力 (新美術新聞 12月15日)

若手4人の日本画45点 (上毛新聞 1月8日)

日本画のニューウェーブ BEST55 (アートコレクターズ No.82 1月号) ほか

**入館者** 3,673名

**刊行物** 図録(図版26点、本文32頁)

ごあいさつ／狩俣公介〔作家略歴・図版〕／川又聡〔作家略歴・図版〕／松岡歩〔作家略歴・図版〕／松村公太〔作家略歴・図版〕／出品目録

## 狩俣公介

No	作品名	制作年	初出展覧会	材質技法／形状	内寸(縦×横・cm)	所蔵者
1	寒暄	2008	第 63 回春の院展	紙本彩色／額装	100.0×100.0	
2	煙舞	2009	第 64 回春の院展	紙本彩色／額装	100.0×100.0	
3	流麗	2010	再興第 95 回院展	紙本彩色／額装	162.0×162.0	
4	風影	2012	第 67 回春の院展	紙本彩色／額装	100.0×100.0	個人蔵
5	風影	2013	第 4 回采の会	紙本彩色／六曲一隻	150.0×330.0	
6	瀑声	2014	第 69 回春の院展	紙本彩色／額装	150.0×75.0	個人蔵
7	閑寂	2014	再興第 99 回院展	紙本彩色／額装	172.0×210.0	
8	蝶生	2015	幻瞬－狩俣公介日本画展	紙本彩色／額装	72.7×91.0	個人蔵
9	波濤	2015	幻瞬－狩俣公介日本画展	紙本彩色／額装	80.3×100.0	
10	残響	2015	第 70 回春の院展／奨励賞	紙本彩色／額装	100.0×100.0	
11	暁光	2015	清風流水－狩俣公介日本画展	紙本彩色／額装	53.0×65.2	個人蔵
12	那智滝	2015		紙本彩色／額装	116.7×91.0	個人蔵

## 川又 聡

No	作品名	制作年	初出展覧会	材質技法／形状	内寸(縦×横・cm)	所蔵者
13	世界	2007	東京藝術大学大学院修了制作	紙本彩色／額装	181.8×227.3	東京藝術大学大学美術館
14	終焉	2009	東京藝術大学大学院博士課程修了制作	紙本彩色／六曲一隻	194.0×390.0	個人蔵
15	風天	2009	佐藤国際文化育英財団第 18 回奨学生美術展	絹本彩色／額装	105.0×156.0	佐藤美術館
16	蹄	2011	第 2 回川又聡日本画展	絹本彩色／額装	78.0×105.0	個人蔵
17	翼	2011	G6 展 2012	絹本彩色／額装	60.6×90.9	
18	薫風	2012	ARTFAIRTOKYO2013	絹本彩色／風炉先屏風	75.0×180.0	個人蔵
19	白虎	2012		紙本彩色／軸装	53.0×65.2	個人蔵
20	梅月夜	2013	第 3 回川又聡日本画展	絹本彩色／額装	90.9×60.6	個人蔵
21	月夜	2013	風凜の会 2013	絹本彩色／軸装	51.0×57.6	個人蔵
22	誘い	2013	風凜の会 2013	絹本彩色／額装	27.3×22.0	個人蔵

## 松岡 歩

No	作品名	制作年	初出展覧会	材質技法／形状	内寸(縦×横・cm)	所蔵者
23	月の部屋	2004	第 9 回新生展／新生賞(2005)	紙本彩色／額装	91.0×116.7	個人蔵
24	寂寞	2006	第 12 回松伯美術館花鳥画展／大賞	紙本彩色／額装	130.3×193.9	個人蔵
25	水の部屋	2007	第 62 回春の院展	紙本彩色／額装	100.0×100.0	
26	星の音	2009	松岡歩展	紙本彩色／額装	80.3×80.3	個人蔵
27	浮游	2010	ARTAWARDNEXT	紙本彩色／額装	97.0×193.9	
28	悠々	2011	再興第 96 回院展	紙本彩色／額装	162.0×162.0	
29	星眠	2012	－優々のとき－松岡歩日本画展	紙本彩色／額装	65.2×65.2	個人蔵
30	群影	2013	第 68 回春の院展／春季展賞(郁夫賞)	紙本彩色／額装	100.0×100.0	個人蔵
31	息吹	2013	生命からのぬくもり松岡歩日本画展(2014)	紙本彩色／六曲一隻	168.0×348.0	
32	群生	2014	再興第 99 回院展／奨励賞・天心記念茨城賞	紙本彩色／額装	181.8×227.3	
33	星眠図屏風	2015	屏風展	絹本彩色／二曲一隻	166.5×183.6	
34	早晨	2015	トップランナーⅡ日本画の若き力	絹本彩色／四曲一隻	148.0×300.0	



## 松村公太

No	作品名	制作年	初出展覧会	材質技法／形状	内寸(縦×横・cm)	所蔵者
35	恒河	2005	再興第 90 回院展	紙本彩色／額装	181.8×227.3	
36	不夜城	2009	再興第 94 回院展	紙本彩色／額装	181.8×227.3	
37	上海	2010	第 65 回春の院展	紙本彩色／額装	100.0×100.0	
38	光渡り	2010	松村公太作品展－永遠の途中(2012)	紙本彩色／額装	72.7×60.6	個人蔵
39	兆し	2010	再興第 95 回院展	紙本彩色／額装	162.0×162.0	
40	島渡り	2012	第 67 回春の院展	紙本彩色／額装	100.0×100.0	
41	島人	2012	再興第 97 回院展	紙本彩色／額装	181.8×227.3	
42	段	2013	第 68 回春の院展	紙本彩色／額装	150.0×75.0	個人蔵
43	環	2013	再興第 98 回院展	紙本彩色／額装	181.8×227.3	
44	湖韻	2014	第 69 回春の院展	紙本彩色／額装	100.0×100.0	個人蔵
45	日照雨	2015	第 70 回春の院展	紙本彩色／額装	150.0×75.0	

## 企画展 伊東深水展

大正・昭和と移りゆく時代の中で、女性の美を追求し近代美人画に新境地を切り拓いた伊東深水（1898～1972）。流麗でかつ力強い線や透明感のある肌色など、その高い芸術性とともに、旺盛な探求力と鋭い感性で時代の風俗・流行をも描きこみ、モダンで品格のある画風をつくりあげた。

本展覧会では、初期の代表作《指》を含む本画 23 点のほか、「深水美人」の素顔ともいえる素描を選びすぐりご紹介した。



会 期	2016年2月13日(土)～3月27日(日) 38日間
主 催	高崎市タワー美術館
企画協力	株式会社アートワン
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎
関連事業	① 講演会 鬼頭美奈子「3つのポイントで楽しむ深水芸術」 3/5 午後2時～ (参加者 65名) ② 作品解説会 2/13、2/28、3/13、3/26 午後2時～ (参加者 合計224名)
出品点数	日本画(本画)23点・素描画46点
紹介記事	企画展「伊東深水展」 大正から昭和の女性美 (JOMO TAKATAI 2月5日) リアリズムが生む気品と色香 「伊東深水展」高崎市タワー美術館 (産経新聞 3月13日) 美の履歴書442 「指」伊東深水 指輪を見つめる思いは (朝日新聞 3月16日) 深水の魅力に迫る 高崎で企画展 (上毛新聞 3月24日) ほか
入館者	8,251名

No	作品名	制作年	初出展覧会	材質技法／形状	サイズ
1	浄晨	1930年(昭和5)	第11回帝展	絹本着色／額装	215.0×140.0
2	朝顔			額装	72.5×64.0
3	秋の庭			額装	60.5×54.5
4	美人図屏風 ことつ・鏡の前	1928(昭和3)		紙本着色／二曲一双	(各)146.0×144.0
5	春宵			額装	79.0×73.0
6	春宵	1955頃(昭和30頃)		絹本着色／額装	49.5×57.0
7	花吹雪			額装	72.5×57.5
8	さくら(未完成作)	1939(昭和14)		紙本金地着色／六曲一双	(各)162.5×366.0
9	祇王寺の秋			額装	136.0×93.0
10	紅葉狩り			額装	104.5×68.0
11	指	1922(大正11)	平和記念東京博覧会美術展・二等銀牌	紙本着色／軸装	170.0×110.5
12	舞			額装	60.5×54.5
13	滝の白糸			額装	99.5×114.0
14	愚痴	1959(昭和34)	第2回新日展	紙本着色／額装	144.5×116.0
15	舞			額装	72.5×64.0
16	都鳥			額装	60.5×54.5
17	春の宵(雪月花三部作の花)	1961(昭和36)	画道50年記念伊東深水展	紙本着色／額装	132.5×104.0
18	緑蔭			額装	54.5×47.0
19	雛妓			額装	54.5×47.0
20	楽屋	1954(昭和29)		紙本着色／額装	75.0×52.5
21	楽屋			額装	60.5×54.5
22	春宵(東おどり)	1954(昭和29)	清方・深水・紫明風俗画展	紙本金地着色／四曲一双	(各)174.0×261.0
23	舞			額装	77.0×87.5
24	鏡獅子	1934(昭和9)	第15回帝展	絹本着色／額装	202.5×168.0
25	聞香			額装	60.5×54.5
26	笠森お仙	1917(大正6)		絹本着色／額装	110.0×94.5
27	黒髪			額装	54.5×47.0
28	化粧			額装	47.0×54.5
29	暮方	1932(昭和7)	第1回青々会展	絹本着色／額装(二面)	(各)175.5×117.5
30	爪			額装	60.5×54.5
31	蚊帳			額装	87.5×77.0
32	ポーズ				60.5×54.5
33	麗日				54.5×47.0
34	艶姿			額装	60.5×54.5
35	好日			額装	72.5×64.0
36	清水			額装	72.5×64.0
37	晚涼	1935(昭和10)	多聞堂新作画展	絹本着色／軸装	48.5×58.0
38	団扇	1939頃(昭和14頃)		絹本着色／額装	50.5×49.5
39	にわか雨			額装	65.5×76.0
40	傘美人			額装	54.5×47.0
41	吉野太夫			額装	54.5×47.0
42	伽羅	1955頃(昭和30頃)		絹本着色／額装	49.0×57.5
43	つれづれ			額装	134.5×103.0
44	姿見	1958(昭和33)		紙本着色／額装	76.0×54.5
45	雪積む宵			額装	72.5×51.5
46	黒髪			額装	54.5×47.0
47	ささやき			額装	60.5×54.5

No	作品名	制作年	初出展覧会	材質技法／形状	サイズ
48	初姿			額装	54.5×47.0
49	花			額装	45.0×39.0
50	裸婦			額装	72.5×57.5
51	湯気	1957頃(昭和32頃)		紙本着色／額装	74.5×59.5
52	湯気			額装	60.5×54.5
53	黒髪	1958(昭和33)		紙本着色／額装	85.0×76.0
54	縫い針			額装	45.0×39.0
55	針仕事	1958(昭和33)		紙本着色／額装	75.0×69.0
56	菊を活ける			額装	54.5×47.0
57	風			額装	76.0×66.5
58	紫陽花			額装	72.5×57.5
59	四季美人・夏	1954頃(昭和29頃)		絹本着色／額装	65.0×71.5
60	清涼			額装	77.0×87.5
61	洋装婦人			額装	60.5×54.5
62	宋磁	1955(昭和30)	第11回日展	紙本着色／額装	168.5×168.5
63	少女			額装	54.5×60.5
64	花柄のワンピース			額装	60.5×54.5
65	黒いドレス	1956(昭和31)	第7回日月社展	紙本着色／額装	137.0×95.0
66	黒いドレス			額装	128.0×97.0
67	赤と白 A・B	1956(昭和31)	第4回日月社小品展	紙本着色／額装(一対)	(各)75.0×60.0
68	イヤリング			額装	60.5×54.5
69	二人婦人像			額装	45.0×39.0

## 2. 教育普及事業

### 年度・展覧会別 関連事業一覧

事業実施数（参加人数）

年度	展覧会名	講演会等	ワークショップ	その他イベント	作品解説会	計
平成23年度	大正ロマン昭和モダン				5 (81)	5 (81)
	花にみる日本の美		2 (12)		5 (118)	7 (130)
	トップランナー	1 (57) <sup>※1</sup>	2 (50)	1 (84) <sup>※2</sup>	3 (46)	7 (237)
	めでたきもの			1 (62)	5 (72)	6 (134)
	平山郁夫展	1 (106)			5 (323)	6 (429)
2011	計	2 (163)	4 (62)	2 (146)	23 (640)	31 (1011)
平成24年度	京都を彩るかたちという	1 (55)	1 (32) <sup>※3</sup>		4 (88)	6 (175)
	濱田庄司展	1 (62)			7 (145)	8 (207)
	金銀の光彩	1 (60)			5 (153)	6 (213)
	風の画家 中島潔			2 (140) <sup>※4</sup>	9 (582)	11 (722)
	高崎市文化賞受賞作家展	2 (81) <sup>※1</sup>			2 (28)	4 (109)
2012	計	5 (258)	1 (32)	2 (140)	27 (996)	35 (1426)
平成25年度	スパーク				6 (73)	6 (73)
	アート昆虫ワールド		1 (20)	1 (18) <sup>※5</sup>	6 (37)	8 (75)
	黄金期の浮世絵	1 (72)			4 (161)	5 (223)
	文化勲章	1 (92)			4 (170)	5 (262)
	風景を訪ねて				4 (106)	4 (106)
2013	計	2 (165)	1 (20)	1 (18)	24 (547)	28 (740)
平成26年度	合羽版 森義利の世界	1 (42)			6 (67)	7 (109)
	画家 安野光雅展				5 (181)	5 (181)
	児玉希望	1 (55)			4 (70)	5 (125)
	日本絵画の精華			1 (58) <sup>※6</sup>	5 (213)	6 (271)
	美術でたどる物語	1 (105)			4 (172)	5 (277)
2014	計	3 (202)		1 (58)	24 (703)	28 (963)
平成27年度	花笑み			1 (101)	6 (135)	7 (236)
	判じ絵・涼を愉しむ	1 (61)			5 (151) <sup>※7</sup>	6 (212)
	ふろしき原画		1 (16)	1 (19) <sup>※8</sup>	5 (63)	7 (98)
	トップランナーⅡ	2 (122) <sup>※1</sup>			3 (58)	5 (180)
	伊東深水展	1 (65)			4 (224)	5 (289)
2015	計	4 (247)	1 (16)	2 (120)	23 (631)	30 (1015)

便宜上、異なる種別の事業が混在しないよう作表した。注記は以下のとおり。

※1 作家によるギャラリートーク ※2 ギャラリートークとライブペインティング ※3 風呂敷の歴史と包み方 ※4 サイン会 ※5 昆虫探索撮影会 ※6 オープニングセレモニー ※7 学芸員によるスライドトーク ※8 植物園でふろしき染め

## 講演会／作家によるギャラリートーク等

### 1. 出品作家によるギャラリートーク（企画展 トップランナー）

日 時 ①2011年9月18日（日） 午後2時～ 福井江太郎・加藤丈史

②2011年10月23日（日） 午後2時～ 神戸智行・岩田壮平

参加者 ①84名、②57名

### 2. 記念講演会 「平山郁夫とともに」（特別展 平山郁夫展）

日 時 2012年3月10日（土） 午後2時～

講 師 平山美知子（平山郁夫シルクロード美術館館長）・小川貞夫（彌生画廊代表者）

参加者 106名

### 3. 講演会 「現代空間における唐長の唐紙」（企画展 京都を彩るかたちといろ）

日 時 2012年5月27日（日） 午後2時～

講 師 千田聖二（唐長11代目長男次期当主）

参加者 55名

### 4. 講演会 「益子焼と濱田窯、震災と復興」（企画展 濱田庄司展）

日 時 2012年8月5日（日） 午後2時～

講 師 濱田友緒（陶芸家、益子参考館館長、濱田庄司孫）

参加者 62名

### 5. 講演会 「現代につづく日本画材の魅力」（企画展 金銀の光彩展）

日 時 2012年11月17日（土） 午後2時～

講 師 神戸智行（日本画家）

参加者 60名

### 6. 出品作家による作品解説（企画展 高崎市文化受賞作家展）

日 時 ①2013年3月2日（土） 午後2時～ 藍田正雄（染色家）

②2013年3月9日（土） 午後2時～ 吉村晴子（染色家）

参加者 ①22名、②59名

### 7. 講演会 「歌麿とその時代 浮世絵は謎がいっぱい」（企画展 歌麿とその時代展）

日 時 2013年11月9日（土） 午後2時～

講 師 中右 瑛（国際浮世絵学会常任理事）

参加者 72名

8. 講演会 「私の歩んだ道—文化勲章を受章して」 (企画展 文化勲章)  
日 時 2014年1月18日(土) 午後2時～  
講 師 松尾敏男(日本画家、2012年文化勲章受章者)  
参加者 92名
9. 講演会 「森義利の合羽版」 (企画展 森義利の世界)  
日 時 2014年5月31日(土) 午後2時～  
講 師 松山龍雄(『版画藝術』編集主幹)  
参加者 42名
10. 講演会 「父・希望の思い出」 (企画展 児玉希望)  
日 時 2014年10月4日(土) 午後2時～  
講 師 児玉 雄(児玉希望長男、著作権継承者)  
参加者 55名
11. 講演会 「古典と香り」 (企画展 美術でたどる物語)  
日 時 2015年2月22日(日) 午後2時～  
講 師 畑 正高(香老舗 松栄堂 代表取締役社長)  
参加者 105名
12. 講座 「江戸の判じ絵」 (企画展 判じ絵)  
日 時 2015年7月26日(日) 午後2時～  
講 師 岩崎均史(練馬区立石神井公園ふるさと文化館館長)  
参加者 61名
13. 出品作家によるギャラリートーク (企画展 トップランナーⅡ)  
日 時 ①2015年12月19日(土) 午後2時～ 狩俣公介・松村公太  
②2016年1月9日(土) 午後2時～ 川又聡・松岡歩  
参加者 ①61名、②61名
14. 講演会 「3つのポイントで楽しむ深水芸術」 (企画展 伊東深水展)  
日 時 2016年3月5日(土) 午後2時～  
講 師 鬼頭美奈子(名都美術館 主任学芸員)  
参加者 65名

## ワークショップ／講座等

### 1. 花を探そう (企画展 花にみる日本の美)

日 時 2011年7月24日(土) 午前10時～正午

参加者 5名

内 容 旧井上邸の庭園のなかで花を探し、その花を観察して記録をとり、写真を撮って自分だけの図鑑を作る。

### 2. ワークショップ 花の絵を描こう (企画展 花にみる日本の美)

日 時 2011年8月7日(日)

講 師 磯部光太郎(日本画家)

参加者 7名

内 容 日本画材を使って色紙に花の絵を描くワークショップ。花を見ながら、墨による描線と岩絵具で日本画を描き、描いた作品は、閉会まで館内に展示した。

### 3. 作品募集! 小さな「花の絵」 (企画展 花にみる日本の美)

日 時 2011年7月23日(土)～8月28日(日)

応募点数 21点

内 容 小中学生を対象とし、ハガキに描いた花の絵を美術館に送ってもらい、会期中館内に展示した。

### 4. ワークショップ「箔を使ってみよう！」 (企画展 トップランナー)

日 時 2011年9月25日(日) 午後2時～4時

講 師 加藤丈史(日本画家)

参加者 24名

内 容 岩絵具を用いて色紙に絵を描き、そこにさまざまな色彩の親和箔を貼って作品を仕上げた。

### 5. ワークショップ「墨で描こう！」 (企画展 トップランナー)

日 時 2011年10月30日(日) 午後2時～4時

講 師 福井江太郎(日本画家)

参加者 26名

内 容 《アブストラクト》の技法で、ダンボールに墨を流した形からイメージを膨らませて作品を描いた。

### 6. ワークショップ 佐藤正和重孝「ねん土で昆虫レリーフをつくろう」 (企画展 アート昆虫ワールド)

日 時 2013年9月1日(日) 午前10時～

講 師 佐藤正和重孝(彫刻家)

参加者 20名

内 容 昆虫標本をモデルに、ブロンズ粘土によって昆虫レリーフを制作した。



7. 昆虫探索撮影会 (企画展 アート昆虫ワールド)

日 時 2013年8月25日(日) 午前9時～

講 師 小西浩司(1級ビオトープ計画管理士)

参加者 18名

内 容 高崎市染料植物園を会場として、昆虫観察と写真撮影のコツをレクチャーののち、園内で昆虫を探してデジタルカメラによって撮影した。撮影写真は参加者から提供してもらって、展示室に展示した。

8. はじめてのふろしき包み (企画展 ふろしき原画)

日 時 2015年10月25日(日) 午前10時～

講 師 小山祥明(宮井株式会社)、大工原智子(日本風呂敷協会)

参加者 16名

内 容 ふろしきを使いたいけど、包み方がわからないという方に、包み方のコツをお伝えしました。

## その他イベント／美術館コンサート等

### 1. 福井江太郎ライブペインティング（企画展 トップランナー）

日 時 2011年9月18日（日） 午後3時～

講 師 福井江太郎（日本画家）

参加者 84名（作家によるギャラリートークの後に実施）

内 容 縦180cm、横330cmの大きな紙に、指先や爪を筆の代わりとして墨でメインモチーフであるダチョウを音楽に合わせて即興的に描いた。

### 2. ミュージウムコンサート 琵琶演奏会

日 時 2011年12月16日（金） 午後6時～午後7時

出 演 久保川華水（錦心流琵琶奏者）

参加者 60名

内 容 県内外で活動する久保川氏によって、忠臣蔵、山科の別れ、雪晴れの各曲を展示室内で演奏した。

### 3. 中島 潔サイン会（企画展 生命の無常と輝き）

日 時 ①2013年1月12日（土）、②2月2日（土） 午前11時～・午後1時～

講 師 中島 潔（日本画家）

参加者 各回70名（先着順、整理券配布）

### 4. 木管アンサンブルによるミュージウムコンサート

日 時 2015年6月5日（金） 午後6時30分～午後7時30分

出 演 杉山友美（フルート）・松本真奈美（クラリネット）・原梢（ファゴット）

参加者 101名

内 容 高崎演奏家協会に所属する3人の演奏家により、バッハのG線上のアリア、アイルランド民謡の庭の千草ほかの各曲を展示室内で演奏した。

## 他施設等との連携事業

### 1. 「風呂敷の歴史と包み方」 (企画展 京都を彩るかたちという)

日 時 2012年5月13日(日) 午後2時～

講 師 小山祥明(宮井株式会社)、大工原智子(日本風呂敷協会)

参加者 32名

内 容 高崎市染料植物園の講座「藍染・風呂敷を染める」(5月6日)とともに連携プログラム「和の知恵 風呂敷」として開催した。風呂敷の歴史を知ったのち、さまざまな包み方を紹介した

### 2. 連携事業 映画「紫一色に魅了された男の夢」 (企画展 京都を彩るかたちという)

日 時 2014年5月19日(土)～5月25日(金) 午後1時～2時17分 ※1日1回上映

会 場 シネマテークたかさき

総入場者 160名

内 容 高崎市染料植物園とシネマテークたかさきとの連携事業。染料植物園および本展覧会に出品の染色家・吉岡幸雄氏の1年を追ったドキュメンタリー映画「紫一色に魅了された男の夢」を、シネマテークたかさきを会場として1週間上映した。上映初日は染料植物園で吉岡幸雄氏を講師として開催された講座と同日で、第1回目の上映後に吉岡氏はシネマテークたかさきで上映挨拶をした。

### 3. 連携事業 高崎市文化事業友の会バスツアー「濱田庄司を訪ねて」 (企画展 濱田庄司展)

日 時 2008年6月27日(金) 午前7時30分～午後6時

参加者 31名

内 容 文化事業友の会が主催し、濱田庄司の自邸・工房を活用した美術館である濱田庄司益子参考館を見学したほか、陶芸体験や陶芸美術館の鑑賞等をした。当館からも担当学芸員が同行しレクチャー等を行った。

### 4. 連携小展示「虫・むし・色・いろ」 (企画展 アート昆虫ワールド)

日 時 2013年6月13日(木)～10月6日(日)

内 容 高崎市染料植物園で本展覧会と連携し、昆虫と染色の関係を紹介する展示「虫・むし・色・いろ」を開催した。当会場では、染料植物園所蔵の瀧田吉一「観音山のいきもの」から2点の鉛筆画を展示した。

### 5. 連携事業「植物園でふろしき染め」 (企画展 ふろしき原画)

日 時 2015年10月24日(土) 午前10時～午後3時

講 師 小山祥明(宮井株式会社)ほか

参加者 19名

内 容 高崎市染料植物園と連携し、はじめにふろしきのデザインの方法をレクチャーを受講した後、天然染料によってふろしきを染めた。

15. 連携事業 ふろしき包み講座（企画展 ふろしき原画）

日 時	①城址公民館 2015年9月29日（火） 午前10時～正午 ②城東公民館 2015年10月5日（月） 午後1時30分～午後3時30分 ③南公民館 2015年10月14日（水） 午後1時30分～午後3時30分
講 師	①②久保村正高（日本風呂敷協会）、③大工原智子（日本風呂敷協会）
参 加 者	①20名、②9名、③4名
内 容	近隣の公民館と連携し各公民館を会場としてふろしき包みの講座を実施した。講座に用いるふろしき、箱、瓶などは美術館で準備したものを用いた。

## 学校教育活動による利用状況

年度	学校名	人数
2011（平成 23）	高崎市立城東小学校 PTA ほか 17 団体	971 人
2012（平成 24）	高崎高等養護学校ほか 18 団体	506 人
2013（平成 25）	高崎市立中尾中学校ほか 21 団体	704 人
2014（平成 26）	群馬県立前橋高等養護学校ほか 15 団体	368 人
2015（平成 27）	高崎市立南小学校ほか 23 団体	425 人

## 生涯学習活動等による利用状況

年度	団体名	人数
2011（平成 23）	高崎市南公民館ほか 9 団体	242 人
2012（平成 24）	高崎市浜尻公民館ほか 11 団体	204 人
2013（平成 25）	高崎市鼻高公民館ほか 12 団体	212 人
2014（平成 26）	九十九地区生涯学習センターほか 17 団体	200 人
2015（平成 27）	高崎市城東公民館ほか 15 団体	156 人

## 博物館実習

博物館学芸員資格の取得を希望する、群馬県出身または在学の学生、履修生を対象に実習生を受け入れ、実務実習および講習を実施した。

### 2011（平成23）年度

期 間 2011年8月3日（水）～10日（水） 土、日、月曜日を除く5日間

受 入 清泉女子大学文学部 1名  
京都橘大学文学部 1名  
尚美学園大学総合政策学部 1名  
群馬県立女子大学文学部 1名

### 2012（平成24）年度

期 間 2012年8月1日（水）～9日（木） 金、土、日、月曜日を除く5日間

受 入 高崎経済大学地域政策学部 1名  
武蔵野美術大学造形学部 2名  
多摩美術大学美術学部 1名

### 2013（平成25）年度

期 間 2013年8月6日（火）～8月10日（土） 5日間

受 入 城西国際大学国際人文学部 1名  
清泉女子大学文学部 1名  
東洋英和女学院大学人間学部 1名  
多摩美術大学美術学部 1名

### 2014（平成26）年度

期 間 2014年8月5日（火）～8月9日（土） 5日間

受 入 高崎経済大学地域政策学部 1名  
群馬県立女子大学文学部 2名  
実践女子大学文学部 1名

### 2015（平成27）年度

期 間 2015年8月4日（火）～8月8日（土） 5日間

受 入 跡見学園女子大学文学部 1名  
高崎経済大学地域政策学部 1名  
群馬県立女子大学文学部 3名

## その他の研修等の受入

### 1. 高崎市やるベンチャーウィーク・職場体験学習

受入	2011年	6月14日(火)～17日(金)	高崎市立豊岡中学校	1名
	2012年	5月22日(火)～25日(金)	高崎市立第一中学校	2名
		9月4日(火)～6日(木)	群馬県立中央中等教育学校	1名
	2013年	5月21日(火)～24日(金)	高崎市立第一中学校	2名
		6月18日(火)～21日(金)	高崎市立高松中学校	2名
	2014年	6月10日(火)～13日(金)	高崎市立大類中学校	1名
		6月17日(火)～20日(金)	高崎市立高松中学校	2名
	2015年	6月16日(火)～19日(金)	高崎市立高松中学校	2名

## 講師派遣

高崎市教育委員会では実施している「ぐるりん出前講座」に日本画を知るための講座を登録しているほか、他施設等の依頼を受け、文化庁芸術拠点形成事業で作製した日本画教材等を使用し、出張授業等への講師派遣を行った。

- 2011年 6月9日 高崎市箕郷公民館 婦人学級講座
- 6月24日 高崎市立宮沢小学校 2年生
- 7月22日 高崎市小学校教員等図画工作科実技研修会
- 9月27日 高崎私立大類小学校 6年生
- 2012年 1月20日 高崎市立堤ヶ岡小学校 5年生
- 7月31日 高崎市小学校教員等図画工作科実技研修会
- 8月9日 高崎市南公民館 親子見学会
- 10月30日 高崎市立北小学校 6年生
- 11月30日 藤岡市平井公民館 公民館事業
- 12月3日 高崎市立吉井西小学校 6年生
- 2013年 7月25日 高崎市小学校教員等図画工作科実技研修会
- 10月21日 高崎市立北小学校 6年生
- 10月25日 高崎市立北小学校 6年生
- 2014年 7月29日 高崎市小学校教員等図画工作科実技研修会
- 11月18日 高崎市立北小学校 6年生
- 11月25日 県内学芸員教育普及勉強会
- 2015年 7月16日 群馬県立二葉特別支援学校
- 11月5日 高崎市総合福祉センター 社会大学院
- 11月11日 高崎市立北小学校 6年生
- 11月27日 高崎市立北小学校 6年生
- 2016年 1月22日 高崎市立堤ヶ岡小学校 6年生



### 3. 収集保存管理事業

#### 1. 収蔵作品数状況

作品総数（2016年3月31日現在の総数）

購入／寄贈／管理換 合計 100 点

寄託 合計 229 点 寄託作品数を含めた総数 329 点

#### 年度別収蔵作品数

	日本画	書	工芸	年度別合計
2011（平成 23）年度	243	65	1	309
2012（平成 24）年度	259	65	1	325
2013（平成 25）年度	261	65	1	327
2014（平成 26）年度	261	65	3	329
2015（平成 27）年度	261	65	3	329

作品種別（2016年3月31日現在）

	日本画	書	工芸	合計
購入／寄贈／管理換	33	64	3	100
寄託	228	1	0	229

#### 2. 収蔵作品貸出状況

展覧会名／会期	主催者／会場名	作家名	作品名
山本聿水生誕 100 年記念・ 白玄会創立 60 年書展 2011 年 10 月 21 日～10 月 26 日	書道研究白玄会 ／高崎シティギャラリー	山本聿水	無尽蔵、益、阿、咩、玄爽、象、吉兆、 玄妙、天耳、是（黙）、回帰、禱り、吉 祥、韋、梵行、玄耳、還悲 全 17 点
那波多目功一展 2015 年 5 月 22 日～6 月 21 日	そごう美術館、読売新聞社 ／そごう美術館	那波多目功一	朝霧

#### 4. 入館者統計

##### 展覧会別入館者一覧表

2011（平成23）年度

展覧会名	会期	日数	有料	無料	平均／日	合計
大正ロマン昭和モダン展	4/16～6/19	57	2,556	3,536	107	6,092
花にみる日本の美	7/2～8/28	50	1,665	2,910	92	4,575
Top Runner トップランナー	9/10～11/6	50	1,254	2,409	73	3,663
めでたきもの	11/19～1/29	54	1,183	2,130	61	3,313
佐川美術館所蔵 平山郁夫展	2/5～3/31	48	4,594	9,337	290	13,931
合 計		259	11,252	20,322	122	31,574

2012（平成24）年度

展覧会名	会期	日数	有料	無料	平均／日	合計
京都を彩るかたちという	4/14～6/17	57	1,170	2,677	67	3,847
濱田庄司展	6/30～9/30	80	2,158	4,261	80	6,419
金銀の光彩	10/13～12/16	56	1,811	4,407	111	6,218
中島潔が描く「生命の無常と輝き」	1/2～2/17	41	8,562	17,242	629	25,804
高崎市文化賞受賞作家展	2/24～3/24	24	412	1,653	86	2,065
合 計		258	14,109	30,240	172	44,353

2013（平成25）年度

展覧会名	会期	日数	有料	無料	平均／日	合計
スパークー文化庁買上優秀美術作品展	4/13～6/23	63	1,225	2,034	52	3,259
アート昆虫ワールド	7/6～9/23	69	2,558	5,528	117	8,086
歌麿とその時代	10/5～11/24	44	1,691	5,607	166	7,298
文化勲章—最高峰の日本画家たち	12/7～1/26	37	2,079	5,250	198	7,329
風景を訊ねて	2/8～3/23	35	873	2,307	91	3,180
合 計		248	8,426	20,726	118	29,152

## 2014（平成26）年度

展覧会名	会期	日数	有料	無料	平均／日	合計
合羽版 森義利の世界	4/12～6/29	69	1,087	2,541	53	3,628
画家 安野光雅展	7/12～8/31	44	3,475	5,680	208	9,155
児玉希望展	9/13～11/3	44	681	2,576	74	3,257
東京富士美術館所蔵名品展	11/18～1/18	48	2,137	5,321	155	7,458
美術でたどる物語	1/31～3/22	43	1,177	3,389	106	4,566
合 計		248	8,557	19,507	113	28,064

## 2015（平成27）年度

展覧会名	会期	日数	有料	無料	平均／日	合計
花笑み	4/11～6/21	62	1,548	3,718	85	5,266
判じ絵／同時開催 涼を楽しむ	7/4～9/6	56	3,763	5,802	171	9,565
ふろしき原画	9/19～11/23	56	1,226	2,997	75	4,223
トップランナーⅡ	12/5～1/31	43	1,088	2,585	85	3,673
伊東深水展	2/13～3/27	38	1,884	6,367	217	8,251
合 計		255	9,509	21,469	121	30,978

高崎市タワー美術館年報 2011-2015

編集・発行 高崎市タワー美術館